

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-121)、  
廃棄物管理施設(96)、MOX燃料加工施設(2-78))」

2. 日時：令和5年11月17日(金) 10時00分～11時45分  
13時30分～18時15分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、横山  
原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他6名

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年11月15日及び11月16日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・評価要求と構造設計等の設計項目の整理(外部衝撃)
- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理
- ・具体的な設備等の設計の説明における注意事項等
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の説明の進め方の整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、12月に予定している審査会合での説明内容やこれに向けて提示するヒアリング資料の概要を明確にしてスケジュールを説明する。
- ・評価要求と構造設計等の設計項目の整理については、基本設計方針間の紐付けを体系的に整理するとともに、具体的な構造設計等の説明への展開を見据え、各設計項目の説明内容を拡充する。
- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理については、設計基準対

象施設の要求事項との関係、要求事項の類型や重大事故等対処設備の固有の設計内容を改めて整理する。

- ・具体的な設備等の設計の説明における注意事項等については、作業者の意見等を集約し、実効的な内容となるよう体制を強化して取り組む。
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の説明の進め方の整理については、当面必要となる作業を踏まえて作業順序を整理して計画的に進める。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

- ※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

## 7. その他

提出資料

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)
- ・ 令和5年11月15日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年11月16日  
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それでは日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:07	本日は、令和4年12月26日付に提出された、再処理施設及び管理施設の設工認申請、また、令和5年2月28日に申請のあったMOX施設の設備の申請について、
0:00:22	11月15日、11月16日にし提出のあった資料を基に事実確認を、
0:00:30	です。
0:00:31	規制庁側の出席者ですが、会議室側から、ヨコヤマアライフジワラの紙で、
0:00:40	遅れて、一部、長谷川管理官が出席する予定です。またウェブからハバサキキシノオオキオカオオハシ。
0:00:52	遅れて古作調査官が出席する予定です。
0:00:57	それでは原燃の方から出席者と、本日の資料の紹介ですかね、よろしくお願ひします。
0:01:05	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:08	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:12	Steeringチームより、ケツク、
0:01:16	ハセガワ、
0:01:18	ノモト、
0:01:19	イシグロ、
0:01:20	タカヤ、
0:01:22	イシハラ、
0:01:23	Webから、6ヶ所より再処理及びMOXの事務局参加させていただいてございます。
0:01:33	本日もご確認いただきます資料でございますけれども、午前中、今後の進め方、
0:01:39	資料となります。
0:01:41	午後からの資料でございますけれども、デービー関係の
0:01:48	竜巻ですね、こちらの資料と、ISA要求の
0:01:53	すいません。
0:01:57	SAの要求事項の整備。
0:01:59	及び竜巻防護に関わる設計、
0:02:04	要求と、構造設計等の設計、
0:02:08	設計、
0:02:09	及び、竜再処理、説明グループ1の関連条文、竜巻以外の
0:02:19	外部衝撃に対する評価要求と、構造設計等の設計項目の整理について、

0:02:28	共通中における、作成ガイド。
0:02:31	最後に再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に関わる
0:02:40	整理の考え方。以上、今後の進め方を含めて六つですね、こちらの資料をご確認いただきます。
0:02:49	それでは今後の進め方について、ご説明開始させていただきます。
0:02:53	よろしく申し上げます。
0:02:55	はい、与儀西原でございます。
0:02:58	本文パートでございますが、
0:03:02	ダイゴないっていう、
0:03:04	記載の適正化というか、
0:03:08	何をするかはわかりやすい、一部、
0:03:11	修正をしているのが2ポツでございます。
0:03:14	3ポツ1の共通に関係のところにつきましては、
0:03:20	ボックスの説明グループ1の今後の流れと、あとは、2ページ目になりますが、
0:03:27	最初に廃棄物管理施設の設計説明分類説明グループの設定に対する、資料提出ヒアリングの流れというの、
0:03:37	12月の会合に向けた整理の進め方を書いております。
0:03:43	また2ページ目の上から2番目の7形のところ、点一つ目は、以前一番最後に書いていた被水の舞台の話については、
0:03:55	設計項目の整理に合わせてその設計せ項目ごとに何を説明していくかという具体的な説明内容とあわせて、説明をしていこうということで、
0:04:05	整理をさせていただいております。
0:04:07	また、二つ目のひし形の三つ目の点ですかね。これもSA側の要求の整理とそのあとの設計説明グループの設定に向けた、
0:04:19	いろんな設計、説明すべき項目の抽出という関係の中での整理ということ、DBとの紐づけ含めて、具体化したと、いうことでございます。
0:04:30	また2ページ目の三つ目がやはり7方は、最初の説明グループ1月末にお出しをするといったもの、スケジュール感を示させていただきました。
0:04:40	いうことでございます。はい。
0:04:43	あと資料4の関係につきましては前回15日、ヒアリングさせていただきましたそれをまた反映して21日、
0:04:50	提出20日や、そのあと12月5日6日、よかった。
0:04:56	説明させていただきたいと思っております。
0:04:59	はい。

0:05:00	伊勢サンポ辻田品関連の進め方の部門のご説明でございます。
0:05:06	等ですね、10月の6日とか30、それから11月14日、
0:05:12	ただしましたヒアリングの議論に対してはちょっと修正しております、
0:05:17	これを来週11月20日提出の25日をお願いをしているところというところで、ところコウは以上従前の予定通り通してございます。
0:05:30	今ですねちょっと私たちも08期、
0:05:34	集積場なんですけども
0:05:36	なかなか
0:05:38	かなり苦心してるというのが、
0:05:42	実業ではございまして、ちょっと読んでいただければ分かる、記載、
0:05:49	なかなかちょっと追いついていないところがございます。ただちょっと読んでわからないことだし、仕方がないので、そこもちょっと4点わかるレベルまでは持って行って、20日頑張りたいというふうに思っております。
0:06:02	どうしてもちょっとこれではお出ししても意味がないというレベルであればちょっとまた別途ですね、調整させていただきたいというふうに思っていると。
0:06:12	いうところでございます。それから、ですね追加調査で出たデータに基づく検討の見通しをお示しなくちゃいけないとそのスケジュールを
0:06:25	社内で調整するということでお約束していたんですけども、
0:06:29	この中で、まだちょっとご提示できておりません。まだ社内でちょっと相談できてない。
0:06:34	というのが1時間でございます。ちょっと次回にはご提示できるようにちょっと調整したいなというふうに考えているところでございます。以上でございます。
0:06:47	はい。あと別添の1は今お話した、3.1のところのスケジュールを、
0:06:53	最新の状況を反映したと。
0:07:00	はい、阿藤さんがスケジュールですがスケジュールは、前回お話した、
0:07:08	SSSに関する面談と、
0:07:11	設計プロセスの改善に関する面談の続きを設置をさせていただいたということでございます。それに合わせて、資料提出、
0:07:22	いうのもスケジュールを入れ込ませていただきましたと、いうこと。
0:07:27	でございます。はい。
0:07:31	はい。
0:07:35	では確認に入りますが、
0:07:38	1ポツは、
0:07:43	今、

0:07:48	話なんだと。
0:07:51	多分まだリンクがとれてない感じがするんで、ここで話をして、
0:07:58	トダテ、これ3ポツ1のところ、規制庁側から、
0:08:02	終わります。
0:08:04	規制庁の荒井ですけど。
0:08:06	スケジュールの最後の、
0:08:08	説明グループ。
0:08:11	カセ。
0:08:15	審査会合。
0:08:16	修正版っていう
0:08:19	審査会合。
0:08:22	なんですよね。
0:08:25	何を踏まえてるのかっていうのは、
0:08:27	よくわからなくて、
0:08:35	はい、上西でございます。これはどちらかという、何かあればというつもりで書いておったところございまして、審査会合で何らかまだ、結局は、最初にとか走るための、
0:08:48	骨格づくりをMOX側でスタートさせたので、そういう意味も含めて、何か資料に対して修正が必要なものがあれば、
0:08:56	それを反映して、
0:08:59	最初に展開するみたいなやつを順次やっていく必要があるかなというのを考えて、一応セットしてますけど、具体的に何かあるかって言う状態ではないです。
0:09:08	ただセルフチェックなりますと、入って、自分確認シミズ朝日も付けが甘いところっていうのは、はい。
0:09:17	はい。そういう部分があればまた修正して返すっていう感じ。
0:09:23	もう1点は水のところで、
0:09:32	されていて、
0:09:33	それってどこでどのように、どのぐらいのボリューム感っていう、いうのをちょっと教えていただきたいくて、
0:09:40	今共通順位で、
0:09:43	こういうところブレイクするっていうイメージだと、詳細設計点改良とか、詳細設計図面、
0:09:50	ていうところしかちょっとイメージが湧いてないんですけど、具体化ってどういうイメージでされるのかっていうのを教えてください。
0:09:58	はい、日本の高井でございます。今溢水の方でやっているDBの設計項目に対して、基本方針と、が説明できてない部分がございます。

0:10:10	そこは、
0:10:11	具体的に言うと対象設備の選定とかですね、
0:10:15	うん。内容。
0:10:17	そういうところを、資料 3 資料 4 で何を示すかっていうところを記載した上で、
0:10:24	それを記載している環境となる、基本方針、
0:10:29	どうという今の要求事項に対して何をどういう設計をしようとしていますっていうところを、2、1 項目につき 2、3 枚程度の
0:10:40	ところでご説明しようというふうには考え
0:10:45	以上でございます。
0:10:47	今の設計項目の整理、
0:10:51	していると思うんですけど、
0:10:52	例の項目ごとにイマイ事、どういう意味ですか。業績表示でいろいろ仕切って。申し訳ありません。はい。日本原燃の高井でございます。今基本設計方針としてこれまでのヒアリングで、本、
0:11:09	コメント受け、コメントっていうか
0:11:12	指摘を受けて基本設計方針を説明できていなかった 4、四つの項目っていうところ。
0:11:20	ちょっと前回のヒアリング資料では、具体的に書いたんですけど
0:11:24	ところの記載については 2、3 枚程度の別紙でまとめ、
0:11:30	別紙にまとめて記載しようというふうに思っております。
0:11:34	全体のコメントとしてはですね、もう少し本文の中で、何を具体的に説明するかというところを記載するという程度。
0:11:45	まとめようと思ってます。総勢の 1010 枚程度というところで、になるかなというふうに思ってますがそのぐらいで具体的な
0:11:55	基本方針をご説明し、
0:11:58	はい。
0:11:59	わかりました。
0:12:01	今のDBの設計項目を整理してる表があるじゃないですか。まず、それが確か 3 内容かわかんないですけど、そん中で四つほど論点、
0:12:12	課題もあると思ってて、その部分についてはちょっと具体的に、別紙で 2 枚ずつ展開するっていうのが、資料見せてくれと、そういうイメージです。はい。
0:12:22	わかりました。
0:12:25	あと最後は、2 ページ目の中段にある、再処理の説明グループ。
0:12:35	なんですけど、これ共通住民を 11 月 30 日提出っていうところで、



0:12:40	先週からできてる部分とできていない部分を同時にあわせて説明していただくという
0:12:47	話だと思うんですけど、やっぱり、
0:12:50	利便性の紐づけの整理が並行して行われてる中で、どれぐらいの状態のものを今つくらつくろうとしてるのかっていうのを、作ろうとすっていう場合作ってると思うんですけど。
0:13:02	ちょっと感触を教えてくださいませんか。
0:13:05	はい、三浦でございます。現状資料 2、3 ですね。
0:13:12	特に資料 3 のところでの、の設計基本設計方針からの具体的な構造設計等への展開と、
0:13:21	いうところはまず、
0:13:24	やれ、それをちゃんと展開できるようにというベースを作ろうということでやってます。ただ
0:13:30	再処理の難しさのところはやはり代表の選定、要は設計区分の中にいろんなタイプの設備が入っているので、その中で代表を選んだときの代表の、なんてその選定理由というか、
0:13:43	だったり代表以外との差分みたいの整理っていうかね、そこがまだちょっとうまくできてないところはまだあります。代表を選んだものに対しての設計を語ると。
0:13:53	いう点では、ある程度のレベルでは、
0:13:57	出せるかなあとは思ってますが、
0:14:00	そうすると、資料 2 のところで、
0:14:03	建設されるんで、大丈夫です。その中でさ。そうですね、採算性の場合ちょっと二段階になっちゃうので、資料 2 の段階で複数の設計説明文 0 が同じ基本設計方針にかぶった時に代表代理するかっていうのを、
0:14:18	やった上でさらに資料 3 です野瀬建設部に入ってる人の中でさらに代表を選ぶ選ばないっていう。
0:14:24	単純にいけば、建物構築物っていうチームだった建物で 1 個、構築物で 1 個とか、いう話ではあるんですけど、あとはあとはアノが移動先日お出ししましたけど、その時には、
0:14:37	一応考え方を言っているのは、新規に今回付けるような設備を作るような設備っていうのが基本ベースであるとか、あとは設計せ設計を設計方針でも条文がいろいろ跨るので、
0:14:49	どこかの条文で、ある程度特殊なことをやらないといけないようなものがあればそれをメインにして、そこから他の条文も同じような、代表選手でやりましょうとかいう、
0:15:00	考え方は整理をしてやってはいるんですけど、

0:15:03	あとはユフ資料 3 の中では、構造設計のこの項目でこの人を代表にしたのはなぜですかみたいなこと、本当は変えていかないと整理がうまくいかないんですけどそこまでちょっとまだ生きていただいたことがある。
0:15:18	通常の展開っていう、
0:15:20	設計、本があった上で、どれぐらいのレベルでは一部できたっていうところの程度感はあるけども、ちょっとその前の場合、さばきそうですねはい。はい。はい。そこはちょっと最初に特有かなというところは、
0:15:34	はい。わかり
0:15:38	規制庁岡です。今のところに関連してなんですけど、一体先ほど新井も言っていましたけど今、SMアノ整理も進めていてこれから紐づけ等やっていて、
0:15:50	てってその部分は、
0:15:52	ここは含まれるんですか、要はDBだけですか、DSでちゃんと整理した上でくるのかっていうところなんです。はい。日本原燃志田でございます。
0:16:06	今並行で、SNLも、今の最新の状況を踏まえて資料には反映はしてついていると、状況ではあるんですけど、
0:16:15	ちょっとさすがにこれを並行してやってる中で中途半端に出すのも、さすがに辛いなというところもあって、基本はDBを骨格にして、
0:16:25	後でSAが差分があれば、代表をもう 1 個立つとかですね、もしくは差分で説明するとかっていう整理をするということがベースかなと思ってましてまずはDBの中で話を整理して、
0:16:37	11 月末時点ではお出しをしようかなと思ってます。
0:16:41	はい、規制庁がわかりましたんで今度の 12 月の会合のグループ 1 の、
0:16:49	内容、構造設計等の対応状況というふうになっていて、そこではどのぐらいのものを説明しようと思って今ステップを進めてますか。
0:16:59	はい。井上ニシダでございます。12 月の時点で、
0:17:06	最初に今お話したような、MOXでこれまで骨格を整理してきてそれを最初に展開をすると。
0:17:13	いう時のやり方でベースが固まるものと、最初に特Aで考えなきゃいけないところっていうのも、考えながら、今整理を進めているところと、
0:17:24	いう状況、あとはこういう部分をまだケアしなきゃいけないんじゃないかということで自分たちで認識している部分の改善のポイントみたいなものを、
0:17:33	お話するっていうところかなと思ってました。
0:17:37	はい。社長からじゃ、完全にフィックスを目指すんじゃなくて、まずは現状こういうふう整理を進めてますけどまだまだこういう。

0:17:47	整理が残っていて、そういうところを今後やっていきますみたいな、
0:17:53	会合の資料になるということですか。はい。乳井ニシダでございます。12月という意味ではそういうことかなと思ってました。
0:18:01	はい。規制庁甲斐です。あと設計説明ぶり説明グループの方は、こちらは完成を目指すんですよねはい。例えばちょっと徐々にとはいえ、はい。グループ1に関してはもう、あといないように、
0:18:13	はい。弓削西田でございます。はい。
0:18:15	説明グループ全体の整理を進めて固めていくというのを12月に目指したいと思ってます。おっしゃっていただいて少なくとも説明グループ1は同時に資料が出てきますんで、
0:18:27	その状況でまだ説明グループの整理ができてませんでは話にならないと思うので、その少なくとも確定をするということだと思ってます。
0:18:35	はい、規制庁じゃそのイメージは大体わかりましたので、はい。私から以上です。
0:18:42	規制庁の藤原です。今、Ss-Dの整理の話が、
0:18:47	SAの整理があまり芳しくなくて、少しDBの整理から遅れてる状況かと思ってるんですけど、今その体制とかを強化するみたいな話とか、
0:18:59	考えなきゃいけないみたいな話が前回のヒアリングでも出てきたと思うんですけど、その状況を聞かせてもらえますか。はい。日本インダでございます。はい。
0:19:09	一つは、当然人をふやさないといけないっていうところは認識をします。ただ頭数をふやしても、上手い作業が進むのである程度中身を理解できる人間を、
0:19:21	セガワのサポートにつけるということで考えていて、正直ですねこの作業ができる人間ってそんなに今なくてですね、言うほど、
0:19:31	正直今やってる何かっていうと、
0:19:34	Dの設計説明分類竜巻以外のところ協議会業務課最初に業務課のある程度
0:19:42	機能きくというか頭の働くというか、メンバーがやってますんで、その人間をセガワんとセットにして、清鳥居を同時に進められるような、
0:19:51	形で体制を今組んでいるのが正直、今のところですよ。
0:19:56	頭は、私が言って、セガワとあと協議会はちょっと4人か読むかで、よく名前が出てくるシミズとかですね、その辺のメンバーをセットにして、
0:20:06	DBの整理FAの整理っていうのを当然並行的に、ある程度、コラボしないと最終的にならないので、そういったことも意識して体制を組んでやらせていただいているというのが現状でございます。
0:20:20	規制庁の藤村です。状況がわかりました。

0:20:24	SAのこと。
0:20:26	わかってて受ける人があんまりないって話もあったんですけど、許可してたメンバー。
0:20:31	がある、いるとか思ってるんですけど、そのあたりの関与ってないんですか。はい。
0:20:37	多分イメージされてるのがタマウチとかナゴとかですよ。ちょっといろいろと、
0:20:43	他にも、
0:20:45	あることをやっていて、
0:20:48	あそこにジョイントできてないのが現状ですおっしゃってて最初に考えたのは、そのメンバーを全部そこに突っ込むけど、最初に考えて、
0:20:55	が、
0:20:56	社内の体制で
0:20:59	は、
0:21:09	業務
0:21:11	ヤノユフせって言われタバタ。
0:21:14	とげが棘。
0:21:28	3、
0:21:29	時間。
0:21:31	規制庁岡です。ちょっと今の関連で、結局、
0:21:34	SA側、Steeringチーム員が、何か設定するとかそういう体制補強みたいなのはしないんですか。
0:21:47	はい。
0:21:48	Steeringで、
0:21:51	規制庁じゃ、じゃあ、石原さんだけとりあえず行くってことは、はい。
0:21:57	多分石原さんが前、
0:22:03	なかなかしんどいのかなという確認作業とかも、チェック体制とかも難しいのかなっていうふうに、
0:22:09	してるところもあるので、今の福岡の問いだと思うんですけど、はい。
0:22:13	荘司君なんかをいっぱいです。はい。
0:22:20	欲しい。
0:22:23	とりあえずは、石原さん。
0:22:25	はい。
0:22:31	ただそれぞれであればやっぱり下をきちんと固めないっていうところですよ。
0:22:35	はい。
0:22:39	逸見ハセガワです。ちょっとSAの、

0:22:41	体制は、
0:22:43	私もよく見る中でちょっと確認するようにしますので、
0:22:48	この後、グループ共通 12 のグループさんも控えていて、
0:22:52	それに向けた検討とか、
0:22:55	今やってるような、
0:22:56	状況もあって、
0:22:58	ちょっと中でよく確認します。
0:23:07	はい。すみません。
0:23:09	ないんですか。
0:23:11	もし、
0:23:12	2 ページ目の真ん中、いろいろ、
0:23:15	評価のところですけど、
0:23:19	1 月 21 日、
0:23:23	2 月 5 日っていうのは、
0:23:26	Huber、この間の話だと、何かこう、少しイメージができるようなイメージをっていう話で、
0:23:33	ですけど、それを踏まえて、12 月 5 日、
0:23:44	うーん。
0:23:45	今、
0:23:53	阿保西田。
0:23:54	12 月 5 日はですね、資料を出しするのは、もう今日通常 2 の説明グループ 1 の、
0:24:02	資料 4 としてのパッケージをセットで出すタイミングにしようかなと思う。
0:24:08	はい。
0:24:11	はい。次、そういうイメージです。
0:24:16	岡さん。
0:24:17	主幹。
0:24:21	なければ、3、
0:24:22	回数、
0:24:26	執行の、
0:24:29	説明で、今、耐震、ゼロタッチを作っって行ってA10、
0:24:41	アノ本村一緒に社内警備があっって、支援者の人たちも見てもらっみたいいな、段階を踏んでたと、こういう段階です。
0:24:51	今は支援者と当社内のレビューを並行して走らせてもらっったコメントを順次、どんどん反映していくと、今そんな段階です。
0:25:07	普段社内では見てそれを主事の人には出してる。
0:25:12	ですね、

0:25:16	もともとのご提示していたステップとしては、支援者の方と、社内と並行して通行炉みたいなイメージで進めておりました。ただ
0:25:30	今回ですねそのWAC目の確認っていうのが、資料を作り上げた状態での確認。
0:25:40	でもなくて、ちょっと資料のですね技術的な方向性とかそういう面での確認というのが、ワンクールでやったようなイメージになっちゃってるというところがありまして、
0:25:54	ちょっと仕上がりの資料のレビューが遅れたって、ちょっとそういうような感じ。
0:26:01	はい。
0:26:04	支援者の方ともう少し、こういう話も繰り返してますけど、できたものをただチェックするっていう姿勢じゃなくてしっかり参画してくださいっていうこともお話をしている。
0:26:15	そういう意味で私、一緒にというか、
0:26:21	理解しましたけど
0:26:24	22、どこまでも、
0:26:29	オダモリ必要。
0:26:30	ない気はするので、しっかり活動した。
0:26:36	なんかもう、もはや(1)(2)で分けることも多分不要になってきている段階で、追加調査の結果も踏まえてどんどん医師の説明が、
0:26:50	60 されていくっていうことだと思いますので、その辺が多分わかるようにして、
0:26:57	資料上もわかるようにしてる。
0:26:59	どうぞ。はい。周知いたし加減の方です。承知いたしました。
0:27:04	はい。議長。
0:27:05	その上で、
0:27:09	12月の会合で説明する。
0:27:12	事項が、
0:27:16	12月70件の状況。
0:27:19	ということだと、
0:27:23	相棒までに確認する時間はほとんど取れない。
0:27:27	ので、
0:27:28	何とかできないのかなと思うんですけど。
0:27:31	なんで12月のあの時点で、
0:27:35	えっとですね、岩石コアなんですが検査のデータを、そろいきるといって、この辺がぎりぎりかなあと。
0:27:43	いろいろなイメージで、これは記載してございました。

0:27:48	はい。
0:27:50	ちなみに、1週間繰り上げると。
0:27:52	今、多分、何をやって、十二、三、
0:27:59	藤朝日とかすいません。
0:28:03	あれですけども、とですね、まず、検層自体は、今完了しているので、旧知の分関井に
0:28:12	なってます。
0:28:15	菅マエダ、今おっしゃっていただいているのは、確認のタイミングを11月エンドぐらい。
0:28:25	に持って来れないから、
0:28:28	ご指摘ですかね。
0:28:30	規制庁確認のタイミングじゃなくて、12月7時点だと、おそらく数、またそこから1週間ぐらいかかっているものが出てくるんで、開放直前でヒアリングできるかできないかぐらいの。
0:28:44	玄関ページで、せめてもう一周倒しできないのかなっていう、いうぐらいです。なので
0:28:52	11月にヒアリングがしたいと、そこまで言ってるわけじゃない。
0:28:57	承知いたしました。この12月の第1週あたりで、このベッショ戦争の結果に基づいて、このですね、見通しというのは、ちょっとご提示できないかちょっと調整させてください。不可能なレベルではないような気もいたしますんで、
0:29:14	入ってください。
0:29:16	はい。
0:29:17	全部別に
0:29:21	連携を、今、三つエリアを分けてるから、中央西比嘉Cそれぞれあった方がいいとしますけど、全部まで終わりはない。
0:29:35	後はエスパーだけじゃなくて、4因子って言われているものに対して、
0:29:42	まずはデータを並べますと、うん、並べての結果だけじゃなくてその技術的なその位置付けだったり、適用範囲だったらそういうところを、もう含めて、結果として並べますと、いうところの、
0:29:57	並べ方って言われますかね。
0:30:00	結果+ $\alpha$ プラスアルファを、どんなものをこう上げていくのかっていうところの認識を早く合わせたい。はい。それは、
0:30:10	追加調査の話よりもっと前からできればその
0:30:14	29日の時には、そういう話ができ、こういうフォーマットで、
0:30:23	結果を、まずはその調査し調査なり分析して、こういうフォーマットで並べていくので、

0:30:30	あとはテスターきたらここで使う。
0:30:34	足りないものが出たら、
0:30:36	できたらこういうフォーマットで計算ツカモトとか岩石コアが並べられるんだねっていう、こう思っておけばそこまで話をしておけばあとはただデータが、
0:30:47	見せ方っていうところ
0:30:51	12月、11月、
0:30:53	ちゃんと話ができるように、進め方を、
0:30:57	そうです。
0:30:59	はい。安全ノモトでございます。承知いたしました。今度、お出しする耐震タテ08でも、そこそこの、今おっしゃっていただいた中身のうち、かなり部分が入れ込んで、衛藤打診するのかなと。
0:31:16	いう認識も持っております。
0:31:18	で、それぞれの手法に基づく分析のですね、位置付けみたいなものもともとこの計画した時に整理したものがございまして、
0:31:28	それに基づいて振り返ってこうであるといったような整理にもなるかなと思いますのでそこまでは今回の08で、整理してしまうのかなという認識でまとめてございます。
0:31:39	あとはデータが並んだ後に、それをどう解釈していくかまでを、ちょっと今回踏み込めないやり過ぎかなと思っておりますので、ちょっとそのですね、できることできないことはこの段階でこれやりますと。
0:31:52	いうことを10、23、ヒアリングで、ご相談といいますかご説明できるように、準備したいと思っております。以上でございます。ちょっとどういうフォーマットの資料でちょっとご相談するかはそのしか考えさせていただきます。
0:32:07	はい。生協深見です。
0:32:09	わかりました。フォーマットって言っても完全に資料の形っていうよりは見せ方っていうか、ポイントっていうか、そういう
0:32:20	の作り方まで整理されて、
0:32:24	はい。
0:32:25	ありがとうございます。荘司。
0:32:30	さん。
0:32:31	規制庁。
0:32:35	はい、じゃあハバサキでさあ規制庁ハバサキです。
0:32:39	今のカミデ藤野さんとの会話をもうちょっと具体的に確認したいんですけども。
0:32:46	11月28日に予定されている耐震建物08には、かなり追加調査の結果、データとしての



0:32:57	横並びといいますか、いろんな情報がですね出てくるという、
0:33:03	理解でいいんですか今まで出てるのっていうのは最終的な減衰の評価結果しか出てないんですけども、
0:33:12	PS検査を追加のPS検層の各校の状況だとかそういったものも踏まえて、含めて、資料に盛り込まれているという理解でよろしいですか。
0:33:22	日本原燃の大戸でございます。今のアノハバサキさんの事に対しては、データの結果はこの20日に、
0:33:33	ものには入れこめていないの答えになります。で、ですね、それぞれの要因の中にそれぞれ追加調査の結果反映していくことになりますので、
0:33:46	ここに反映、このコウノ、この検討にこのようにデータが参加していきますと言ったようなことはわかるように、整理はしてございますけれども、
0:33:58	えっとですね例えばPhaseOneとかフェーズツーとかその断面で切ったデータだけで、
0:34:04	その結果をお出しを、08という形でお出しすることは、考えていなくて、そこはフェーズⅢまで、
0:34:13	ちゃんとそろった時点で全部見て判断しなきゃいけないんで
0:34:17	中途半端に日
0:34:19	ちょっといかなもんかなという。
0:34:25	時間は
0:34:27	が、ちょっと見る
0:34:29	表があるときにはまたちょっと別フォーマットを考えて、
0:34:34	必要があるかなと考えて、
0:34:38	やっぱり規制庁ハバサキですそうするとデータの横並びがある程度すべて登場人物が出てくるっていうのを12月のエンドの最終08、
0:34:49	の段階になるわけですか。前のことでございます。申し訳ありませんちょっと誤解を招く
0:34:56	次回の12月の会合のときには江崎先生のフェーズⅢまでの結果を並べてご提示
0:35:03	考えて、
0:35:05	イトウを20日の耐震建物08ニワはい。
0:35:12	08-2番ホデ普通するのか何らかの、資料の形でお示しする必要があると思っております。それを、その段取りをご説明しないと、
0:35:27	今週ちょっとこれを、
0:35:28	確か宿題をこなせてないということでスケジュールをちょっとご提案、
0:35:34	けども、それに乗るような

0:35:38	調整をして頭をそこで行きたいと。
0:35:43	はい。規制庁浜崎です。そうすると両国家を2のところ、12月7日時点での状況云々でこれが会合資料ということはこれ、また、パワーレベルのですね、資料、最終結果の情報しか来、
0:35:59	出てこないというふうに思ってたんですけども、
0:36:02	この12月17日時点とはまた別に、両括弧2の、
0:36:07	項目として、
0:36:10	データの横並びの情報の資料提示があると。
0:36:16	して、考えておけばよろしいですね。
0:36:19	全然ノモトでございます。12月7日時点での状況というのが、もうすでに岩石コア以外の一作検層はすべて入った形でのご提示ができないかというふうに考えてございます。
0:36:30	ですので先ほど申し上げた私の途中の途中といえますか12月介護に向けた結果の固定費というのは、すなわちこの12月7日時点の状況であって、それはS波検層が全部入って岩石間だけが多い
0:36:44	よう仕上がりを目指してということ、
0:36:47	規制庁ハバサキですそうすると今言われた、ない資料、資料の中に、全データの横並びの情報が入ってくる。
0:36:58	という、それが会合前に出てくるという理解でいいわけですね。はい。野本でございます。トガサキ具合はそうでございます。
0:37:07	はい。わかりました。ちょっとわかるように次回資料の方、施主修正の方お願いしますアノ資料というこの資料ですね。
0:37:14	進め方の資料集修正をお願いします。はい。現状でございます。承知いたしました。
0:37:20	はい。以上です。
0:37:26	はい、今です。フカワサンポ驚見菅
0:37:29	大丈夫。
0:37:33	なければ、後ろについているページ、10ページのサンポ。
0:37:50	参考に、右下10ページでございます。ちょっと60ページでないというのはこれちょっとアダチでございます。
0:37:58	ありますけれども、えっとですね今後説明内容の打ち替えの介護資料のところの修正版、すいませんちょっとつけさせて
0:38:08	大きなところは議会の説明があるところございまして、衛藤ですね、①②③のやるべきことを整理して、ちょっと確認をするという形でイマセ、記載を、

0:38:20	直しているところございまして、①のところですね、変更点はまず最初の追加調査の実施状況について説明ここは変わらないんですけども、
0:38:30	その次の2行ちょっと加えてございます。これ企業全体に加えて取得
0:38:36	ABCD4 因子に係るデータをまずご定義するというのが①までの、防ぐかというのでここを記載するというのでございます。②につきましては、この⑦示したデータにつきまして、科学的な観点で、
0:38:51	各データの適用範囲位置付けを踏まえた分析方針、それから追加調査を含めて次回時点でえられているデータに基づく部分状況を説明。
0:39:01	ということで、その訂正の中には、AからD4 市におけます、説明内容を少し具体化して、記載させていただいたというところでございます。
0:39:14	で、③のところでございますけれども、ここでは、2の方針で、整理されるデータを分析結果に対して、
0:39:24	工学的な配慮を加えることによって、基本地盤モデル策定する方針ということでここは基本的に考え方、
0:39:32	安全外と同じ。
0:39:35	理事会以降の説明内容の
0:39:39	最初のところ追加調査のデータを含めた前提で、
0:39:45	それに基づきます、方針より
0:39:48	及び、
0:39:49	モデルの設定を、を説明していったら、それから、入力地震動を算出される。
0:39:58	それ、
0:40:00	参事さん入力地震動につきましてですね。
0:40:04	大井をまとめ
0:40:13	はい。
0:40:14	宮室長。
0:40:20	はい。
0:40:25	市長、瀬川です。
0:40:28	ヨシカワ。
0:40:33	上の事業。
0:40:34	もう分析方針。
0:40:41	はい。
0:40:45	先生の四角の中、
0:40:46	はい。元の方でございます。えっとですね分析方針とそれから秘密ですねデータのイメージといいますか、分析状況に、

0:40:58	も含めた形で、こういう中身が御説明の内容になりますということがイメージできるようなという意図で書いてございます。
0:41:06	具体的な例えばAぼつの岩盤部。はい。はい。はい。
0:41:11	カルディ確認しに向けて、分析に係る説明内容で、はい。
0:41:22	うん。
0:41:27	言ってさらにつて丸さんに行くとき。
0:41:30	の方針で整理されるデータ。
0:41:34	及び分析結果高いんだよね。
0:41:46	松丸です。そうですね。データ及びがないんですね。はい。言葉の方というのも、
0:41:55	書いてある点線の四角は、はい。
0:42:02	えーつとですね。
0:42:05	はい。はい。
0:42:08	玄野本でございます。ですね、実はこのL/Dで書いてるナカノはその方針の中身を、
0:42:18	若干変えているところがございまして、その方針に基づいてこの分析したその時点での結果というのも、見通しとしてお示しすることになるので、
0:42:29	そのイメージを持っていただくという意図で、それぞれの適用性確認なんていう
0:42:37	お知りになってますけども、その適用性を確認するというのが方針であってその確認した状況についてご説明といったようなことがちょっとイメージいただけるようにという意図でこの記載をしているというところでございます。はい。
0:42:51	これだけですか。
0:42:53	はい。
0:42:54	そうじゃない。うん。
0:42:58	これもあればない。はい。
0:43:02	そうですね。はい。はい。僕はない。これ便利というのはさ。はい。
0:43:08	はい。
0:43:10	R。
0:43:12	ちゃう。
0:43:14	留意事項近かったり、こういうことをちゃんと踏まえて、
0:43:21	分析をしますよとか、はい。
0:43:24	分析方針の説明、分析方針ってさ、何。
0:43:31	データを

0:43:35	このように、今後扱って参りますという考え方のご定義ってということなのかなと。
0:43:44	いうふうには思っております、はい。
0:43:52	伊勢講師。
0:43:55	②の2行目の分析、こうしたことをおっしゃっていただいております。もうちょっと言葉をまず置いといて、
0:44:03	やろうとしてるとね、具体的にやろうとしてることってというのは、
0:44:07	多分ね、12月の段階になると、もう当然データ出てくるんだよね。
0:44:13	ということですね。
0:44:14	なので、そのデータをしっかり、
0:44:18	全部は説明できないけど、多分もう七、八割ぐらいのデータ、立場で9割までデータが出てきているから、大体見通しは、
0:44:27	出られるぐらいのレベル感あるんでしょう。うん。
0:44:30	ね。だから大体こういうふうになります。ただ、データはちゃんと、人間的に科学的な観点で、
0:44:38	とかね、科学的技術的なそういう観点で見るときに、こういうことを踏まえていますよって言うだけだよ。その何だか踏まえた分析を知ってる。
0:44:51	なんかさ、
0:44:58	生まれた。
0:44:59	その説明も説明している。
0:45:08	待ってます。はい。
0:45:13	推進した
0:45:17	かかるデータについて説明するわけじゃないんだよね、最終的にはこいつらを使った。
0:45:26	LANモデルの説明をしないとイケない。
0:45:31	はい。
0:45:33	そうですね。はい。
0:45:35	でしょ。はい。
0:45:37	だからそういう感じにこの四角の箱の中は別に何か変える必要はないんだけど、そういうことなん。
0:45:45	データを、要するにそれぞれのね、
0:45:49	①で示したAからDの因子の、
0:45:54	データについてそれは追加調査も含めてなんだよね、追加調査を含めたDた人。

0:46:01	なるから、かかるデータっていうのはすべてのデータを指してるわけだよ。だから別に、追加調査なんてどうでもいいよね。どうでもいいっていうか、そんなにいらんよねというそうすねはい。
0:46:13	根井。はい。このデータを、それぞれちゃんと分析しますと。はい。
0:46:18	その上でだよ。
0:46:21	データに基づいた地盤モデルを、
0:46:27	何て言うのかな、考える。
0:46:29	じゃないの。
0:46:30	はい、おっしゃる通りですね。はい。その状況を説明すると。はい。
0:46:38	まだ途中だけど。はい。
0:46:43	その時のデータの分析は、この四角の中の、
0:46:49	ところを、これ踏まえるっていうのは、ここに科学的観点でとか、適用範囲とか、
0:46:55	そういうのをちゃんとあれするっていうだけだよ。はい。
0:47:01	重要なのは、その結果が書いてないのは、この因子の説明したってしょうがないんじゃないっていうか、最後の、
0:47:09	結論がないわけですよ。
0:47:14	金野元でございます。
0:47:19	それを分析状況がそれを我々その意図で書いとるんだけど、読み取りにくい。いやもう別に言葉は、最後別にいいけれども、
0:47:31	あんまりね、こだわらないんだけど、ここでね、最後に言いたいのは、この③に行くといきなりだから、地盤基本地盤モデルを策定するんだけど、はい。
0:47:43	伊井からDの、
0:47:46	大事なものは、
0:47:48	科学的、そのデータをしっかり見た中での地盤モデルっていうのが、
0:47:57	設定されるんだよ、工学的な判断の前。
0:48:04	考えないといけないんだよ。
0:48:11	原理のもとでございます。ここが、結構ちょっと我々も議論していたところなんですけれども、ここで、はい。
0:48:21	ちょっと、ちょっともう1回二つあって、はい。はい。
0:48:25	AからDの容量選べたデータを全部いろいろ吟味して、考えた場合に、そのデータからだけを見たときに、
0:48:35	この地盤ってこんなモデルで再現性があるんじゃないかとか。うん。そのデータの範囲でね。うん。ていうのが、をやること、そして、
0:48:46	それを見て、あとは次に今度設計だからさ。うん。とか、データがこんだけばらついてるし、

0:48:54	香田とか阿多とかっていうのを踏まえると、それは採算的なモデルっていう世界と、
0:49:02	インターREDYそれぞれの個別のた。うん。がこうだと言って、それに工学的な意味を加えて、一気に、
0:49:13	地盤モデル、うん。
0:49:17	だからそれは地盤モデルが工学的ではなくて、データを工学的な判断も含めて、考察しちゃうっていう、その何か二つあるん。
0:49:28	はいはい。どっち。
0:49:29	下の方でございます。今のイメージで言うと、後者のデータ並べますで、それについて何だろうね本当らしいものを何か設定するということではなくて、そのデータからもう工学的な配慮、
0:49:44	を加えて、最終的なものを決めますというそういう発想のここは記載になってございますね。きっとねはい。
0:49:53	ただ、はい。
0:49:55	こういうふうになるんだよね。はい。
0:50:01	違ったな。
0:50:03	はい。
0:50:18	うん。ちょっと今、はい。意味はわかりました。いや、我々ちょっと悩んだね。さあ、
0:50:27	義務にして、それぞれ工学的に一つずつに、工学的判断が入っていくわけだよね。そうですね。はい。
0:50:36	ていうことだよ。データに対するデータというかデータじゃないんだよね。はい。
0:50:41	あと例えば岩盤部分の減衰に対する工学的判断、表層地盤の物性に対する工学的判断。はい。
0:50:50	とか、そういうことなんだよね。
0:50:53	最終的にその他のものも含めた工学的判断というのが入り得る余地はあると思いますけども、基本ですよ。はい。さらに、はい。
0:51:04	何かまた違う工学的判断か。
0:51:07	何かそこがさ。はい。十河なんだよね。
0:51:15	そうですね。さらには入らないと思うんだ四つの因子に対して工学的な判断をする、するから、えっと、
0:51:23	そっから基本地盤モデルっていうのが、何て言うのか、一義的に決まっておかないといけないんだよ。うん。
0:51:32	ね。うん。きっとね。うん。
0:51:39	工学的判断ってそういうことなんだよね。最後ね、これ。
0:51:44	てなるからさ。うん。

0:51:51	また新たに何か工学的なデータ、工学的に見たデータに基づいて、モデルを何か仮のモデルを作ってそこにさらに工学的な意味を超えるという、
0:52:05	4条ではないですねはい。はい。
0:52:09	ていう。
0:52:10	仮のモデルを作ると言っていないです。
0:52:13	いや、だからミヤサキノモトさんがね、また別の工学博士って言ったから、だからそれは別に工学的聞いていうのはそういうことになっちゃうよねっていうことだけど、ちょっとそうではないんだよね。おっしゃった4因子に対しての工学的判断を積み上げたところが仕上がりになるはずであると道口と、
0:52:31	決まってかないといけないけど、はい。そういうこと。
0:52:37	いえ、すみません、撤回します。良い時についての工学的判断。
0:52:43	基本やっぱりまとめていく話であるし、その4日それぞれの判断において、横目で他に見るといえることはあるかもしれないんですけども、
0:52:53	そういうことだと思いますはい。はい。
0:52:56	清。
0:52:57	坂内。例えば、減衰として、
0:53:01	今、四角の中に書いてあることはいろんな試験やってますよねと、S波検層もやったし、うん。観測記録もやったし、それぞれ結果が出てきて、うん。
0:53:11	その結果ってこういう他、こういう筒状のものですよっていう適用範囲だったり、ツジだったりがかう並べられるわけじゃないですか。減衰は
0:53:21	うんで、そこまでなっただって言うてるんですよ。そうですね、さらにそれを何か工学的判断で、いろんな件数出てくるけど。はい。
0:53:32	1個ですとか、6ですとかっていう、そこを決めつつ決め、
0:53:38	決めるところまでがをイメージしてるわけではないんですね。
0:53:42	センナでございます。今比嘉ミナミヤタのはこれ丸さんのところの基本的なモデルを決める時には決めなきゃいけないので、そこはやるんですけども、そうです。うん。ということで、私は、
0:53:54	どちらかという、同じ頭で言ったんですけど
0:53:59	何かその減衰の中でももうここが最もらしいと、ここの値がもうほぼ最もらしいだろうというところを、うん。では話があるんじゃないかっていう、うん。
0:54:16	イメージ的にね、ちょっと値、
0:54:19	感覚が違ってた、正直、はい。はい。はい。
0:54:23	そういう時期違って。はい。皆さんは、



0:54:27	土佐コウ地盤モデルを設定しようとしてるんだね。
0:54:34	それはせ、
0:54:36	何かの設計に使うんだけど、
0:54:39	やってることっていうのは、地震観測データとかいう、いろんな
0:54:46	取り得るか。
0:54:47	限りのデータを集めるっていう。
0:54:50	だよな。うん。
0:54:52	それを最終的に設計に用いる。
0:54:57	科学的技術的観点っていうのは、データに基づいてるわけだよな。
0:55:05	あるね、あるデータに基づいてるから、単純に。
0:55:10	設計を考えない、そのデータだけ見たら、うん。
0:55:16	この区域なりは獲られたデータの意味とかを考えて当然ばらつきはあるけど、
0:55:24	この範囲だよなっていう。うん。ていうのが必ずあるよね。うん。
0:55:30	でそれを別の言い方をするのは何か適当な平均でばらついてんのよ。
0:55:35	データいろいろばらついてるんだけど、
0:55:38	ばらついた範囲も含めると大体この範囲だよなみたいな、はい。あって、がそれぞれみんな出てくるんだよね。
0:55:45	それはさ、そのばらつきの範囲も含めたデータが、それを示してるんだよね。はい。はい。そうすると、地盤モデルをそれで作って
0:55:56	だとするよね。はい。仮にというのが、データに基づいて作ると、大体この範囲ぐらいの。
0:56:04	になるよね。
0:56:07	でそこにはDたの持つ科学的な意味が全部入ってるんだよね。うん。はい。
0:56:15	そうすると、はい。それがもしかしたら中央値に±はσぐらいの幅持って、
0:56:24	とか、いや、結構かけ離れてるよねとか、うん。
0:56:28	なんか素行があるでしょう。うん。うん。そういうのがね。
0:56:33	出てくるんだよね。
0:56:37	はい。
0:56:39	根井。
0:56:40	それを、
0:56:42	だから、地盤モデルを、
0:56:45	対してだからそこで1回地盤モデルみたいなイメージがちゃんとでき、
0:56:51	るんじゃないかと。

0:56:53	素行は技術的に意味を持ってって科学的な根拠がそこにあるんだよね。
0:56:59	ということですよ。です。
0:57:02	というのが、そこまでなんだよね。
0:57:05	科学的な意味合いみたいなのが、そこにあって、
0:57:11	いろいろばらついてるし、この範囲が金このぐらいの範囲だよねと。
0:57:17	さらに、設計が次に、
0:57:21	設計が考えるといけないっていうのは次のステップにある。
0:57:26	だから、こんだけばらついてってこの、このぐらいのバンド幅で、
0:57:31	の間に大体来るだろうと。
0:57:34	思うんだけどもさと。
0:57:37	設計を踏まえると、じゃあそのね、上面の、
0:57:41	ね、ところなのか、いや、それでもまだね、ちょっと心配だから、もうちょっと保守性を見ようとか。
0:57:49	さらには、建物とか機器の固有値がこういうところにあるからそいつらが、
0:57:57	何か過小評価にならないように、こういう配慮もしようかとかっていう、そういういろんなことがあるのがそこは工学的な判断なんじゃねえかと。
0:58:09	ということなんだよね。うん。
0:58:11	そうすると、最初に地盤モデルの、
0:58:16	データに基づいたて設定した地盤モデルっていうのを二つつくられてもいいと。
0:58:24	むしろそっちの新しいんじゃないか。
0:58:27	それを、
0:58:28	こう見たときに、次に設計的に工学的な判断を加えたものがゴコウだと。
0:58:37	こうしますと、
0:58:39	そうするとちゃんとね、
0:58:42	たの意味と持っているデータに基づいたもの、そして工学的に判断したものがちゃんと分離できる。
0:58:53	という。はい。
0:58:55	ふうに、一般的にはそうなんじゃないか。
0:59:01	えっとですね、違う、よく
0:59:08	跨ぐおっしゃる通りなんていうか、ミキ杉尾我々も、
0:59:14	めがけて検討してきたんだと思っていて、なんですけども、ちょっと途中でこうなってしまった我々の悩みというのを、
0:59:24	ちょっと申し上げさせていただくと、はい。

0:59:30	今の確認なんですけど、
0:59:36	途中、最初の考えは、僕が今話したようなイメージを持っていましたっていうことを、
0:59:43	もう今言った
0:59:45	そうですね、最もらしいパラメータでの設定っていうのがまずあってっていうようなイメージを持ちながら、
0:59:55	ちょっとやっていた時はあったんですけども、
0:59:59	これちょっとやっているときに悩みが生じたのか、特に減水でしたらば、
1:00:07	最もらしいを決めるための検討っていいですか、
1:00:13	判断っていうのは、やはりそこにも入ってきてしまう。
1:00:18	というのがあって、そうすると、その本村Cを決めるときの判断と、それからその先の工学的な内容決めとときの判断と、
1:00:31	いうのを2段でこうやっていこうとなるんですけども、そうすると、
1:00:36	データ並んでいて、最もらしいところは、これAとDた保守性を考慮する効果的なところがこれというのを、
1:00:48	一遍その元の素直なデータに基づいて、検討した方がわかり良いんじゃないのかなという発想もありつつ、
1:00:59	ちょっとこんな形になってきたというところでございます。だんだんわかったんだけど、はい。今野さんが言った最もらしいものっていうのが、まさに最もらしい
1:01:14	ものを見るときデータの見方がここに書いてある。
1:01:21	その一部がね。
1:01:23	要するに適用範囲とか何か考えるっていうそのデータのね、吟味の仕方。うん。これが僕当たり前の話で、これがだから一般的な、
1:01:35	とか、標準的だとかね。みんなこういう見方当然するよねと、ガイソウなんかね、勝手にしちやいけないよねとかさね。ね。
1:01:45	出たものを信じようっていうような、まさに、
1:01:48	これなんじゃない。
1:01:49	うん。
1:01:51	だからこの部分っていうのは当然科学的な範囲に入ってるんだよね。はい。うん。
1:02:01	だから、あんまり間違いはないんだと思うんだよね。はい。で、何かわかんないけど、これでやった後に、これ個別に工学的に、
1:02:11	数セットで最終的には同じ意味を持つちゃうんだけど、ただその見方はね、こっちのデータに対して工学的な意味を加えるっていうのはあるのかもしれないけれども、
1:02:25	最終的に考えたときに、

1:02:29	なんていうのと、保守性とかそんなものは、多分入りにくいよねそういうふうになってくると。
1:02:38	ちょっとね。はい。で、もうちょっと、例えば0コウ一つ例をわかりやすい例を挙げると、
1:02:45	科学的に見たときに、多分減衰って、フラットじゃないんだよね、周波数多分依存性みたいなのがあって。はい。皆さんのデータ自体も、そっちのがあってるよね。そうです。
1:02:58	はい。リニアだとかバイリニア使った方が、フラット一律よりも、比較的合ってるんじゃないかと思うんだよね。
1:03:08	ね。はい。でも、はい。
1:03:10	そうすると、
1:03:12	技術的には多分そうそういうふう傾向が示されているし、1 普通考えたときにもそうなんで、依存性あるんだよ、多分ね。
1:03:24	どこでもね。
1:03:25	Aなんだけれどもっていう、そこまではだから、ちゃんとした意味を持っております。ただし、
1:03:33	解析するときには、
1:03:36	こういうもっと簡略にモデルを作って、たくさんあるから、もっと効率よくやりたいと、そうするとここに非線形性を持たせると。
1:03:47	非常に手間がかかると。はい。よって、
1:03:51	一律でやりたいよねと、そっちの方が楽だよねっていう判断は、工学的ひい判断ですね。はい。
1:04:01	すいません。カミデですけど。そう。今のその工学的判断っていうのは、
1:04:06	地盤の実態を考慮するパートと、設計するパート、うん、そう、どっちの工学的判断ですか、設計、設計があんあ、
1:04:16	だからもうそこにはあまり技術的な意味を持たせなくていいということなんだよね。技術的っていう技術的にはあるんだけどね。うん。ただデータに基づいてないんだよ。
1:04:28	うん。ただし、それでも良い理由っていうのが、個別にっていうことになって、
1:04:34	うん。それはこっちの方が保守的に出るからさ。
1:04:38	話は0だけどね。はい。
1:04:41	もう大丈夫ですよ。
1:04:43	カミデですけど、
1:04:46	地震は過小評価じゃないが、
1:04:52	地震観測記録化でやると。

1:04:55	減衰で一部しか取れなくて一部周期体しか取れなくて、もう外挿しないと、減衰にならないじゃないですか。そもそも稟議ヤタとして入ってすぐ外挿してますね。そっちの工学的、それも工学的判断なんだと思う。
1:05:09	そうですね。それは、地盤の実態をただ見定めるところと、設計のパートっていうと、前者、
1:05:18	になるんですか。
1:05:22	全社でやらないと答えてないんですよ。
1:05:30	いやそこわあとという区分けがやっぱりわかりにくくなっちゃうんじゃないのかなっていうのがあって、多分そういう一旦ここでセットっていうのをせずっていう。
1:05:42	ことなんじゃないかなと私は思っていました。
1:05:52	規制庁ハバサキですそこら辺ちょっと、野元さんというか事業者の方でまとめてもらいたいんですし、あと我々、規制側もですね、これから審査するにあたっては、きちんと決めないといけないんですけれども、
1:06:06	例えば今の亀井の話にしてもですね、今回、いろんな手法で、追加の基減衰についても検討していると。
1:06:16	で、例えば、伝達関数による方法っていうのは、地震は観測に基づいて、広い周波数レンジでの減衰の傾向を見ましたと。
1:06:26	それがさっき管理官言った、周波数1というよりも、リニア或いはバイリニアの方は、より伝達関数ですね、伝達関数とファクトですから、
1:06:39	伝達関数の1度はいいということからすると、科学的には、減数に関しては、リニア或いはバイリニアの方がより真実に近いだろうと推察されるということです。で、
1:06:53	例えば地震は干渉法、これは次データを使ってますけれども、非常に狭い周波数レンジしか、
1:07:02	コガえられないんですね。うん。ただ、その結果は、さっきの地震のデータ算数の方法とほぼ同等だと、いうことで、
1:07:12	その値伝達関数による方法をより確実なものとして、干渉法の結果というのは位置付けられる。
1:07:19	で、あと岩石コアだとか、
1:07:23	今までの動的泉にしてもですね、これは周波数依存がないもデータで、もっと小さな減衰が出てくるんですが、これはあくまでも後の伝播を考慮しない内部減衰だけの値だからと。
1:07:37	いうことで、それが大きな、その特異性を示していないと。
1:07:41	ということがわかったと、いうことを踏まえると、やはり、地震干渉法じゃなくて、伝達関数による方法の中で、現世を周波数依存にしたものが、
1:07:55	科学的には最もらしいモデルではないかと。

1:07:59	ということで基本地盤モデルは層位それを基本の地盤モデルとして採用します。
1:08:04	という一つの考えがあるのかなというふうに、
1:08:07	思いますので、思ってますんで、多分、管理課もそう、同じような考えだというふうに私は理解してましてですね、そういった、一つ一つのデータを、の位置付けだとか意味合いだとかを考えて、
1:08:21	基本地盤モデルはどうだ、次のステップの設計用地盤モデルってのはどうだと、さっきの終発イトウは行って電車、例えば椎木は使えない。
1:08:32	SHAKE使う必要ないかもしれませんが、普通はSHAKE使うんで整理はしやすいんじゃないということで、ただ、周波数一定を遜色がない、設計的には遜色はないですよっていうのは今度、
1:08:43	入力動のスペクトルの比較でわかってるわけですよ、今回。
1:08:47	だからその段階で入力スペクトルを比較すると、
1:08:50	手話推定でも減衰は、
1:08:53	設計的には問題ないと考えますという事業者の主張ができるわけなんですということで、そういうまとめをですね。うん。方をこれからしっかりとしてもらおうということになると思いますけれども、
1:09:05	そこら辺、
1:09:07	事業者として何か考えられているのかどうかちょっと不安になってきたんですがいかがでしょうか。
1:09:12	原燃の郷でございます。今おっしゃっていただいた浜崎さんがおっしゃっていただいた、非公開を我々取らなくちゃいけないという認識は全く同じでございます。
1:09:22	で、えっとですねちょっと1点最初のちょっと言葉の定義だ形なんですけれども、我々基本基盤モデルって言ってます。これ設計用地盤モデルの
1:09:34	意図で、これも使っておりますこれ最終的なアウトプットのつもりでちょっと書いております。今のハバサキさんがおっしゃった基本地盤モデルというのは、最もらしい
1:09:44	形でのパラメータ設定のことをおっしゃっていただいていると思っております、えっとですね、今のちょっとお話を踏まえまして、このですね②③のステップ私の頭の中でもこうなのかなというふうに思いましたのが、
1:09:59	②は何か今ちょっと長谷川さんからもおっしゃっていただいたように、このデータっていうのは、ここはですね、まず、
1:10:09	あるデータに基づいて、その追加調査を含めてもう今、られてるデータに基づいて、さらに分析いたしますというのが②で、都丸にはその分析の結果に基づいて、

1:10:23	工学的判断を加えてモデル設定しますというのが③というふうな形の、思考回路だというのはここはおそらく同じなんだろうなと思いますので、
1:10:34	なので、②のアキヤマアカセ岩瀬ないですか、②のところの②と③の間にオオイワん。
1:10:48	うんソネこれが、そのワンクッションが分析状況を説明って書いてるのが、そのワンクッションの意味合いで書いてるん。
1:10:56	いや、違う、違う違う。だから、2と3の間に1個入るのかなって思ってるのが僕とか浜崎さんの話なんだよね。
1:11:09	なんだ②の中で、最もらしい衛藤物はこれであるというデータの分析をやっばお示しするだろうと思ってるんだけど、分析っていうのじゃないんだよ。はい。
1:11:21	ターの分析をした結果、最もらしい地盤モデルはこんなじゃないかっていう、そういうものがあるんですかいないんですかって言うてない。
1:11:36	それがなかなかちょっと設定しづらいなあという形なんですね。それが無いのに、工学的な判断が可能なのが、うん。
1:11:48	わからなくなる。
1:11:49	うん。
1:11:51	だから新すいませんコサクです。
1:11:54	私どもは、管理官の言ってることがわからなくて、
1:12:00	その最もらしいモデルって何なんですか。
1:12:03	いやだからそれを作ってそれを作ったらもう丸さんでやりゃいいじゃねえかっていうことにしかならないような気がしてて、
1:12:10	これまで管理課で言われたのはモデルではなくて、
1:12:15	それぞれの物性値だったり、減衰定数だったりといったところの状況の理解っていうことだったと私は聞いていたんですけど、
1:12:25	モデルという言葉になってしまった瞬間に私はわかった、基本的にはだから1個1個のデータをちゃんと吟味していくっていうのが当然入ってくるんだよね。その結果として、
1:12:37	そいつら組み合わせると、そういうものが、途中段階ででき上がるんですよ。だから実際には、このいきなり基本地盤モデル、要するに工学的判断を、
1:12:48	加えて地盤モデルの前には、頭の中に全員がそういうのが入ってる。
1:12:58	この四つの因子を組み合わせると、モデルができてくる、来ちゃうんだよね。だから、同じことをやってるのかもしれないんだけど、それをちゃんと明示的にするかしないか問題なんだよね。
1:13:13	すいません。コサクでやっぱりわかんなくて、自動的に出ちゃうっていうのが、うん。全く理解できない。田丸さんのところで、うん。

1:13:22	技術的に要は設計手法、
1:13:26	計算手法があるので、その、先ほどアノハバサキさんが言われたように、一定値でないと入れられないのでとかっていうようなことがあって、そういう制約を踏まえながら、工学的じゃしていくと。うん。
1:13:40	ということなのは③になるわけで、そうすると、
1:13:45	最もらしいっていうのはその手前ってということだとすると、
1:13:51	もうそ自動的にできちゃうんだよねっていうものはないような気がするん。
1:13:57	うんあのデータをちゃんと分析したら、そうじゃないっていうのは、共通理解になるっていう意味であればそうだと思うんですけど。
1:14:03	どこら辺のことを言われてるのかちょっとわからなくて、
1:14:06	僕はだからさ、工学的判断をする前に、
1:14:13	別に解析のこととかそんなこと何も考えなければ、この地盤はこんなモデルでやると再現性が、すいませんコサクです。だからわからなくて、計算をする前にモデルってなんてあるんですか。
1:14:27	計算をするからもうつくれるっていう言い方じゃ良くはないのかもしれないけど、地盤の構造、すべてのデータを踏まえて地盤構造は、
1:14:36	あ、あコサクです。それならわかります。なるほど。はい。
1:14:41	最もまずいねそれはパラメーター入りなんだよね。
1:14:46	それはもちろんですね。はい。
1:14:48	理解しました。うん。工業が、
1:14:51	最もらしい地盤構造をミイで作って、3に行く。うん。
1:15:00	なんか、ただ地盤構造模式的に表すと、
1:15:05	結局、
1:15:07	同じになっちゃうっていうことです。
1:15:10	はい高久です。それはおっしゃる通りで、どこの深さまではこういう、だからそれはもう言わざるをえないので、そこには当然バランス計算機入れようとしたら形式的にはなるけど、その入口としての理解というのは共通理解しておくという意味では、②の範囲かなと思います。
1:15:26	この②と③の間に、最終的なこの要因紙を組み合わせた、こんな感じじゃないかというこの範囲じゃないかっていうぐらいの、
1:15:37	地盤構造を、のイメージができ上がると、うん。
1:15:47	でもそれはAとAに書くと、
1:15:53	同じ、最後のAと同じになってしまうっていう。
1:15:59	そうですね模式的にやるとね。
1:16:01	最後の、
1:16:03	古作です。はい。



1:16:05	ちょっとすみません今日在宅にしちゃったので。はい。最後の原燃の前パークの状況とかがちょっとよくわからないんですけど。
1:16:14	今話を確認させていただいたところからすると、私も同じイメージを持っていたので、言葉のやりとりの中で、ずれが生じているんだとしたら、
1:16:28	どこが今残ってるのかっていうのを元に行っていたきたいんですけど、一番やっぱり厄介なのは減衰定数のところで、
1:16:36	③に行く時には一定にするけど、②野瀬海田等、周波数依存性もあるので、集合によって多少の違いもあるよねというような言葉。
1:16:47	あるので、
1:16:50	何らかその固定したものとしては言い切れない、言い切れないというか、決めるみたいな感じの形にはならないっていうようなことかとは思いますが、それも現状プロットしてるところから分析をした話をすればねこういう傾向があるとか、こういう範囲にあるということで、
1:17:08	②の範囲がいいんじゃないかなというふうに私は思っていますので、ちょっと、現時点で原燃の認識を聞かしていただければ、
1:17:17	はい。原燃野元でございます。ちょっと私の
1:17:23	理解を申し上げますと、
1:17:26	えっとですね、そうそう丸まず①というところで申し訳ないですけど①ではデータを並べると。
1:17:34	並べるだけと。②では、そのDたを元に、これが科学的技術的な観点での分析から、おのずとこうだよねという分析の結果はこうであるということが、ここで記載する。
1:17:52	ことであると。具体的に減衰であれば、先ほどハバサキさんからもお話ありました各手法の特性と、それからその意味合いというものを踏まえた考察というのはこの中に入ってくると。
1:18:07	それを全部見渡したときに、おそらくこのですね地盤構造として、最も再現性のよさそうなものは、リニア型の減衰なんであろうといったようなところぐらいまでが、②でやるべきところと、
1:18:22	等で、そこで0ニワを暇イデ次に、都丸さんに行ったときに、地盤モデルに設定する、パラメータ今度はアノをセキネ落ちるという意味で、地盤モデルという言葉になりますけれども、
1:18:35	パラメータとして、その工学的な足要請も踏まえた、一定減衰であるとかそれですとか、ある程度保守性を持たせるとかいったような配慮が入って③をやりますと、
1:18:48	言ったようなこんなステップになるというイメージを私今持ちました。すみません元の中からも違うよというのがあれば、ちょっと発声いただければというふうには思うんですけども。

1:18:59	というところでございます。ハセガワ野瀬ますかね。
1:19:03	八尾。
1:19:05	うん。
1:19:09	はい。
1:19:13	ユリハセガワです。
1:19:15	個別の技術論はちょっとおかしできないところあるんですけど、整理の仕方、頭の整理の仕方は、まさにおっしゃってる、②と③の間に、
1:19:26	あれですね、地盤高、最もらしい、地盤科学的技術的に言って、
1:19:33	最もらしい、あと地盤構造、
1:19:36	野間。
1:19:37	共通理解みたいなものが一つここに間に挟まっていると。
1:19:42	赤崎さんおっしゃってた、そのそれぞれのDたが、どの、どこに位置付けられるのかっていうのは、ちょっと我々で1回、基本的な考えをまとめないといけないと。はい。私こう理解しました。はい。
1:19:57	すいませんコサクです。今相田と言われたのの意味合いをちょっと確認したいんですけど、私は、②の中にあるんだと思ってました。ただ、
1:20:08	現状これ②っていうのが次回の説明内容って書いてあって、それがどこまでまとめられるのかといったときに、まとめきれないから分析状況と書いていて、
1:20:20	っていうことかと思っちゃってたんですけど、それはごめんなさい、
1:20:26	次回で示せるんでしょう。
1:20:29	2年ノモトでございます。そういう意味では岩石コアのデータはまだ出ていない状況ですので、その共通理解がこれですという結論までは至らないと。
1:20:41	いう意味でこれは分析状況という言い方をしているということでございます。
1:20:49	はい、尾崎です。状況はわかりました。
1:20:52	はい。規制庁の長谷川ですけど多分資料直さなくても、別にこれはこれで、この分析状況を広く読めば、別に問題ないんだけど、結局、今日の僕が問題というか確認したのは、
1:21:07	この
1:21:09	資料というよりも、どういう感覚を持ってるのか少し感覚のずれは実はあったんだよねっていう。それはそれで、よく考えてくださいねって、多分ノートさんのもう実質的には僕らとはあまり変わらないはずなんだけど、
1:21:25	ただ、いきなりパラメーターだけをもって、個別のパラメーターだ形を組み合わせて、工学的な判断をするということではないんだと思ってるんですね。

1:21:39	ここはちょっと、あれだったら、基本的には一緒なのかそこはもうよくもう1回考えてもらえばいいけど、資料的には、別にこれは、
1:21:49	特に問題はないけれどもねと。
1:21:56	ぐらいだな。はい。
1:22:02	はい、竹野でございます共通理解としての地盤構造というのが最後に入ってくるという、いうところで非常に我々頭がすっきりいたしましてありがとうございます。
1:22:13	イメージが共有化されない限りは、工学的な決定ができないんだよ。
1:22:28	はい。規制庁、伊井です。
1:22:30	では、次の、
1:22:32	ページが、
1:22:34	はい。
1:22:37	他の方の修正をして提出させていただきましたが、一番
1:22:44	大議論になった一番最後の今後の説明ということの再処理と廃棄物管理施設に対して、
1:22:50	どういうことをやっていつにつなげようと思っているのかというところを、
1:22:55	11 ページのところにもまとめてます。BCが一つあって、具体的な設備等設計については検討を行っています。何をやってるかってところが、
1:23:06	一つ目、二つ目のレ点で書いてあります。
1:23:09	設計説明グループの選定の考え方だったり、構造設計等に着目する類型化の視点だったりということの整理ということと、
1:23:19	あとは、一つの設備が複数の説明グループに跨って説明すべき項目ってのが、
1:23:27	分担される場合があるので、そういう場合に抜け漏れがないということと、合理的な説明ができるようにということが着眼点かと思ってますと。
1:23:37	ということです。そのためにやってる今の活動が、のポツで書いてあることだと。
1:23:42	ということです。DBの設計項目の提示に加えてあとSAの要求事項の整理、あとDBSAの紐付けですね、そういったことをやって、同じものは合わせて説明ができるように、
1:23:54	また分担する場合はどこが境目なのかっていうのが明確になるようにということ整理をしていくと、ということ。
1:24:02	またね最後のポツは、こういった具体的な設備等の設計を類型化をしながら説明する上ではやはり個別のケア、技術的な課題点の当然要求事項も、

1:24:13	全部テーブルに乗せて整備が進んでいることと、そういうことができて いることが前提で、この説明すべき項目とかの整理に繋がりますので、そ ういったことも併せてちゃんとやった上で、全体整理をしていきますよと いうことを書いているのが、このポツに、
1:24:29	ずっと、2. の関係でございます。
1:24:32	はい。見どころが、前回から修正したポイントになります。以上です。
1:24:47	規制庁、須川ですけど、ちょっとヒアリングとか出てなくて、断片的に、
1:24:53	なんだけど、
1:24:55	モック数は遠い。
1:24:58	いろいろと進捗がありますということで、前回も次回もいろいろて提示が あって具体的に進んでるかもあって、
1:25:09	再処理の方っていうのは多分MOXより非常に、
1:25:14	ミイの点数も多かったり、いろんな品物を大井大井。
1:25:20	さらには原燃の検討というか、何か、
1:25:27	あんまりあれだけでも、
1:25:30	ちゃんと原燃が設計に、
1:25:33	原燃自体が設計にちゃんと関与してなくて許可との関係とか、いろんな もの、
1:25:39	ものが理解が不足していたために、なかなか進んでいない。
1:25:44	いう中で、この間原燃の長谷川様、決得さんなんですけど、
1:25:51	MACCSみたいなあと同じ今の何て言うのかな。類型化というか、そう いう整理。
1:25:59	だから、それだけではなかなか難しくて技術的な部分も進めながら相互 にフィードバックをかけていきたいみたいなことが多分、前、えっと、
1:26:13	数週間前ぐらいのそんな話があったんじゃないかと思うんだけど、特段 ここ後納今の整理の中には、そういうのは、
1:26:23	ないみたいなんだけど、この辺りは、原燃は、
1:26:28	どんな感じなんですかね。
1:26:33	このんよ。よくわかってないところがあるんで、確認なんだけど、
1:26:38	本当にもう今の話は込み込みになってるっていうイメージなんですか、 有限ニシナでございます。今一番最後に読んだポツが、その意味を含 んでる。
1:26:50	いうふうに思って書いております。はい。
1:27:00	下にハセガワです。
1:27:03	これまでですね、こういう進め方の中で、コサクさんともですね、話はさ せていただいてまして、

1:27:11	我々からこの4ページに書いた、技術的な話も進めていきたいという話は認識は、合わせながら、
1:27:21	今進めているというところですよ。
1:27:24	先日もですね、日下さんの方からグループ1、
1:27:29	123とシリーズだけではなくてですね、少し平行して進めるとか、個別の技術で悩み事があれば我々もまた議論をマエダをして、
1:27:40	減らしてもらえとか、そういった話もいただいていますので、ちょっとそういうのも含めながら、この最後のところで、
1:27:48	合理的に進めていきたいなというふうには認識しています。
1:27:58	だから
1:28:00	今の話としては、はい。
1:28:02	並行して、
1:28:04	聞きながら、
1:28:07	互いにフィードバックをして、やっていくみたいなの。
1:28:12	イメージイメージになったっていう、はい。
1:28:16	玄長谷川です。はい。そういうイメージでは、ちょっと我々正直言うと共通、12をグループ1、2、3とこうシリーズで積んでいかないといけないっていうな頭も当初あったんですけども、
1:28:29	もし前回のヒアリングである程度並行しながら、
1:28:33	もうということもあったので、我々ナカノちょっと準備する作業なんかも、少し前に倒しながら、合理的にできるようにやっていきたいなというふうに思っています。
1:28:50	うん。
1:28:51	ちょっと先の話だけど、この20日のこの資料とは関係ないけれども、
1:28:57	もう類型化する、して何かいろいろやっていくと加速感がどっかでられて、
1:29:02	だけれども、
1:29:04	進数加速というか、
1:29:06	そういう、そういうのっていうのはどの段階になると。
1:29:12	発生してくる
1:29:15	3、
1:29:18	入社でございます。先ほどコウアノベップのやつで、最初の難しさは、
1:29:26	グルーピングはして累計はしたんですけど、同じグループの中に、いろんな設備とかさ、建物とか持ちちゃまぜになってるんで、その代表ってのをどう選んでいくか、どれが代表なのかっていう、
1:29:38	ことは、

1:29:39	もし、説明グループ 1 である程度代表をどうするか、その 1 個に絞って ってこの頑張るよりは、幾つか代表を選んでってこのやり方も多分あ ると思うので、そういうやり方を模索するのは、一体説明グループ 1 を、
1:29:53	ある程度整理していけば、他のグループにも展開できるので、そこ押す とある程度加速はできるのかなと思いますけど。
1:30:05	きちっとハセガワですけれども、
1:30:08	あとは、
1:30:10	もう 2 万幾つある。
1:30:12	節 B に対して、
1:30:16	もうこれもこれも全部同じ説明だからってこの中では、
1:30:21	やっぱり類似品ってこののが一般的な人には、
1:30:25	類似してるよねってこのような、要件みんな大体一緒に中身だけ違うだ けだからとかってこののを、そのわかりやすさってこののが、多分、
1:30:34	必要で、
1:30:36	何かちょっと 1 件かけ離れたものが実は、
1:30:42	条文的には対応は一緒にだからみたいなのってこののが、嘘。そういう部 分ってこののはちょっと気をつけていかないと。
1:30:51	世間がわかりづらくなってしまいうんだよね。
1:30:56	ていうところもあって、ちょっとその、
1:31:01	グルーピングとかってこの、だからそういうところを気をつけてあげない といけないんだよね。
1:31:10	はい。
1:31:12	それはこの 20 日の日とは違うわけですね、これからはいい。
1:31:16	加速期間はいつやられるかよくわからないってこの。
1:31:23	ミヤグス
1:31:24	まさに、我々の問題なんですけどまだその第一グループのやつすら出 せてないのでですね、まさに我々ちょっと底が遅いのでここ一生懸命頑 張って、
1:31:35	何とか、今 11 月末に出そうと努力してる、ちょっと若干遅れるかもしれ ませんがそこ頑張ってお出して、
1:31:42	続いて、グループ 2、
1:31:44	グループ 3 までの話をちょっとそこまでするほど、進んでおりませんが も、グループワンツを何とか年内に出したいなというんで頑張ってます。 そこを出してからだと思います。我々の作業がまだ追いついてない という実態でございます。
1:31:58	成長する、もうそうすると、年明けまだ耐震なんかも大体みんな年明け 1 月ぐらいに、

1:32:05	そういういろんな、
1:32:07	ものが一旦ね、
1:32:10	整理じゃないけど、もう一つのね、ある種の区切りじゃないけど進捗のあれっていうのは、こっちも大体同じっていうことね。
1:32:18	その時点で、
1:32:20	一度、
1:32:23	今の状況はこうだよっていうのが割とわかりやすい。
1:32:28	一定の段階にはあるっていう、進んではないかもしれないけど、はい。
1:32:34	辺見ハセガワです。ちょっと私のその認識でいきますと、グループ1をまず11月30にまず出します。うん。12月の審査会合に、
1:32:45	報告させていただきます。状況としてですね。
1:32:48	我々並行してですね、グループ2の水の資料づくりも今進めているところ。1月には出したいというふうに考えてます。
1:33:00	で、少しずつその資源の中も習熟、
1:33:05	しつつ、医師、
1:33:07	できていくと思うんですね。
1:33:09	その1月の段階で、
1:33:11	残りの3、IV6で残りを、いつのタイミングで我々は出していくんだっていうような、
1:33:18	計画をし、まず示さないといけないかな。
1:33:21	まず思ってます。
1:33:23	あとは個別の
1:33:25	グループ積んでいけばですね、補足資料の中で、個別の技術論も始められていくのかなっていうのが私の今の認識です。
1:33:39	はい。
1:33:47	はい。
1:33:48	他は。
1:33:50	ないんですよ。
1:33:54	はい。
1:33:55	じゃ、清長官です。
1:33:57	一応これで一通りかな、あんまりスケジュール具体的の話しませんでしょうか。何か話したい人いますか、規制庁。
1:34:09	SSSはいません。
1:34:10	すいません、今回は大丈夫です。
1:34:15	はい。
1:34:16	じゃあ、イセ
1:34:18	中の部分は、これは下で、これはまたここ

1:34:24	これで一旦、はい。
1:34:26	あ、すみません、古作です。前倒してやってくれって話してたと思うんですけど。
1:34:33	規制庁すみません
1:34:36	理解
1:34:38	できる。
1:34:42	いきます。
1:34:43	はい。
1:34:44	ありますか。はい。
1:34:51	はい。
1:34:53	はい。
1:35:11	はい。
1:35:11	できないならいいですよ。
1:35:14	はい。
1:35:16	すみません私も聞いてなかったので、はい。
1:35:20	はい。すみませんちょっと確認私もちょうと段取り。
1:35:24	申し訳。
1:35:26	ほぼからという。
1:35:29	お願いしま
1:35:30	はい、じゃあ、一旦、午前中はこれでしょ。
0:00:01	はい。録音開始しました田子前に引き続き、補修等の説明と進めてください。
0:00:16	はい、再開したいと思います。
0:00:19	進め方どうしましょうか。資料は、
0:00:23	まずはあれかもしれません。午後の出席者の確認から、
0:00:44	弓削根井氏でございます。出席者の確認からやらしていただいて、はい。すみません。
0:00:51	確認はスケジュールに書いてあった、DBの設計項目の整理から順番に、
0:00:59	午前中の資料のスケジュールに書いてある資料の順番でやりたいと思ってました。
0:01:08	アイデア、まず最初出席者の確認の方から進めたい。
0:01:16	思いますまず規制庁側の出席者と補助会議室からはフジワラ場合に、この
0:01:22	Webの方から、カミデハバサキヨコヤマキシノ臭く。
0:01:28	効果オオハシアカシています。
0:01:33	現在の出席者の紹介をお願いいたします。



0:01:36	はい。日本原燃事務局中川です。はい。
0:01:40	少しメンバー変わりましたので改めてご紹介いたします。
0:01:45	Steeringチームより、イシグロタカヤイシハラ。
0:01:50	サポートメンバーといたしまして、シミズ
0:01:54	AM、
0:01:55	オク整備再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:59	参加者以上となりますよろしくお願いいたします。
0:02:03	はいそれでは下が資料の説明等をお願いいたします。
0:02:14	はい。日本原燃の石黒でございます。そうしましたらまず竜巻防護についての
0:02:21	今回のページ、資料について簡単に修正点を中心に説明させていただきたいと思います。
0:02:29	資料としましては、竜巻防護に係る評価要求と交通設計等の設計項目の整理ということで、基本的に修正した箇所につきましては、青字上、周知していただいております。
0:02:44	保護につきまして、最初に、類似性を整理して書いてあるところにつきましては、この資料が何に資するものかといった内容ございましたので松浅利てますけれども資料2を意図したものであるということがわかる形にしております。
0:03:01	またというふうに書いてあるところは、これ共通的にさせていただいてるものですが、こういったところ、結果を踏まえてのSAとDBの関係性をするというのをタナカに書いているものでございます。
0:03:15	下の方に評価満足させるためにコウレ設計については構造設計等というくだりがありますが、こちら前回評価要求、竜巻についてはもともと評価要求のところについても構造設計と結びつけて書いてはいたんですけれども、
0:03:31	こちら共通的に、このような表現を用いるということでそれをちょっと記載の適正化という形で反映させていただいてるというものになります。
0:03:40	添付1ですが、ざっとSLと4番につきましては、この青字で、下の方に書いてある代替する機能がない場合はといったなりがですね、
0:03:52	上の段に書いていて、1は矛盾する中身だったので記載する場所を変えているという形になってます。
0:04:00	うちの方にですねこれは※が書いてあると青字のところですが、こちらは事情その他基本設計方針ナンバー17に展開するというふうに書いてますが、
0:04:11	前回、作業分から展開を受ける場合の記載の仕方として、具体的な所在地というか、

0:04:21	どの番号との方針の何番かっていったところまで書いていなかったの で、その辺、統一的に書かせていただいている、いうふうな形で、これ以 外にも次のページでございますが、ちょっと一つちょっと説明しない。
0:04:34	よく二名と考えております。
0:04:38	6 右下 5 ページの方とページの方見ていただきたいんですが、こちら 14 番、もともとこちらはですね、タテ合わせ、
0:04:50	竜巻防護対象施設っていうのは、タテアライに設置するといったような 配置関係の会社書かれてるところでして、またもともとこれ 1516 に対 して紐付けるような整理をしていたんですけれども、
0:05:04	これはこの下の方をちょっと見ていただくとわかりますように、当間街で 繋がっている。
0:05:10	竜巻防護対象施設の構造設計ということで、基本設計方針ナンバー17 の方等の展開、さらにはですね 18 のところにある、タテアライのタテタ ゾエ防護対象施設の配置設計、
0:05:23	ということで構造物のところにも展開するという、
0:05:28	仕様で記載のヒアリングさしていただいてそれを反映した形になってご ざいます。
0:05:34	次のページ、6 ページですが、細かくあれですけど、もともとこれ、ちょう どこの真ん中辺りのところで、
0:05:44	系統上を示すってのがちょっとわかりにくいかもしれませんが、塔槽類 廃ガス処理せえ設備のうち外と繋がっているものについて、設計情報と しか書いてなかったんですけど具体的な設計情報って何かっていうこと で、系統図のことですっていう、回答させていただいたと思います。
0:06:01	それはその辺ちょっと答えを示すような形にさせていただいております。
0:06:08	頭のページの 18 番ですが、これ建物構築物のところで、これはもともと その建屋の構造ということで、
0:06:19	例えば開口部の構造というところの説明をさせていただいたんですけど もそもそも
0:06:28	この 18 番というのは、その建物建屋に収納されるが、防護が期待でき ない竜巻防護対象施設ということで、そういったパターンっていうのは、 その開口部の位置と、あと機器の単一と、
0:06:40	両方が関連して、このような事態になるということで、こちらの配置設計 のところですね、建物構築物の配置設計のところには、
0:06:52	開口部から駅の配置情報位置関係といったところに加えて、さらにその 下のところ、業績方針ナンバー14 の機器配管の建屋内の配置情報と いうことで、

0:07:03	建屋の構造の情報と、機器の位置情報とかいったものを両方書くことで、それらが関連して、
0:07:13	等、
0:07:15	建屋に収納されるのが防護が期待できないといったようなところがわかるような記載に修正させていただいてる。
0:07:21	ものになります。
0:07:24	7 ページ以降、
0:07:26	こちらはですねもう少し記載をですね、東端影響を及ぼさないの設計と いったところじゃなくて、その構成する人が部材が 15 ナツメを有すると。
0:07:36	いったような形で具体的に何を見ていかないといけないのかといったところを、 適宜修正させていただいてるというものになります。
0:07:50	11 ページの、
0:07:52	ですが、31 番のところ、
0:07:56	こちらはもともと、構造設計っていったものがなくて、
0:08:01	愛知ですね、のみを記載させていただいていたんですけども、
0:08:12	これ建屋による防護が期待できない場合に、
0:08:15	竜巻防護対象施設が守るように、竜巻防護対策設備を設置するといったところになるんですけども、 竜巻防護対策構造としては側面をよ うにと。
0:08:28	上面とか側面をよ うな形です るといった形で、その配置じゃなくて構造であ ろうということで、構造の方に表現を切り替 えると。
0:08:38	というような形になっているものでござい ます。
0:08:42	続きまして 2 ページ 11 ページ、
0:08:47	こちらはですね、
0:08:50	前回 35 の方にはですね、隙間に関する記 載を記載させていただいたんですけども、 右側にはないねと言ったの面もございま して、
0:09:02	この 34 番のところに対して、隙間に関 わる記載を書かせていただいております。
0:09:11	進入することを防止するために設計レベ ルの進入経路を制限するように防護盤を配 置すると、精鋭設計だ物を衝突させるこ とでナツメアキモ対策設備内への進入防 止すると。
0:09:22	いうふうにちょっと表現させて、記載さ せていただいております。
0:09:28	それ以外はですね、基本的には裏返しな らぬように工夫するということで、少し でもちょっと
0:09:36	構造設計の中身がわかるように記載さ せていただいさせていただきます といたしたものになりますこれ 35 も同 じになります。

0:09:45	ちょっと全部ミイの話はですね、前回からもお出しさせていただいてますけれども、この辺の繋がりがもう少し充実させたことをですね、
0:09:56	国の方にも、
0:09:59	展開といいますか、それを反映するような形で修正させていただいておりますが、基本的な説明の、
0:10:06	どれとどれ合わせて説明していくかといったところの違いないので説明はちょっと伝えさせていただこうかなと思います。説明は以上です。
0:10:17	はい、説明ありがとうございますそれは規制庁から当該資料について、確認等ありましたらお願いします。
0:10:23	はい。規制庁の荒井です。
0:10:25	竜巻に関しては、繰り返し、ヒアリングの中で、設計項目の抽出等、その書き方っていうのを、
0:10:35	やってきたりとかあと紐づけの仕方っていうところについても、
0:10:39	やってきたっていうところもあり大体整理されてきていて、次のステップかなっていうふうには思っています。それで、ちょっと事実関係。
0:10:51	の確認とかで、少し、
0:10:55	数点、つい追加というか、さらに確認させていただきたいとっていて、
0:11:02	本文の方は特段、
0:11:05	なくて、添付 1、
0:11:08	の方で、
0:11:11	具体的なページで言うと 6 ページ目、6 ページ目の 18 番なんですけども、
0:11:18	ちょっと建屋等、建物構築物の方に記載を寄せていて、前回だと屋内機器配管とこれも多分書いてあったと思うんですね。
0:11:29	意図としては
0:11:31	建物構築物の配置設計って言った時に、そういうワードを使うと、
0:11:38	敷地の中にここにありますがっていうぐらいの説明しかないなので、機器の配置設計とかっていうふうな表現にした方がいいんじゃないっていうぐらいのコメントだと思っていて、
0:11:49	特にここ今屋内機器、配管のところって、今ば一んなってるんですけども、
0:11:55	18 番の基本設計方針を見ると、やっぱり主語は竜巻防護対象施設であり、屋内機器配管もその対象。
0:12:04	メインの対象になりますので、
0:12:06	ここほぼ本木の文章を戻してもらおうと非常にありがたいんですが、いかがですか。
0:12:16	はい。日本原燃土井終了でございます。

0:12:20	どうぞ。それとご指摘だと思って、一応、県内でもですねどう整理するか っていうのを、まさに議論をしていたところで、結論から言うと戻すのは、 全くやぶさかでないので、イエスということになるんですが、
0:12:35	一応この構成としてどういうふうな扱いにしていたかちょっと先ほど冒頭 で私説明すればよかったのかもしれませんが、屋内の機器配管の
0:12:46	いわゆる配置に関わる話かなというふうに思いまして、この 18 に書くべ き書くべきっていうか、書いてもよかった情報っていうのは、
0:12:58	この 14 名に集約したという、整理等を考えていてですね、その 14 で機 器配管の配置があつてそこから、建屋側に飛ばして行って、それが両者 が関係して、その後
0:13:13	建屋内でもできない機器が存在するといったような形になると、嘘。そう すると建屋の方だけ見てもちょっとわかりにくくなるなっていうことで、建 屋個構築物のところの、
0:13:25	18 番の下の半分のところは今引き合い管理債権するというような、ちょ っと形をとらせていただいていたというのが実態なんですけど、おっしゃるよ うにですね手法を考えると、ここに入れるべきといった
0:13:38	ご意見は最もだと思しますので、そこは修正させていただいていただき たいと思います。
0:13:43	はい、そうです。規制庁の荒井です。多分内容はほぼ 18 番と 14 番、ガ ッチャンコしたりリンクを張ったりっていうだけだと思いますので、
0:13:54	整理でお願いしたいと思います。
0:14:00	はい、承知いたしました。あ、あ、ごめんなさいコサクです。聞こえます かね。
0:14:06	はい。
0:14:07	はい。
0:14:08	アオキちょっとすみません今ぼけっとしたのかなと思うんですけど、実 際、最終的にどうなるのかっていうのを確認したいんですけど、前か今 のような、
0:14:21	設計説明場じゃないや、
0:14:25	横軸で関連するっていうものと、あと縦軸で関連するっていうものをど ういうふうにつないでいくのかっていう話をしたと思うんですけど。
0:14:35	資料としてわあ、縦も横も含めて、
0:14:42	ヒライタテ横尾。
0:14:45	だけの水をするっていうことではなく、
0:14:48	括弧書きで呼び込ん
0:14:52	呼び込んだ飛ばしにいくと。
0:14:54	飛ばしにいったものの受けを最初に書くと。

0:14:58	いう。
0:15:01	ことで、整理をされているってということだと見。
0:15:06	お見受けしてですね。
0:15:08	今で言うと 14 番の屋内機器のところに、一番下で括弧書きで、
0:15:17	建物構築物、18 番の建物構築物、
0:15:23	飛ばしますと、
0:15:24	なっているので
0:15:28	それで今、荒井が言ったようなところは記載しています。18 番の、
0:15:37	建物構築物で、
0:15:39	てくるんですけど、
0:15:41	数アベ配置設計って言うてからは、丸配置設計の最初のポツでその受けとして 14 番のオクない。
0:15:50	もっと書いているっていうのがお作法ですかね。
0:15:59	予定の所でございます。お作法としましては、そのつもりで今回書かせていただいてたっていうのが実態ではあるんですけども、
0:16:10	くっていうのがまず一つ目です。ただ 18 番の基本設計方針の主語は、竜巻防護対象施設はという形になっているので、
0:16:21	屋内機器配管のところ、バーになってるっていうのは、やはり違和感があるのではないかというのが、荒井審査官がおっしゃっていただいたことで、そこをちょっと意識して、
0:16:32	18 番の屋内配管のところに配置情報を入れるというような整理をさせていただくということに、今、したものだという理解をしております。
0:16:42	どうですか。コサクです。それで言うと、今回ここ建物構築物で書いてあるやつは、逆にバーになるんですか。
0:16:58	日本原燃の肥後でございます。建物構築物側に、
0:17:05	建物構築物の構造を変えて、屋外機器配管の方に機器配管の配置パックという、
0:17:13	そういう整理になると理解しております。
0:17:16	100 コサクです。わかりました。そうすると、オクな機器の配置を踏まえつつ、
0:17:25	建屋として、開口部なり何なり設けるっていうのはこういう、
0:17:30	設計をしますよってのは建物側に算い。
0:17:33	建物のそれを踏まえて
0:17:37	具体の機器についてはこういう配置にして簿を達成しました。書き分けるっていうと、
0:17:46	と理解をしました。で、そうすると元に戻って 14 番の鳥羽四方っていうのはどうなるんでしょうか。

0:17:57	兵庫県の城山宗です。こちらは
0:18:02	一番下のところが建物構築物というふうにしか書いてないんですけども、
0:18:12	屋内機器配管及び、
0:18:15	構築物や、
0:18:18	防護対象施設の配置設計をって言ってるから、この18番が屋内機器配管の項目に入れ替えるだけじゃないですか。
0:18:28	ここで開口部の話じゃないですよ。
0:18:32	14番で4番でしょ、さっきの配置だけですねそしたらもうここは、建物構築物が岩盤18の屋内で機器配管っていうのに入れ替えるだけですっけ。
0:18:43	キタニをリブ飛ばし先が、
0:18:47	松田です。浅香です。まず、そこから建屋に行くことはなくていいんだらうなと思うんですけど、そもそも18番に飛ばす必要があるのかどうかもちよっとよくわかんなくて、
0:18:59	13番で、14から19に展開って言ってるんですよ。
0:19:07	展開元を展開先なんと同じ子供なんですよ、14と18って。
0:19:15	はい。
0:19:16	これ、親子関係になるんですかね。
0:19:23	海に行くと建屋内の機器の海中は建屋に収納するっていう時に、その機器の配置も含めて、そこで一旦クローズするんだらうってなれば、
0:19:32	14番で全部変えて、
0:19:35	その事業間の情報を自分で18番が受け取るだけ。
0:19:42	それ18番は何をやるかっていうと建物構築物で、14番で敵の配置オギ分でもらった上で自分の開口部との関係を示すって、
0:19:51	いうことを説明すれば、
0:19:54	プレートへの情報がコラムになって建物構築物側で話が全部来る。
0:20:01	うん。あ、ごめんなさい。まずね、屋内機器は1館の
0:20:08	方針として14と18ワー並立なんだろうと。
0:20:12	うん。13を見るとね。
0:20:14	何かっていうと、14番は
0:20:19	荷重が課税だったり全般になってるわけですよ。はい。一方は18番は飛来物っていうことであって、それは
0:20:29	並列で要求をかけてそれぞれ対策を述べればいいと。
0:20:34	うん。
0:20:35	14.の飛来物って言わなくていい設計方針だったんじゃないんですかね。

0:20:41	ミネギシでございます。はい。どういうことですか。
0:20:45	はい。補足です。であれば 14 は 1048 は 18 で 18 の方は、機器としては建屋としてはコウと書けばいいということじゃないですかね。
0:20:57	コミヤイシグロです。その方が、Schoolするとは思いますが。なのでこのリンクそのものが若干ちょっと余計だったかなという。
0:21:07	思いますので、そこはちょっと削除して、前回と同じような整理で 18 の方に、建屋と比木それぞれ記載させていただいて、
0:21:17	それらの関係で
0:21:20	僕は期待できない防護対象施設が複数行って論じるという高く近いと思います。以上です。
0:21:25	はい。補足です。今お話をしたところではあるんですけど、前回の話を踏まえてだと思いますが 22、
0:21:37	5 まで呼びに行かないと、親はコウ及び、
0:21:42	コガ、大井コガ孫ってのはあれですけど、また一つ、瀬田イシタのものを呼ぶという形で整理をされたってことでまずいいですよ。
0:21:53	はい、柳下でございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。
0:21:58	はい。コサクです、そういう関係にあるので、通し 3 ページのところを見ると、
0:22:07	ここで後段に大分呼び込みが書かれているものの、呼び込まれてない番号があって、それはその呼び込まれない番号の前の番号のものから、後の形で呼び込まれる。
0:22:23	ようになっているのでっていうのがほとんどかなあというふうに思っているんですけど、一部そうじゃない。
0:22:31	ものが次、
0:22:33	ているような気もしていて、
0:22:36	すみません、
0:22:38	画面上でパッと見ただけだったんであるんですけど、ちょっと 13 で 1049. 呼び込んで 20 ワット。
0:22:49	いうところで、20 が単独でよ、受けもしていない。
0:22:57	で登場するっていうのが出てきて、
0:23:00	21 は呼び込まれてるんだな、9 から呼び込まれ、3379 からよく言われてるってことになってるんですけど、これって宙に浮いていいんですかね。
0:23:15	はい。人間で一緒でございます。ちょっとそこは整理をします基本的にはおっしゃっていただいたように竜巻防護対策設備を設置する、その設計も含めて、安全機能を損なわない設計を達成するためのパーツなので、



0:23:30	少なくとも、一番、
0:23:35	かな、一番は確実に来リンクはもう駄目だと思いますし、それ以外も関係性をもうちょっと整理した上で、そこに行った時に単独にならないように、整理をします。はい。
0:23:51	はい、細田ですよろしくお願いします。言われるように最上位のものは全般にかかっているってことだと思うので、中盤以降のものがいきなり、
0:24:02	し一番頭の親になるってことは多分ないんじゃないかなと思いますのでよろしくお願いします。あれ紹介します。
0:24:11	はい。規制庁の荒井です。
0:24:14	ちょっと先ほどの議論の中で、
0:24:19	今までの話だと多分
0:24:23	親からこうこつから孫みたいな流れを作るって話で今なっていたのかなあとは思っていて、
0:24:31	例えば 5 ページ目の 14 番ってのは、
0:24:36	14 番の基本設計方針に書いているのは、
0:24:39	非常にサマリーみたいなことを書いてあるんですね設計荷重に対して安全機能を損なわない設計とするって書いてあって、
0:24:50	これの具体が 15 番以降に書いてあるので、多分原燃としての思いは、14 の内容を 15 番以降に、ちょっと飛ばして整理してみればいいんじゃないのかっていうところ。
0:25:03	だったのかなとは思っていて、
0:25:06	それで
0:25:07	今回それがそう整理しなくなるって理解でいいんですかね、まずは。
0:25:14	このタケシタさんちょっと今、今 14 番と言われたのが 14 番から 19 番までが一連の設計の流れになっていて建屋に入っていると。
0:25:29	機器だ、それを収納する建屋、建屋に対して外と繋がってルー施設、あと開口部の話というのがこれ一連の流れだと思っていてその
0:25:41	頭になるのが 13 番。
0:25:44	がその頭になっているということで、今 13 番から 1049 に、展開するっていう冒頭宣言でのつなぎにしていると思ってましてそこは特段変える必要はないかなと。
0:25:57	先ほどセットで、それぞれ親子関係になってないのは小澤さんおっしゃった通りで、それぞれ並列で設計が並んでいるような、
0:26:09	各組み合わせて、その一つの設計を達成するみたいな話になっているところが、キタニのある情報を渡しますっていうのが親子みたいな関係

	になってないので、その設計方針の成り立ちから考えるとこの括弧書きで飛ばしてるやり方が、
0:26:24	しょうがないじゃないかってのはさっきの話かなと思ってました。
0:26:29	はい。そうすると、13番を親みたいな感じにすると、14番から19番は兄弟みたいな感じで、兄弟の中でも示す部分っていうのは、
0:26:41	市民、何ていうか示す範囲っていうのは軽重が出てしまって、いずれにしる、ワンパッケージなので後ろの方で出てくるから、そこで14番でここまで書かなくても、す。
0:26:53	一体としては示せるってそういう理解なんですよ。
0:26:58	はい。
0:26:59	わかりました。特に記載が過不足なくなく、されればここはスズエで問題ないかなと思ってますのはい。ありがとうございました。
0:27:12	コサクです。ちょっと次カナダんですけど今13番が、をやっているかのように言われたんですけど、2番で呼ばれてるんですよ。
0:27:25	こちら辺って等あってです。
0:27:32	はい、宮城石原でございます。
0:27:34	これ親子孫ひ孫になっちゃうかもしれないんですけど、一番2番をせざる呼び込んで、2番から13番に、本当はウタて立て付けは、
0:27:49	一番と2番。
0:27:53	が、店舗で多分成立する基本設計をしたんで今分けてる関係上もあって、一番から2番に飛ばして2番から13番に行って13番から14から19人。
0:28:03	飛ばすという流れにしてみました。はい。補足です。それはわかっていますね。
0:28:10	気になったのは、2番以降に、一番受けてますとか、2番を受けてますっていうのを書いてないっていうのは何ですかっていうことなんですけど。はい、宮城西原でございます。はい。
0:28:33	おそらく冒頭宣言の記載ルールはそこまでいってないってことだと思うんですけど、やった方がいいんじゃないですかね。わかりました日本原燃志田でございます。そうですね。ちょっと、
0:28:46	いろんな関係が中身が増えるなと思って私が親から子供子供から孫に行く場合は、出てくるのは、
0:28:57	真ん中の子供が、が全く何から受けてるかわからないような状態に今リンクを話してしまったので、そういう意味では一番頭にいる人って案外、
0:29:07	これからも出てこなくなっちゃうのでそこがわかるようにした方がいいってことですね。はい。整理をします。はい。補足ですずっと、

0:29:16	うん。今の2番に一番最初で13は2って書けっていうただそれだけです。わかりました。はい。
0:29:31	はい。規制庁の新居です。繋がりの部分については拝承しましたよろしく整理をよろしくお願いいたします。
0:29:37	あとは、
0:29:40	竜巻の中で気になる記載としては、
0:29:44	7ページ目の21番の、
0:29:48	青字でいろいろ評価のところ強度を有しているっていうふうに、
0:29:53	屋外と屋内機器は書いているんですけど、建物構築物のところだけは過大な変形が生じない構造っていうのは何か違いがあるんですけど。
0:30:07	表現の中でございます。建屋につきましては、終局強度に対して、まずさせるというところで、変形を受けているものという理解をしたもので、ちょっと記載を音的に書いているものになります。以上です。
0:30:23	はい。
0:30:24	それは強度を有してるということにはならないってことなんですかね。
0:30:37	日本原燃の石黒でございます。ここは、
0:30:42	悩ましいなと思ってまして前回のヒアリングの際にですね、真木さんから、そのような、に類するご指摘を実はいただいております、
0:30:54	強度を有すると言いながら変形を見てるとっていうのは、見るべきものを、
0:31:00	パラメーターが違うんじゃないかといった趣旨をですね、前回されたと思ってて、そこを少し意識してですね。
0:31:08	変形と強度はちょっと結びつけないようにというような、ちょっと認識を持ちつつ、ちょっと書かせていただいたところがございまして、
0:31:19	ある一定量の変形におさまれば強度を有するっていうことなのかもしれないんですけども、評価上、それを強度と呼ぶかどうかっていうこと。
0:31:29	なのかなと思いました。ちょっと
0:31:35	井清ちょっと改めて、はい、考え方を整理したいなと思うんですが。はい。
0:31:41	ちょっと並木サカイたというのがちょっと実態でございます。はい。規制庁新井ですけどそういう意味だと建屋っていう時点でコンクリートピットとかそういうところをイメージされてるのかなあとは思ったんですけど。
0:31:54	例えば構造部材の中に他にもあり、フードとかあるじゃないですかああいうところは同じような感じなんですかね。
0:32:08	日本原燃の石黒でございますフードは強度というふうに理解しておるんですよ。はい。
0:32:13	そういう意味だと少し、

0:32:15	またはとかにつなげるとかそういう書き方もあるのかなと思いましたけどいかがですか。
0:32:26	部材によって変わるってところがわかればいいのかと思うんですけど。
0:32:32	受けてるイシグロでございます。
0:32:36	そうですね。おっしゃるように、例えば一部でも確実に強度を見ているものがございますので、今の記載だけですと、その辺が十分表せてないというのは理解しましたので、
0:32:49	またはといった、ご持参いただきましてありがとうございますちょっとそれも含めて、記載のほうは少し検討させていただきたいと思います。以上です。
0:32:59	はい。規制庁新井です。
0:33:01	はいお願いします。
0:33:05	あとはですね、
0:33:08	9 ページ名の 31 番、
0:33:13	の竜巻防護対策設備の、
0:33:16	青字の部分で、
0:33:18	どのように、
0:33:19	防護設備設置するかっていうところで、竜巻防護対象施設の上部及び側面を覆うようにって書いてあるんですけど、下部っていうのは何で出てこないんですしたっけ。
0:33:37	はい。日本原燃の志賀でございます。こちらは、
0:33:42	オノが設置している床面をイメージして、すでに
0:33:48	床があるからということ念頭に書かせていただいているものでございます。実際竜巻防護ネットにしても、市民と上を囲っているというのが、
0:34:02	実態かなというところをちょっと意識して記載させていただきました。以上です。
0:34:08	はい。
0:34:09	そうする等、床に設置されてるものがあれば、側面から立ち上げればいいのかもっていうところあるんですけど、たまに
0:34:20	空中に浮いてるような配管形状であったりとかもあるので、カブとかっていう記載も必要なのかなとは思ってるんですけど。
0:34:30	ここで言いたいのは多分地中からは、飛来物は来ないってことを言いたいんだろうかなと思うんですけど、いろんな設置パターンを勘案してこれだけ足りるかどうかっていうのは、
0:34:41	もう少し検討が必要なのかなと思うんですけど、いかがですか。

0:34:48	はい。日本原燃の州ございますし、終わりました。少なくとも、仮に空中に浮いててしたから、
0:34:58	入ってくる恐れがあるものっていうものがあれば当然そこもをするというのが方針ですので、そういう意味でちょっと誤解を与える表現だというふうに理解しましたので、そのような誤解を与えないような表現にはちょっと修正させていただきたいと思います。以上ですね。
0:35:13	はい、お願いします。
0:35:18	あとは、
0:35:21	10 ページ目。
0:35:23	の 34 番なんですけども、
0:35:27	34 番で、
0:35:30	ここで少し取引なのがですね、一番右の欄の、
0:35:36	竜巻防護対策設備のナカノ 0 構造設計っていうところで、
0:35:41	その下に
0:35:43	竜巻防護対策設備の共通設計っていうのは書いてあると思うんですね。
0:35:47	それで、だーっと下まで青字のところ読むとその次、個別設計っていうのが書いてあって、
0:35:54	ここで記載上の問題だけなんかなと思うんですけども、
0:35:59	共通の設計の
0:36:03	1 ポツ、最初のポツのところ、防護盤、
0:36:08	括弧、鋼材は設計飛来物の衝突に対して貫通が生じない厚さを確保する設計と。
0:36:15	するっていうふうに書いてあるんですけども、
0:36:20	失礼しました逆でした個別設計の最初のポツでですね。
0:36:25	5 番括弧鉄筋コンクリート製はっていうところ書いてあるんですけども、
0:36:29	ちょっと共通の方は、この鉄筋コンクリート製っていうところは読めないんですけども、何か共通の延長上に個別があるのかな。
0:36:39	ていうふうに読むのが普通なのかなと思うんですけど、この共通と個別の分けってどういうふうに考えてるのか、ちょっと説明をお願いします。
0:36:53	兵庫県の新保でございます。すいませんこちらちょっと表現のが十分親切でなかったというか、言葉足らずになっていて、お返しをさせて頂いているものと思っておりますちょっとその辺ちょっと申し上げませんでした。
0:37:09	ここで言う、共通設計等っていうのは、34 番と 35 番の共通設計という津モリイを担っていてですねそこをもう少し、

0:37:20	読んでわかるようにしないとイケないなと思います。35 ページ、35 番、11 ページの 35 番見ていただきますと、また同じように竜巻防護対策設備の共通設計と書かせていただいて、
0:37:32	基本設計方針ナンバー34 と同じということで、ここは共通するものについては、22 が無いということをちょっとしようとして、
0:37:42	このような記載にさせていただいております。先ほどあった鉄筋コンクリート製につきましては、飛来物防護ネットの中には、
0:37:53	登場してこない、防護版になりますので、これは 34 番の方の個別設計というふうに入れさせていただいたものになります。ちょっとそこがわかるような修正が必要だと思いましたのでそこは直させていただきたいと思います。以上です。
0:38:08	共通の説明を足すっていう意味、イメージでいるんですかね。共通とはここでいう共通設計の共通とは何かっていうのは、
0:38:18	説明されるってイメージですかね今の話だと 34 番の 35 番で共通するものは書いてあるっていうそういうそういう理解なんですよ。
0:38:29	はい。日本原燃肥後です。その通りです。
0:38:36	3 ヶ月。
0:38:39	すいません。34 と 35 の、
0:38:43	に対する、この 2 社に対する共通設計ということで、それ以外に展開するようなものではなくてあくまでもこの二つのみに着目したものという理解、という
0:38:55	認識で書かせていただいております。以上です。はい。
0:38:59	それを明確化するためにどういう修正しますかっていうイメージなんですけど。
0:39:14	我々の仕事でございます。こちらにつきましては、真面目にこれ書かなければ、ただ単に同じ記載が 35 番の方に繰り返し書かれる形になりますので、はい。
0:39:27	調整系とは普通に呼ばずに、ここだけ識別するような形にして、その峻別したものが 30、
0:39:37	引っ張ってくるようにするのか、もしくはもうそれも、なんていうか混乱のもとなんであれば、もう同じ記載を 35 に書くか。
0:39:48	ていうのはちょっと考えたいと思って。はい。
0:39:51	ちょっとより良いやり方で整理をお願いしたいと思います。
0:39:56	弓削イングロですかしこまりました。
0:39:58	はい、小阪です。
0:40:01	今の点ですね。
0:40:03	共通という言葉だけだと、確かに厳しいなと思うのは、

0:40:11	藤 34 番の方で見ると、
0:40:16	主語が防護盤鋼材って言っていたり、
0:40:21	或いは、
0:40:26	色つきのポツで三つ目。
0:40:30	のやつにも、文中に防護盤鋼材と書いて、
0:40:34	ある。
0:40:36	等ですね、そのまま
0:40:39	防護ネットに持っていけるということではなくて主語を変えたり、中身を少し変えたりという必要があるんで、
0:40:47	その辺りは明確にする必要があるだろう。
0:40:51	ということだと思います。
0:40:52	ということからすると、
0:40:56	共通というよりは、これで対策設備共通って言ってしまったら、
0:41:03	5 番括弧鉄筋コンクリート製にも適用する方針になっちゃうんですね。
0:41:09	それでいいものは、まずそういうふうには言わなきゃいけないし、
0:41:13	鋼材のものってやるものっていうのは数字で言わなきゃいけないし、
0:41:19	ということなので、
0:41:21	共通で書くのであればそこを
0:41:25	対象物を併記して書くなり、
0:41:28	何らかの整理をしていくという必要があるんだと思います。ここ書き分けるという時、
0:41:36	でも、なぜ今回共通っていうのを考えたかって言うと、種類の整理をしていったところで、重複はなるべく外そうと。
0:41:45	ということ等で考えられたんだと思うんですね。どちらが代表かはちょっとわかりませんが、
0:41:53	そうした場合にはまさにこういう整理をしていただいた方がわかりやすいので、単純に同じように変えていくという、
0:42:03	ことではなくて、何らかの工夫をしていただくといいなというふうには思います。以上です。
0:42:12	はい。日本原燃の石黒でございます。
0:42:15	書き分けは重々理解をさせていただきました。その上で、共通した書き方ができるのか、個別で書いた方がむしろわかり良いのかといったところは検討させていただいた上で、次回、またちょっと知恵を提出していただきたいと思います。以上です。
0:42:33	はい。規制庁の新井です。はい。よろしくお願いします。
0:42:37	これ最後なんですけど最後の 35 番の竜巻防護対策設備の真ん中の青字、D、竜巻防護ネットを構成する部材はっていうところで、

0:42:51	ここで竜巻防護ネットを構成する部材って何なんだろうっていうところがわからなくてどの部材を示すのかっていうのは明確にしないと。
0:43:01	脱落するものって何だっけっていうところに次の波及的影響の説明繋がらないので、もう少し明確が必要だと思うんですがいかがですか。
0:43:17	はい。日本原燃の新聞になります。当然ながら、この構成する部材につきましては
0:43:24	説明資料でも資料3でも出てくるので、記載することは全く別。
0:43:30	ですので、はい。ここにも記載させていただくようにさせて、
0:43:38	いただきます。以上です。はい。それでは脱落っていう表現があるので何かボルトかなんかが一緒に行く。同じ。
0:43:46	についてるのかなとは思っているので、ちょっとそこは明確にしていきたいのと、最後の評価の部分の青字のところ、
0:43:56	防護ネットを構成する部材は、設計荷重に対して破断しない強度を有していることを、
0:44:03	評価するっていうところで、
0:44:05	この、
0:44:07	何が破断しないのかっていうところ。
0:44:10	もう合わせて明確になるといいのかなとは思いますが。
0:44:18	はい。日本原燃石黒であります。
0:44:21	承知しました。記載させていただきます。はい。
0:44:26	ただ、
0:44:27	規制庁ある竜巻については以上です。他、規制庁側から何か確認したい点等あればよろしく願います。
0:44:37	すいませんコサクです。今の点で、防護ネットっていうと、ネットブーンに限定されるんですね。
0:44:51	はい。日本原燃石堂でございます。ネットとあと補助5番も防護ネットに入る形になります。
0:45:03	属すを超えますと、ただ、補助防護も含むけど5番は含まないんですね。
0:45:10	その通りです。
0:45:12	はい。
0:45:12	古作です。で、あと先ほど荒井が話をしたところで、防護ネットだけでいいんですか。
0:45:33	原燃の石黒でございます。ちょっと質問の趣旨を取り違えたら大変恐縮なんですが、前のページの10ページで、例えば、
0:45:43	竜巻、5番につきましては、ちょうど中段辺りに、取付ボルトがハダシバオオバの脱落による波及的影響を与えないということで、熱湯ではなく



	て防護盤の方にも記載をさせていただいているという理解をしております。
0:45:59	わかりました。コサクです。そうすると、これって分けるんじゃないで、まさに共通の方針なんじゃないですか。
0:46:15	はい。日本原電の首藤でございます。おっしゃるように、34番では、の項目は、急激家計影響の話をしていて、35ではですね、
0:46:27	Hのところ、波及的影響の話をしていてですね、両者とも共通した概念による設計でございますので、
0:46:39	ものが違うけどはい。共通した
0:46:44	設計の考え方ということにはなるかと思えます。
0:46:48	はい、細田です。こういうのも関連性を整理するのが大事だと思うので、先ほどのやりとりで関連性を整理することによってされてたと思えますから、その内数としてまとめといていただければ、
0:47:02	それを一体として見ていて差分は何っていう話をしていけるんじゃないかなというふうに思います。よろしくお願ひします。
0:47:10	はい。荻野イシグロです。かしこまりました。
0:47:15	他、規制庁側から。
0:47:18	はい。規制庁浜崎です。ちょっと前回指摘した点について、今回修正されてますんで、その認識の確認をしたいと思ひます。さっき
0:47:29	的建屋の話もあったんですけどそれも関係するんですけども、今ですね添付資料34番のところですね。
0:47:36	この5番の特に私各社の支持学校のところですね基本設計方針ですと、Bポチのところ、知事がコウについては防護盤を支持できる強度を有する清潔とすると。
0:47:51	というのが基本設計方針で、具体的に一番右の列のところに行って支持架構の説明があるのは、個別設計の上のところですかね。
0:48:02	支持架構は云々というところですね強度確保すると、応じて今回追記されてるのが、
0:48:12	転倒や倒壊等は波及的影響を与えないように、こっからなんですけども会、改定されているのが、
0:48:22	骨組み構造を採用するとともに、C学校をを構成する部材が十分厚みお湯を有する設計にするということが今回書かれてます。ちょっとここで確認したいんですけども、これ前も話で出たと思うんですけど例えば、
0:48:39	ABC間を跨るような建屋かをまとめるような、竜巻防護設備の場合ですね、その支持架構同士がぶつかるような現象について、
0:48:51	この記載で十分かということでイセし、確認さしてもらったんですけども、

0:48:59	結果的に、知事加工というのとはにかく防護盤自体を、を指示するというのは、設計方針ということなんですけども、そういう部分、そうすると、
0:49:10	そのタテナカもたまるような指示額を同士の衝突っていうものはあっても、これはそ、設計上は想定外であると。
0:49:20	ただ銅版自体はきちんと指示しますという、いう、そういう設計方針なのか、或いはや支持額を同士がぶつかることはこれは設計上考慮しませんでしたという、
0:49:30	設計方針なのか、その点をちょっと説明してもらいたいんですけども。
0:49:36	はい。日本原電の下野でございます。どうぞ。すみません前回
0:49:42	立山田丸という建屋の間の
0:49:47	例えば上にある、竜巻防護対策設備が建設してる時に両者はぶつかるといったような話もさせていただいたのは認識しております。すみません。そこについて衛藤。
0:49:59	対応してなかったというつもりではなくて、ちょっと今のままだと、言葉足らずだとは認識しつつちょっと、
0:50:11	こちらの認識だけお伝えしますと、同じ 34 ページのポツで一番下のところに、
0:50:18	竜巻以外の自然現象とか人為現象っていう、よったようなところがあって、これはおっしゃっていただいたような、その建物、隣の建物 2 乗かかっている竜巻防護対策設備同士が、
0:50:30	当たる当たらないっていうような話っていうのは、この 6 条の地震の、
0:50:38	ところから、
0:50:41	経緯っていうのが出てきて、そこから受けるような形になるのかなということで、こちらのポツのところに、
0:50:52	入れるべき内容になるのかなというふうにちょっと思った次第です。ここについては、他の
0:51:00	時は津波以外の自然現象といったところまでは、これ空き施設にポツのところで表現するものかなと思いました。ただちょっと、そこに何も書けてないんで、
0:51:11	ちょっとそここれこれがいいということではないんですが、整理としてはそうなるのではないかという、理解しております。
0:51:18	はい、伊勢浜崎です例えば地震のような竹森以外の話は、今のように進めてもらえばいいんですけど、例えば今、34 番のところ、ところで飛来物に対しては、
0:51:33	節ヒダカコウ同士がぶつかるような現象っていうのは想定されてるんですかされてないんですか。
0:51:47	4 月頃でございます。

0:51:52	評価しているかしてないかっていうと、変化しているものだと理解しているんですが、現状地震による揺れでもですね、当たらないような離隔距離を確保するように、
0:52:03	設計するようになっていますので、そこにはほっぼらかされるものかなという認識をしておりますただ
0:52:14	学校、学校部なりですね、松崎防犯に飛来物が衝突して、
0:52:19	この変形量っていうのが、隙間タツザワ建屋同士の隙間とか、その学校動が来た樁がコウ同士の隙間との比較という行為そのものは、
0:52:31	今はしていないというのが実態です。
0:52:35	はい、井関浜崎です。
0:52:38	ちょっとまず、地震に関して本当に衝突しられるかどうかというのは今後計算結果が出るということで、確認させてもらうということと、飛来物に対してもどうですかということで、
0:52:48	要は基本設計方針としては防護盤さえ落下とかですね損傷しなければいいわけなんで、ぶつかって悪いというわけではないですし、ただぶつかった影響によって防護盤も支持性能が薄く失われるようだったら、それは、
0:53:06	まずいわけなんで、そこら辺の評価がきちんとこう分けされてされてる、されているのかなというところで、ちょっと確認させていただきました。今後、ちょっと今のこの
0:53:23	表現ですと、そこまで読めないんですけども、
0:53:32	もう少しイマセコサクです。
0:53:36	今のそのインプットとなる荷重を仕分けをして書きますというのは理解はできるんですけど、
0:53:44	今、ハバサキの方からいうなっていたのはおそらくそれを踏まえて評価をする。
0:53:53	形を限界というかですね、
0:53:57	発生するものっていうのは変わらないんじゃないのかなと。
0:54:02	すると、
0:54:04	この飛ばし先の6両なり、
0:54:07	のところで、じゃあどう書いてますかっていうのと違ってるとおかしくないですかということだと思えます。
0:54:16	で、耐震の方は相対変位とかを明示的に扱っているルールなので明確になっていくんですけど、こっちは明確にしなくていいのかとかかっていうので、
0:54:26	記載ぶりを整合を図るとかっていう作業が必要かなと思えますけど、現状だとまだできてないような気がしますがいかがでしょうか。

0:54:59	日本原燃石黒でございます。
0:55:02	ちょっと20秒ほどお時間ください。すいません。ちょっとすごい
0:55:07	発言します。
0:55:27	介護資料。
0:56:02	アップダウンしてない。
0:56:11	はい。日本原電の石井でございます。すいませんちょっとして申し訳ございません。まず、江藤金の方の6条。
0:56:22	相対変位とかの記載とは当然でございますので、北井の頭を合わせるといふことに関しましては、対応をとらせていただきたいというふうに思っております。そのアウトプットとして、
0:56:37	当たらないといったところ、こちらにつきましては、耐震側での波及的影響の中で見ているもの。
0:56:47	なりますので、こちらでは表現させていただいた上で、最終的には添付資料の扱いとは、従来と変わらないのかなというふうに思いますので、
0:56:58	そこのリンクを意識した記載にさせていただきたいというふうに考えます。以上です。
0:57:05	ちょっとコサクです。念のため申し上げますが先ほどの話は、地震で相対変位でぶつからないかっていうのは、六条でいいけれども、
0:57:15	それ以外の荷重でその視点はなくていいのかということであって、
0:57:20	なくもないでしょってことだと思う。
0:57:24	ての話なんですけど。
0:57:26	そう、それを入れルーにはですね、具体的に計算をしなきゃいけないというわけでもなくて、
0:57:34	こうこうだから、それを達成してますっていうことではあればそれでいいんで、
0:57:41	どの添付書類のどの面でカバーするかというのは状況に応じて整理をいただければいいと。
0:57:49	ということだと思います。また加えてですね、その状況からず。
0:57:55	どの断面で、どういう共通な方針として書いてどこで、具体的に分岐させていくかと、というようなことも、整理をいただいたらいいんだと思うので、
0:58:06	この資料のこの部分の断面ではまだこの表現で、そういうことも含めて包含していったまうというのも会議の一つではあると思います。
0:58:16	いずれにしても並べてみてですね、同レベルの表現になった後、どう、
0:58:22	レベルの段階において同様の記載になってるか。
0:58:26	いうことを確認させていただければと思います。よろしく願います
0:58:32	日本原燃肥後でございます。承知いたしました。

0:58:36	はい。空き地ヤマザキですちょっとありがとうございます結局にまとめていただいたんで、対応の方、事務所の実態をお願いします。それですねちょっとまだ
0:58:47	2点ほどあって同じ34番の先ほどのところでもいいんですけども
0:58:53	新学校のところですね私学を構成する部材が十分な厚みを有する設計ってあるんですねこれさっきの鉄筋コンクリート製のところもあったんですけども、
0:59:02	これ別に間違えじゃないとは思いますが、十分な例えば断面性能を有する設計とかですね、ちょっと遊びっていうのが、
0:59:12	何か素人っぽいやうに思うんですけどこれ、
0:59:16	構造をご存知の方が書かれてるんですか。
0:59:34	規制庁浜崎です。
0:59:35	すいません。衛藤イシグロ、日本原燃肥後でございます。渥美喜納コウ断面性能という理解でいいですよこれ。
0:59:43	野上さん。はい。断面性能と、あと交通クボCの観点を両方合わせて、ちょっと渥美という表現でマルし、
0:59:53	組織してしまったので、ちょっとはい。確かに素人に見えないのはおっしゃる通りなので、変に丸めずにそこはちょっと両方書くようなことに、
1:00:07	院長。はい、わかりました規制庁真崎です記載だけの話なんで趣旨は、わかるんですけどもはい、わかりました。それともう1点、次の35番の、
1:00:19	防護ネットのところなんですけども、これ基本設計方針には、fポチに支持架構の話書いてあるんですけども、一番右の列のところこれ支持架構の記載がない。
1:00:31	ですよ。
1:00:33	これはあれですか防護ネットに関してはさっき言ったように、この分割された支持架構で構成するような設備がないから、ここには支持架構の話、記載が、
1:00:46	あえて削除しましたっていう、書きませんでしたっていう、そういう趣旨ですか。
1:00:53	日本原燃の石黒でございます。すいませんこれ、先ほど荒井さんからご質問いただいたことと関係しているので、ちょっとこちらの記載が、
1:01:03	小さくなったことによるものと反省しております。
1:01:08	こちらの34番、岩坪坂の方に書いているのは、ちょっと上の方見ていただくと、竜巻防護対策設備の共通設計って上から、
1:01:19	7行目ぐらいに、

1:01:23	企画課んって書いてあるのがあって、この共通設計と言っているのは、34番35番の共通設計のことを指していて、
1:01:33	30、
1:01:35	5番には、この共通設計と書いてあるものは、すべからくちょっと、
1:01:40	機会を省略させていただいて、
1:01:43	代わりに、35番の上から、
1:01:47	8行目ぐらい、9行目からに基本設計方針No. 34と同じというような記載にしてですね、ちょっと同じちょ記載になると思ったものは、ちょっと重複を避けるために、
1:02:00	このような記載をさせていただいたんですが、もう少し表現が本当に15—違わないのかっていったところも含めて吟味した上で、改めてちょっとこの辺の表現は直させていただくということで、先ほど、はい。宿題いただいたものというふうに理解しております。以上です。
1:02:16	規制庁浜崎です。趣旨は理解しましたので、はい。対応の方、よろしくお願いします。私からは以上になります。
1:02:24	はい。規制庁の荒井です。ありがとうございました他、
1:02:27	竜巻に関して、
1:02:30	ありますでしょうか。
1:02:35	では次の項目に進んでいただければと思います。
1:02:42	次は竜巻以外の事情だと思しますので、ポイントだけ説明をお願い、原燃から説明をお願いします。
1:02:51	はい、ユキニシウラでございますそれでは再生説明グループ1の関連条文括弧たちまち以外書いてある資料でございます。はい。前回のやりとりを踏まえ、修正はしております。
1:03:06	が、
1:03:07	今のごとくですが、まだちょっと説明が十分整理できてない部分があるのを、
1:03:15	ところは幾つかあります。
1:03:18	多分これ私が以前から言って
1:03:22	俺の条文の要求で決めてるわけじゃない設計をどう設定項目として展開をしていくかというところがまだうまく
1:03:32	セイリガクが、指示ができてないところで、みんな迷走してるかなと思ってます例えば5ページ外部火災でいくと5ページなんか2、
1:03:41	先ほど、考慮して、コンクリート外壁のコンクリートの温度が、共用の超えないような離隔距離を確保するというをしておりますけど、その中で、
1:03:54	建物構築物とかで構造設計外部火災防護対象施設を収納する建屋の外壁やコンクリートスズキ設計、

1:04:02	書いてますが、基本は鉄筋コンクリート造の建屋だということを前提に、これすべての設計基本設計方針が展開されていてだからコンクリートの、
1:04:12	温度を許容限界にしているというところもあるので、こういうのを
1:04:17	義務の設計情報として整理をしていくということを、がどう変えていくかと。
1:04:22	ということかなとそういうところの整理がちょっとまだぼぼついてないと思ってますので、オクアノ供給中にも当然これもはね返ってきますんで、そういう所と書き方なり整理の仕方ですかね。
1:04:34	ていうのを、急ぎ指示をしたいと思いますはい。全般的にそういうところがまだやりきれてないと思ってます。はい。
1:04:44	外部火災一方、前回やり処理をした部分を反映してます。
1:04:51	が、ですね特に直したところというとまだ
1:04:58	先ほどの、
1:05:00	竜巻と同じような関係で、設計情報として何が必要かというところも踏まえて整理をしています。
1:05:06	はい。同じようにすいませんできてないところを先に言ってしまったら恐縮なんですけど、
1:05:12	右下 11 ページ外貨 36、これも
1:05:16	エミ
1:05:17	現物所蔵施設の愛知の話だけしてますが、
1:05:22	建屋の関係の配置だけ言ってますが危険物貯蔵施設自体に入ってる、Aにし、何て言う危険物自体の性状だとか、容量だとかそういったことが多分、
1:05:34	5 条設計としていないと、全体の設計が成立しないということでそういった情報も付加しないといけないと思ってます。
1:05:42	はい。
1:05:45	あとは、特段特出すべきは、あとは落雷のところ、以前、話題になってました。
1:05:56	で、
1:05:58	何ページ、落雷、
1:06:02	A1、
1:06:04	37 ページからが落雷ですが、特には 39 ページでしたね。
1:06:12	今までJACとかですとか、建築基準法とかそれぞれ書いた上で、何々等を実施設計すると書いてたところを、
1:06:23	それぞれの要求事項で展開される物をですね具体的に、

1:06:28	例えば弱だったり建築基準法だったりという後に、何がこれに引っかかる関係施設への設定されるものかということを変えていったということ書き下していったところが前回から特に、
1:06:42	修正をしたポイントになります。
1:06:45	はい。
1:06:48	あとはちょっと戻って恐縮ですけどこれは第1回でやっていたことをそのまま、
1:06:55	反映した形ですけども、
1:06:59	下欄ですかね、25 ページ、フードを取りつけるというだけではなくて、
1:07:05	例えばですけど、建物構築物にある外気をし、下方向から吸い込む構造。
1:07:12	これによって侵入しがたい降下火砕物が侵入しがたい構造にしますよと、いうことの具体的な設計を展開をしたというようなところをアノ分、
1:07:22	展開をしていって、修正をしているということでございます。はい。
1:07:27	私はちょっと修正しないといけない決めていかないといけないところありますが全体的に、先ほどの竜巻と同様な拝受事項をしながら、修正をした。
1:07:37	ということでございました。はい。説明は以上です。
1:07:41	千田オオオカです。ではこちらの資料、順番に確認させていただきます。今尾氏、おっしゃっていただいた通り後、先ほどの竜巻で議論されたような話、例えばリンクづけとか、
1:07:53	そういったところを竜巻の変更とあわせて、こちらを変更していただければと思います。
1:07:59	1 ページ目に、背景情報を少し追加していただいて、2 ポツ目のところで各条これなんで、ここに掲げたものを全部、
1:08:09	展開しなくていいのかっていうところの、
1:08:12	理由を書いていた。いた。
1:08:14	ところまたというところなんです、DBとそれぞれで条文要件、要求があるから、わかんなくていいっていうのは、DBとSAの紐づけていう目標、目的から考えると、
1:08:28	納得がいくんですが、10 条と 19 条はこれ理由が書いてなくてですね、打ち込めと貯蔵ってこれ、冷却機能への悪影響防止。
1:08:39	説明しようとしているってまずそういう理解でよろしいですよ。
1:08:43	はい、日本インダでございましてはい。おっしゃっていただいている通りです。
1:08:47	やはり、規制庁からそれ結局、SAとの関係整理の対象外っていう扱いを具体的にどういうふうに、



1:08:57	ととらえて書かれたのかとかその辺を少し教えていただけますか。
1:09:11	はい。弓削ニシウラでございます。はい。基本今
1:09:16	十条 19 条が生徒の取り合いでも、個人的には、
1:09:21	池田SA設備が本当に 10 条 19 条に影響ないかってのを、
1:09:26	見ないとねって。
1:09:28	それじゃ、悪影響って意味では見ないといけないから本当に関係ないの かって言われると、
1:09:34	そうは綺麗ならば、
1:09:36	両方、
1:09:38	対象にそのマナベ品分は、いや、だから、リンクづけをしなくていいって のは影響がないってことを確認しなくていいってポイントが押さ えられてるかっていうと、
1:09:50	単純に条文だけを並べて関係ないですっていうには辛いねっていうところ だと思うので言われてるのは、はい。
1:09:57	日本原燃社でございますちょっと条文並べてみて少なくともSAとの関係 でSA側からの悪影響みたいなものを見るポイントがあるのかないのか かっていう整理は、
1:10:09	ないといけないと思いますんでそこを整理をしていくということを対象に していければと思いますはい。はい、鶴岡です。悪影響防止という意味 では
1:10:19	i障害は言い過ぎなのでそういうその理由をしっかりと、もしここで書くん であれば、どういう処理をするから、
1:10:27	十条と 19 条は、この資料には入ってこないっていうその位置付けを、や はり理由を少し明確にしてくださいと。
1:10:36	お弁当でした。あと、36 条は触れてなくて、わかるんですけど、それもち ゃんと理由を書いてくださいということですがいかがですか。
1:10:48	はい。二瓶志田でございますはい。ちょっと単純に聞いてしまいましたが、 36 条は、36 条としてSAとの整理も含めてやっているの、そういう 意味で、ここの対象にはしてなかったということでございます。はい。
1:11:00	はい、規制庁河津 アノ後で、この説明見た時に今言ったようななぜ が、
1:11:06	この内容にちゃんと理由を書いていただければと思いますんで、よろしく お願いします。あとちょっと外部火災の方、その前にまずこの辺の体系 の話。
1:11:16	規制庁側から確認等ありますでしょうか。
1:11:21	ハイケアと本文。
1:11:22	的なところ。

1:11:23	特にならなければ、外部火災の話。
1:11:26	に入らせていただきます。で、先ほどおっしゃっていただいた通りやっぱちょっとまだ設計配慮の展開とかあと、第1回で説明してきた内容を踏まえて、
1:11:38	この第2回の共通12の市体系の中で、どういうふうに説明していくのかっていうところのイメージが、
1:11:47	少しまだちょっと、先ほどおっしゃっていただいた、コンクリートの構造設計で書けばそれで良いって言うと、それは全部コンクリートを書かなきゃいけないけど、完全に自分の
1:11:57	設計条件ですので、構造設計なのかっていうところとか、その辺をもう少しちょっと吟味いただければと思いました。まずは、初めにおっしゃっていただいたのでその辺、よろしくお願いします。
1:12:10	はい。日本インダでございます承知いたしました。儘田。そうですね。自分の情報、竜巻で書いていた何々の設計情報と言って利分の情報っていうのの書き方が
1:12:22	ちゃんと整理する何が義務なのかを明確にする、それによって、それと他の設計項目の組み合わせでちゃんと設計が成立して各評価との繋がりもあると。
1:12:33	いう形がやらないといけないことだと思ってますので、はい。整理を進めます。はい。規制庁甲斐です。よろしくお願いします。あとちょっと幾つか対応されたところを中心に確認したいんですが、
1:12:45	6ページ目で、
1:12:47	ここの屋外の機器配管のナンバー18にある構造設計の部分。
1:12:53	ここちょっと走り過ぎたために、言葉がわかりづらくなってるのかなと。
1:12:59	思うんですが、機器配管は、安全機能を維持するために必要な温度域以下となるような形状とする設計になっているんですが、ここで説明したいのは、
1:13:11	第1回を踏まえると、
1:13:14	冷却材温度ですよね、おそらく強化すること。
1:13:20	はい、そうですね冷却水の温度ですねはい。はい。それ超過です。なので、ちょっと端折り過ぎているところがあって、構造設計で何を示せば冷却水の温度、
1:13:32	が示せるのかっていうことを考えると、
1:13:38	まず、その配管の
1:13:39	温度が主アノす。
1:13:42	中央になると、配管の温度というか、冷却水の温度がとかでも、

1:13:48	もうそれだけだったら、そのぐらい展開していただいてもいいと思いますし、
1:13:52	とにかく何の温度がっていう主語がまずないっていうんで、あと必要な温度域以下って書いてるんですけど、
1:14:00	ババ2以下は、さすがにちょっと、
1:14:02	省略すぎかなと思っていて、隣にある通り
1:14:06	基本設計方針で書かれた通り、ちゃんとその施設の温度が最大。
1:14:11	御礼温度等の、
1:14:13	必要な温度域の上限以下、
1:14:15	というふうに、もう少し絞らずに正確にその辺は表現した方がいいかなと思います。
1:14:26	はい。二本木ニシダでございますはい。
1:14:30	おっしゃっていただいている通りだと思うので日本語をちゃんと読んでわかる日本語にすることと、あと義務の情報が何かというのをおっしゃっていただいたようにコアの守るべきものが何かというのは、
1:14:42	冷却水を必要な運動以下で取り扱う、維持するということが必要な要件になりますので、そういった要件との関係を書き一括、
1:14:52	それを達成するために、達成するっていう上下、許容限界がどこなのかということを書くとすることとそれと、ここで言ってる形状配管表面積がどういう関係にあって、その設計を、
1:15:05	ここで設計情報で出してるのかっていうのがわかるような、日本語にしないと、何を言ってるのか多分さっぱりわからないと通じないのではない整理をします。はい。室長勝間こういう表現がちょっと続くのでここ代表に説明しましたが同じ表現か。
1:15:21	続きますので、そこら辺同じように展開していただければいいと思います。あと6ページ目、建物構築物の18と19のところ、
1:15:31	18の方の評価のところ、施設の温度が、
1:15:36	屋外のっていうふうに、今日6日ってなって、
1:15:40	あと19の方は、外壁表面温度があって、
1:15:44	升が違ったりちょっと表現が違ったりしていて、これ18の方は、建屋以外にもあるからとまずそういうことなんですよね。
1:15:53	はい、日本イシハラでございます。はい。建屋以外にも障害等も含めて安全なものがあるのですということです、そこも含めて正確に書かないといけないと思うので整理をします。はい。はい、規制庁まちまちにコウ。
1:16:07	表現が変わってて、わかるんですけど。

1:16:10	そす、表現を変えるのであればそこはもう少し具体的に書いていかないと資料 2 で、
1:16:17	ベタッと貼った時に、
1:16:19	なんなんこれは何を説明すればいいのかなって、資料 3 のイメージが湧かないような、
1:16:24	ことになるかもしれませんが、そういうところは配慮いただければと思います。
1:16:30	あと、7 ページ目、屋内の 25 番のところに書いてある石油備蓄基地火災のディーゼルの話なんです、
1:16:41	これって、具体的に、
1:16:45	配置設計と評価で、最高温度時を最高使用温度以下になるように評価するってなってるんですが、
1:16:53	そして具体的にどこの部材とか、
1:16:56	ど、
1:16:57	どういう評価になるんですか、ここだけまだ聞いてなかった。
1:17:14	はい、日本イノウエ社でございます。距離を考えるのは、この取り入れ口、要は、ディーゼル発電機が取り込んでる空気が必要以上に上がらないことが多分必要な要件だと思うので、
1:17:26	そこの関係を見ていくというのが評価だと思ってます。実際には
1:17:32	自分よりも、アビルが入ってる部屋よりも温度が高くなったらあんまり意味がないということですかね。はい。
1:17:37	超過です。それでその温度と温度、
1:17:42	に対して、
1:17:45	空気の温度に対して、ここ、評価するってあるんですけど、実際ディーゼル発電機のどこの部材がやられるからこの温度だとかそういうのって、
1:17:55	何かあるんですかっていう質問だったんです。
1:18:00	上西でございます。そこまでは評価の踏み込みはしてません現状こういう取り入れ空気の温度が、
1:18:10	除条件とか設計上考えてる空気の取り入れ運転、こういうことすっていうのがおそらく
1:18:16	室温と同じ温度ぐらいを書いていると思うんですけどそれ以上上がらないっていうことを、見たいというだけです。ここで、これ以上温度が上がると、ディーゼル発電機のこの駆動部がおかしくなりますとか、
1:18:28	例えば、発電機自体が動きませんかそんなところまでいってるわけではないです。はい、規制庁からわかりました。じゃあそういう仕様のところで、もう、
1:18:38	出てくるような話ということですよ。

1:18:41	承知しました。
1:18:43	あと、同じようなコメントが続きますので省略して 15 ページ目。
1:18:49	から、航空機墜落火災の
1:18:54	被覆材なんかの話があって、今回、
1:18:58	結構充実していただいて、何をどういうふうにするかを少し明確にしていたところ、
1:19:05	だったんですが読み進めると、ちょっとまだ、
1:19:09	微妙だになっていうところがあって、例えばですね 44 番の屋外機器配管の
1:19:16	構造設計の一つ目のポツ、
1:19:20	これ手話を 2 厚さと追加されて従来からここアサノことを書いてはいたんですが、途中で、どんな耐火被覆の取材を、
1:19:31	使うかっていう情報を挟んでしまったばかりに、
1:19:33	地、衛藤手術の主語述語の関係が何か、
1:19:38	目、崩れてしまってる。
1:19:41	ですね。
1:19:42	こういうところは分けて、
1:19:44	耐耐久被覆はこういうものを使います。それは仕様表で、
1:19:48	規制されていることで、厚さっていうのはこういうふうを設定しますというふうにこの一つの文の中にたくさん入れ込んでわかりづらくなってる場所っていうのが少しあったので、
1:19:59	わかりますか。意図は、
1:20:09	一応、はい。宮城の石田でございます。はい。ですね、今言われているのは、構造設計の屋外機器配管とこの構造設計の
1:20:21	一つ目のポツ、耐火被覆の厚さは、はいはい。はい。無料を用い、承知しましたはい思う。はい。
1:20:30	一つの文にいろいろ詰めの話と、どれを使うというのを別々にしてはい。整理をする。はい。設計として示す時にそれぞれ別々の項目で、
1:20:42	示せるものわざわざ一つの文章にする必要もないんです。はい。切り分けをします。はい。はい。柘植町オカです。あと 18 ページ目の、
1:20:51	ここは前回コメントもしたところですが 56 番、
1:20:56	屋内機器配管の
1:20:58	イソベオビタルー。
1:21:00	発電機の吸気系の話、ワイヤーネットとか設置するというのが、
1:21:07	お前システム設計で示すんですかというようなことをお伝えしてちょっと検討しますということでしたが、これおそらく一つの機器の中で、完結するような吸気系、

1:21:17	吸排気ですよね。そこまでシステムで示すっていうのは何かやりづらさ、窮屈山を感じたんですが、やはりこういうのもシステム設計で示していくんです。
1:21:30	はい。日本原燃、石田でございます。一応線引きはですね、何て言えばいいんでしょう。
1:21:36	この構造を示してくださいっていう時に、系統図を持ってきて説明するようなもの、共通 09 でもこのディーゼル発電機の系統。
1:21:46	リーダ発電機と言いながら内燃機関だけじゃなくて休憩排気のラインも含めて一連のものを、ディーゼル発電機として説明をしている部分になってまして、
1:21:56	どちらかというところそういうものはシステム設計側に今入れようかなと思ってました。単品の構造で説明するようなものが構造設計側に行くという線引きで、まずはさせていただいたということでございます。
1:22:09	はい、規制庁からわかりましたじゃそういう、もう
1:22:12	何か前回も少し協会とか考えようかなとおっしゃってましたが、やはり説明の観点からもそっちの方がやりやすいということで、送致しました。
1:22:23	外部火災関係を、とりあえず私から以上なんです、オカの方、規制庁側から何かありましたら、20 ページ目まで、
1:22:32	お願いします。
1:22:39	特にないようでしたら次、21 ページ目からの火山の高成長側から確認等お願いします。
1:22:47	規制庁の荒井です。
1:22:49	勘案について 21 ページ目から記載があり、
1:22:54	大分
1:22:56	設計項目として何を書くかっていうところも、
1:23:01	例えば清掃可能な設計とするっていうところについても、資料 2 とか 3 に橋渡しできるように、もう少し具体化されているとかっていうところを確認しました。
1:23:12	それで、前回の面談の面でのヒアリングの中でも、
1:23:18	お伝えしたところだったんですけども、31 ページ目の、
1:23:23	火山の 55 番の、
1:23:25	話で、
1:23:27	この
1:23:28	居住性の話を書いてると思うんですけども、
1:23:32	制御室の居住性の話ですね、これはシステム設計括弧運用という形で、
1:23:38	系統ラインを切り替えるっていうところなんですけども、

1:23:41	ここの居住性の評価っていうのも併せてあったような気がしてて、そこのリンクづけてどうなってるんでしたっけっていうのを確認したんですけど。
1:23:51	今回はここでまた単独で、実はあの居住性は向こうで評価してますとか、制御室側で評価してますとかっていうリンクがあるのかなと思ったんですけど。
1:23:59	この整理ってどうなってますか。
1:24:16	はい、与儀西尾でございます。
1:24:20	まず居住性の評価というよりもここで言ってる55番ですね、これ
1:24:30	再循環運転をしてその再循環を解除するというタイミングの話を言っているところなので、いわゆるこのシステム設計括弧運用の中で、その切り替えるタイミングってのはどういうことかというのをうたっていくのかなと。
1:24:47	居住性の評価というよりも、人が入れる環境にするということがここで、いわゆる居住性としての評価とは若干位置付けは違うのかなというふうには思っていました。はい。
1:24:58	ただ、居住性の評価のアウトプットがないと、切り換えのタイミングとかってわからないと思ったので、その情報として何か言及する必要があるのではないかっていうもん、問題意識なんですけど。
1:25:12	日本インダでございます。ちょっとずれてるかもしれませんがいわゆる労働安全基準法とか労安法とかですね、その下日付内規とかも含めて人間がその場所にいられる。
1:25:26	酸素濃度っていうんですかね、っていうのを条件にしますということぐらいかなと、やるとしても、
1:25:33	そ、そこでその手前ぐらいで切り換え解除する、再循環を解除して外気を取り入れるという、こういうそういう運用にしますよっていうことを、ここではウタウノ思っていました。はい。はい。
1:25:46	ただ、その、
1:25:47	考え方みたいなどころにはここには書いてなかったんで、いずれ展開した時にそういう要素も出てくるんでしょうけど、ここで明示していた方がいいのではないかというコメントなんですけど、
1:25:59	はい。日本原燃正田でございます。はい。承知いたしました。ここのシステム設計括弧運用のところ、居住性を損なわない設計というところ、プラス、
1:26:09	それをどう、いう運用で達成しようとしてるか、ということもこの中で展開をして記載をしていきたいと思っております。はい。
1:26:18	はい。

1:26:19	お願いします。
1:26:21	井川火山は特にはございませんが、
1:26:25	規制庁側から他何かあればお願いいたします。
1:26:43	規制庁の荒井です。
1:26:45	そうしましたら、
1:26:48	1度、この火山ののところについては、これでやりとりは終了したいと思います。じゃ、次の項目でお願いいたします。
1:26:59	次は、航空機なので、
1:27:02	特に、
1:27:03	変えた部分ってのはないと思いますが、
1:27:07	はい、特にございません。はい。成果をいただけ確率の率っていう字を、立つからちゃんと、
1:27:16	ちゃんとプロバビリティの方にしたっていうところを確認するところぐらいかなと思っています。
1:27:28	航空機は36ページ番目までなんですけども、
1:27:35	特にございますか規制庁側から。
1:27:43	はい。続いて落雷の方をお願いいたします。
1:27:48	規制庁岡です。37ページ目からの落雷のところ、またこちら結構いろいろ変えていただいて、資料2としての資料3をイメージした記載が結構、
1:28:01	充実したところとか、あと先ほど説明いただいたような
1:28:05	尺とかですね、建築基準法とかをしっかりと、どの部分を説明しますという、
1:28:12	いろんな展開をしていただいて、大分イメージは、おそらく沿ってきたんだらうと思う。
1:28:17	います。
1:28:19	ちょっと、39ページ目で展開いただいた11番の、
1:28:25	建物構築物、例えばの話、ここの例えばの話なんですけど、
1:28:32	ですね、一番下のポツなのか2。
1:28:38	実数に準拠したヒライ設備が、
1:28:42	新止め値上げ動態または都心及び値上げ導体と引下動線というふうにイセ。
1:28:48	書いてあって、ここってどん。
1:28:51	また及び結構繋がっててどういうこう、
1:28:55	分岐というか、結局何を、
1:28:58	設置することが、



1:29:00	求められているのかというようなところ、こういうところが結構多いんですけど。
1:29:05	これって例えばなんですか。
1:29:15	はい人間一緒でございますはいちょっとここも、
1:29:19	あれか、丁寧に書かないといいですね。多賀の前は、それぞれそれぞれ要求されているものでそれはそれぞれで達成する場合と組み合わせで達成する場合がありますよと。
1:29:32	いうことがもともと言いたかったことでした。
1:29:35	はい、規制庁からまたあと及びの関係から言うとそうなんだろうなとは思いつつ、少しこの
1:29:43	表現、記載ぶりが結構わかんないところがこういう観点で多いので、そこは見直していただいた方がいいと思います。
1:29:52	便または及びってくるとすごいわかりづらくなるというのはもう、
1:29:59	よくある話ですので、
1:30:01	あの組み合わせは何なのかっていうところとかを少し明確化するための工夫っていうのをお願いします。
1:30:10	はい、イノウエイシダでございますはい。採用しないといけないパターンがそれぞれある場合はそのパターンのそれぞれの塊がわかるように、はい。ちょっと記載を工夫していきたいと思いますはい。
1:30:23	はい、辻岡です。あと 40 ページ目のNo.14 のところ、
1:30:28	ここ、
1:30:29	は、
1:30:30	注釈をして、いろいろ書いてあって前回の
1:30:38	この部分で、
1:30:42	評価で示すようなことはないですかというふうに、
1:30:46	MOXの買った 0 サノ 0 に出しましたが、
1:30:50	その辺の整理って、今回どうなってますでしょうか。
1:31:06	はい。海野記者でございます。ここで書いてるような 270 キロアンペア受けた時の、何ていうんでしょう。飛来物シライ心とかに対する影響後それによって機械、機器、旧じゃないですが、
1:31:23	波及影響が起こらないということ、といったことについては個別補足では展開しようと、いうふうに思ってたんですが設計としてどこまで担保するかっていうことと評価を書くかというところは、
1:31:36	そうですね今ドイオカイトウなってるので、もうちょっとすいません考えさせてください。はい。はい。成長ガラスMOXの時の整理が、田澤に入らないから、こういうところを少し担保していきますということで説明を受けていって、

1:31:51	実際今回火山加算に対する設計担当が0でいうと、全体を通じてないので、その火災における設計担保を同じになるのかもしれないですけど、
1:32:02	そこは再処理側としてしっかり書いていただきたいという意図ですので、この部分だけ、この部分に書いてくださいじゃないかもしれませんが、そこは整理のほどよろしく願います。
1:32:14	はい。与儀ニシダでございますはい。今、私の認識、矢田オカさんのご指摘、決定認識したのは、おっしゃっていただいた油井MOXは支配して折笠に入らないので、270kアンペアが落ちるということを前提に設計を考えます。
1:32:31	それに対してじゃ、あといろんなものを引っ張り出した時に150キロペアみたいな設計になってくんでそれを越えた領域に対しても確かにその避雷設備が機能しますと、
1:32:41	いうことを、説明をしました。一方、最初ニワというとかさに入りますんですけど、270を受けるのショウガンイトウですと、そこに繋がってる設備がちゃんと270キロ、パイプラインに耐えられるんだと、いうことを、再処理として見れば、
1:32:58	MOXの展開と同じように考えれば説明しないといけない範囲だと、いうふうに認識をしますそれでいいです。はい、規制庁笠野ソウノイトウです。はい、ありがとうございます。はい。ちょっと整理をします。はい。
1:33:10	はい。そういう情報です。あと10ナンバー1641ページ目。
1:33:15	ここは、
1:33:17	前回の直撃ラインが具体的な設計展開として、例えば主排気塔の直撃に対する
1:33:25	本を少し設計展開してるんですが、間接ライン側で収益等が例えば設置局に設置するとか、そういった設置設計ですね。
1:33:33	ここ、結局具体的には何もこう展開されなかったんですが、その意図を教えてくださいいただけますか。
1:34:02	はい。日本原燃者でございますはい。すいませんここもすみませんね、私がかまくケアできてなかったですちょっと作ってる側、設置局の上と下でし、
1:34:14	直撃代と間接外の設計の範囲を分けてしまったみたいなので、私の認識も全体多分かぶってる範囲が当然あるはずで、
1:34:24	そのかぶってる範囲に対しては関節がいくらでも設計を止めなきゃいけないんだと、いうことからすると、この16番も何らかの展開をしていかないといけないというふうに認識をしますので、整理をさせてください。はい。

1:34:37	はい。それ超過ですよろしく申し上げます。あと、
1:34:41	次のページ、42 ページ。
1:34:44	この辺でも前回評価で示すものありますよねって言って、ナンバー18 番の 3kV以下佐治で初
1:34:54	他の。
1:34:56	阿藤。
1:34:59	どれでしたっけ。
1:35:03	その前、41 ページ目のNo.17 度、鳥栖 3 を 6 日、これも評価を示す必要ありますよねと言って、トラブルの報告書とかでは評価されてたので、そういうのを、
1:35:16	使って説明できるんじゃないですかという、今申しましたが、この辺はどういう扱いになるんですか。
1:35:23	はい。稲毛ニシダでございます実際おっしゃった鵜飼お話通り法令報告も含めた報告の中で、評価なり計算なりをして、3kVだったり 3 フォームだったり、議論はしてますそれ自体が評価かという、現状はこの設計の
1:35:43	根拠として、個別を整理をする範囲かなということで今整理しましたが、多分、
1:35:52	今MOXでやってる評価って何っていう整理も含めると、微妙なラインな気がするので、もう一度考えますがはい。
1:36:01	はい。規制庁岡です。わかりました。MOXではこれは評価に、
1:36:07	なるだろうなど。今のネットボックスの共通中に入れれば、
1:36:12	評価になるだろうなどと思って聞いた次第だったので、少し考えていただければと思います。
1:36:20	落雷関係私からは以上なんですけど他、政調側から確認等ありますでしょうか。
1:36:30	オクによろしければ付議その他、44 ページ目から、その他なんですけど引き続き私から少し確認させていただきます。まず 45 ページ目。
1:36:43	ナンバー6 のところ、
1:36:46	ここ、ちょっと前回、聞き漏らしてしまったんですが、No.6 は、自然現象人為事象の組み合わせを要求していて、
1:36:59	一番初めの冒頭制限でありのところってこれ自然現象しかもしかして考えてないんじゃないかなと思ったんですが、ここってどういう整理で、
1:37:09	なったのかっていうのを教えていただけます。
1:37:16	はい。ヤギのイシハラでございます。それは今言われてるのはこの基本設計方針の中身を入れてます。いえ、規制庁笠野がいた 0 が板野ナンバー6。

1:37:27	ウワ、基本設計方針の方は、1行目、(3)の水向けを1行目に、自然現象及び人為事象の組み合わせについてはという主語があって、人為事象もアノ含むような要求をここでは立てて、
1:37:43	で、一方で、その次の展開して冒頭制限であり具体の設計は6条と、
1:37:51	8条の各事象でその括弧の中が、自然現象だけで例えば航空機落下みたいなものがなかったり、
1:38:01	もしかして自然現象しかここを考えて、
1:38:04	考えなくていいと。
1:38:06	なってそのあとの展開がなってないかなと思った次第なんですけど、
1:38:13	いかがです。
1:38:14	日本イシダでございますケツクはすいません今私がもともと考えていたのは、組み合わせとしての基本設計方針がある文章の何々及び何々と組み合わせるもののパターン。
1:38:27	に登場する人だけが飛ばされる人だと、いうことで、多分非線引きはしてるんですけど、そうすると、いない人が右側にいるような気もしていて、そこも含めて整理が要るかなと思ったところでした。
1:38:41	はい、規制庁がそのパターンもあるかなと思って、実際に基本設計方針の中で展開しているところなので、その結果イシタ結果がこちらに反映されるっていうのも、
1:38:52	はい。合わないなと思ったので、はい。アシダでした。はい。そこ、そういうところを合わせていただければと思います。
1:39:01	あとは、
1:39:05	48ページ目、安重建屋の話前回結構いろいろやって
1:39:13	78とかNo.19の辺りを消すと高温は建屋側もちゃんと要求ありますし、収納するものに対しても、
1:39:22	本建屋で、
1:39:25	というな、例えばどうだから収納して大丈夫ですということは必要ですという議論の結果、今回追加されたんですがちょっと凍結側、
1:39:35	も大きかったが、
1:39:37	鉄筋コンクリート造とする設計だから、
1:39:42	嘔気Ⅱに対して大丈夫ですっていうような書き方になっていて、
1:39:50	即決で鉄筋コンクリート製が崩れることはないと思うんですが、凍結で、屋内の
1:39:57	安全施設を、
1:39:59	凍らせないように守んなきゃいけないっていう要求に対しては、

1:40:04	鉄筋コンクリート製って熱伝導率ものすごくいいですよ、中子これだけだとちょっと説明にならないのかなと思ったんですが、そ、そういう観点ではどうでしょう。
1:40:22	はい、米屋でございます。はい。おっしゃっていただくことを考えるとおっしゃっていただいているように
1:40:29	これだけで凍結に対してカバーできるというよりは、左側に屋内機器は以下のところにある。
1:40:36	いわゆる換気設備ですね、こういうのがいると。
1:40:42	いうことの組み合わせかなというのも思いますのでそういうところをどう表していくかなと思いますはい。はい、規制庁からまずは換気設備を、
1:40:52	あるから大丈夫っていうことが、この辺の担保事項というか、担保というかその説明内容だと思っております。で、あとは、この建屋ってそもそも断熱材あってるんですよ。
1:41:09	はい。はい。宮城ニシダでございます。はい。普通にあるはずですよ。はい。あるじゃない。規制庁からそういうことが書かれるのかなと思っていましたが、
1:41:20	その辺事実関係を確認した上で、断熱材があれば、まずは、
1:41:24	そういう熱伝導率に対する本というところでは、非常に有効に働くと思いますので、
1:41:31	事実関係を確認した上で適切に記載のほどよろしくお願いします。
1:41:36	ギリシャでございます商機いたしました。
1:41:39	はい。それ超過です。あと体制を確保するためっていう表現が結構怒られるから、散らばってるんですが、言いたいことはわかるんですが、もうちょっと具体的になっておそらく、
1:41:53	なるような話だと思いますので、何、何の体制っていうところは、そういう観点では具体的に書く必要があるのかなと思いますが、いかがですか。
1:42:11	はい、上下ニシダでございます。はい。そうですね。
1:42:15	体制を確保するため、うん。
1:42:18	バーン愛知県、
1:42:20	内部では、49 ページとかの読書、降水とかの中で塗装しますモンマ、
1:42:29	ふうに考えるとまた山とかのところでも塗装出てきますけど、どういうことをしなきゃいけないかっていうその材料とかですねそういうのも多分見えてくるので、
1:42:39	そういうことを書かないといけないって意味でいくと、さっきの体制も似たような話かなと思いますはい。

1:42:45	規制庁わかる後苦しいのはよくわかってはいいところでしたか。
1:42:49	もうちょっとか。
1:42:50	書いた方がいいと思いますので、具体的についていうところは、よろしくお願ひします。
1:42:56	補足です。今の 72、
1:43:01	なんのでしたかね、っていうのはそもそも基本設計方針だと、要求される機能を維持すると言っているわけで、
1:43:11	機能って何っていうような話だったりもするんですけど、
1:43:15	あれですかねこまとめて書いてるからそこが書きづらいついていうことなんですかね。
1:43:24	はい。弓削ニシダでございますそうですね結局、書きづらくなつてるところは、先ほど話ですけど屋内機器配管と建物構築物の、
1:43:35	いろんなパーツをセットにして、初めてその安全機能を損なわない設計ということを達成している場合にはどこからどこの線引きまでが建物として守らなきゃいけない。
1:43:48	境界なのかと。それに対して、体制って何っていうところを、多分展開しないといけないのかなとは思つてますが、ちょっと考えたいと思ひますはい。
1:44:00	はい、わかりました。
1:44:02	はい、規制庁課です。で、あと、今回、
1:44:06	50、
1:44:10	50 ページ目の、
1:44:12	ナンバー25 のオカがEのところ、ここ、前回は聞いて、
1:44:18	給電開閉設備、
1:44:20	これ、どういう仕組みで洗浄するんですかとか聞いたところだったんですが、
1:44:26	そのあとにこれシステム設計なんですかっていうような議論もちょっとあったと思うんですがこれってシステム設計なんですかよ。
1:44:35	50 ページ目のNo.25 のオクなり、
1:44:39	どういうことを表現しようとしていますかシステム設計
1:44:51	はい、弓削西浦でございます。それは、スプリンクラーみたいのがついてて水はくつていうのがシステム設計かつてところですね。はい。そういう系統がありますつていう。
1:45:02	説明になると思ひますけど、
1:45:05	単純に、

1:45:07	第1のところは水がかかけられますっていうだけだったら、構造でもいけるかな。はい。ちょっと何を示すか、多分そういうシステムがありますっていうのを示そうと思ってシステム設計に。
1:45:19	聞いてはいますけど、出すものとの関係を含めて、もう少し考えたいと思いますはい。
1:45:25	はい、規制庁オカです。はい。わかりました具体的に何をシステム設計で示すって書いてくれてたらまだちょっと、
1:45:33	わかるのかもしれませんが、やりやすいようにというかなじみづらいものを無理やりルールに押しはめてやるよりは、説明しやすいところで説明していただければと。
1:45:45	思いましたのでその辺は、
1:45:48	検討のほどよろしくお願いします。
1:45:50	細田です。はいどうぞ。今野。
1:45:53	どこまでやるつもりなのかにもよるんですけど、言われるところからするとシステム設計としてその線上なりなんりのシステムを説明いただけるということだとすると、
1:46:04	それはそれであってもいいんですけど、構造設計も入れといてねっていうことかなと思います。実際に戦場とアノ、
1:46:12	ものとしてどうなのっていう、いうことが見れたらいいと思うんで、
1:46:17	洗浄設備はあると言いながらも、
1:46:20	具体的にどういう洗浄になるのかが、
1:46:24	構造でわからないとっていうところだと思いますんで、
1:46:28	入れておいていただけたらいいかなと思います。以上です。
1:46:32	はい。日本原燃石田でございます承知いたしました。
1:46:36	はい。成長化です。その他に関しては私からは、今ところ異常なんですけど他、規制庁側から、
1:46:44	その他、
1:46:45	について分かありますでしょうか。
1:46:48	規制庁の荒井ですけど、先ほどは議論のあった凍結の18番のところ で、
1:46:55	屋外機のところろうで、
1:46:59	不凍液を使うっていうのは安全で冷却水系には書いてあり、
1:47:04	構造設計の2ポツのところ、
1:47:09	凍結防止措置として保温材及びヒータを設置する設計っていうことを書いてるんですけど。
1:47:16	本剤が引いたって、
1:47:18	必要なものなんでしたっけ。

1:47:23	最後の評価のマイナス 15 度っていうことに対して、
1:47:28	はい、野木西原でございます。ちょっとここもどう書くか、アノ等の全部の出し方なんですけど安全冷却水系すべてが太い気を使ってるわけじゃないので、
1:47:39	布団を使ってない部分のところについてはこの一番下の構造設計の一番下の部分が対象になるということで考えてました。
1:47:48	はい。
1:47:49	最後の評価って、何に対してやってるんですかね。
1:47:55	両方ってことなんですかね、ヒーター込みで凍らないっていうことと、太い凍らないと。はい。
1:48:03	ヒーターで一定の運動にできれば、当然、凍結に対してナカノ水は下 1 確保できますし、不凍液の同じように不凍液が許容できる温度との関係で、
1:48:16	凍らないってことですね、水がちょっとすいません。コサクでしたそういう定性的な評価は言わずもがななんですけど、オカ評価って言うてるのって具体的に計算書をつけるとかそういうことじゃないですか。
1:48:33	定性的なのだったら方針dす。
1:48:36	設計見て終わりっていうふうにできるような気がする。
1:48:40	はい。イノウエのイシダでございます。そういう意味でいくと第 1 回ってやったときも、設計の内数ですね、定性的な話でしかなかったの、温度の比較後とやったとしても不凍液の使用との比較。
1:48:53	まで岩体勤務するので、外の外気の温度が何度になったらナカノ流量がどうなりますとかっていう評価までするつもりはなかったのはい。ここの整理はしますはい。
1:49:08	はい。春木さんどうぞ。
1:49:10	成長はないです。はい。
1:49:14	書き過ぎて何を書いているかわかんないっていうところも出てくるかもしれない。こういう、この部分もそうかもしれないので、ちょっとその他の事象も、
1:49:23	そういう意味だと何か小動物の話とかもあり、いろいろ細々してるのに対して結構細かく書いてある部分もあったりするので、ちょっとどこまでどう示すかっていうのは、多分これ、
1:49:35	全体的な話引っかかかなと思うんですけど。
1:49:39	これを今作ってる人と、資料 2 とか 3 を作る人って同じになるんですか。
1:49:46	それとも違う。同じです。同じなんです。そういう意味だと、今やってる議論っていう意図がわかって、ちゃんと展開も、その人にそういうinch。



1:50:00	はい、そう願っております。はい。
1:50:02	ただ何か石原さんしかもう答えていないので、ちょっとあの体制がほぼ心配になってくるんですけど。
1:50:09	はい。
1:50:12	当然、私がしゃべってることはみんなが理解できていることをされてるという認識でございます。はい。なそういうのが伝わらない場合は、それぞれ回答を使って、
1:50:22	展開をしないといけないということかなと思いますけど。はい。はい、わかりました。
1:50:27	その他は以上です。
1:50:28	コサクです。今で言うと、評価の部分ってまだ資料4の議論、この間始まったばかりで、どこまでどう変えていく必要があるかがわかってないから、何となくとりあえず数字があるしっていうことで書きちゃってるのかなっていう気はするんですけど。
1:50:47	議論始まったところですし、そこら辺を皆さんに共有していただいて、
1:50:54	どこまでっていうのを相談していくというところでこういったところの記載をブラッシュアップしてもらえればいいんじゃないかと思います。よろしくお願いします。
1:51:05	はい、日本イシダでございます。はい。ありがとうございますそうですね。この間の資料4の議論で応力みたいな、いや評価をするものと、機能とか性能を評価をして見ていくもの、そういったものに分かれたときそこに本当に入るのかどうかっていうところが、
1:51:20	今回の要求事項との関係で整理ができていけばと思いますので、はい。対応、引き続き対応します。はい。
1:51:35	そうしましたらその他、
1:51:39	全体含めて、何か、
1:51:41	これ確認したいとかあればお願いします。
1:51:47	規制庁岡ですちょっと今体制の話出たんでついでなんですけど、今グループ1、再処理のグループ1を、
1:51:54	共通12-谷とアノ作るにあたって、
1:51:57	まずタツノ聞き部分と、徒歩カーの、
1:52:01	条文は、と別チームになってるんですけど、一緒にチームになってるんですか。
1:52:07	アイホン石原でございます。共通的に見てる許認可業務課は共通ですけどもそれぞれパーツは別のチームになりますはい。
1:52:16	はい、規制庁からSDそのチームってどのぐらいの数が、
1:52:20	あるんですかマッチングぐらいできてるんです。

1:52:22	はい、荻野石原でございます。外部火災、火山、落雷なんかは、第1回の時にやっていたチーム。
1:52:33	がそのまま引き継いでやってますので、それぞれの事象ごとに人がいる感じですね。はい。ただ、ほ
1:52:43	一抹の不安はすいません外部火災の人が0と変わってしまってますね、非常に苦しんでいますはい。はい。清鳥海です。モック数のグループ1でもスターチームで、結構重複とか漏れとかを後でこうマージしたり、
1:53:00	調整する人が、役割が結構重要になってそこにイシハラさんに、
1:53:05	準備していただいて、形になったというところがあってで、今やっぱその場をもっと、特に外部火災はおっしゃる通りちょっとまだ一歩おくれるかなってというような印象を、
1:53:18	持っていて、その辺をフォローしていくステアリングチーム員は、
1:53:25	宇都イシグロさんと石原さん2人が今いる状況です。
1:53:31	はい、与儀西原でございますはい。
1:53:34	この形になっております。竜巻はイシグロにやってもらってますし、それ以外を私が請負っております。はい。はい。鳥海さんそこら辺の体制なんかも含め、MOXで、
1:53:49	あとでいろいろマージ作業なんか発生したところというのを少し初期の段階で、
1:53:54	どこでどっち書くみたいな、どっちの図にこっちの項目入れるとかそういう話をコウ、
1:54:00	早め早めにやっていただくと、そんなに資料が膨大にならずに確認もしやすくなると思いますので、そういうところも注意いただければと思います。
1:54:12	はい、与儀西原でございます。承知いたしました。
1:54:16	はい。以上です。
1:54:19	はい。
1:54:21	その他ございますか。
1:54:25	特になければもう2時間経ちそうだっていうところは、規制庁のですね麻生で2時間たちそうなのでそろそろ休憩を挟もうかと考えて日本原燃確認で本日振り返りとかはどのようなタイミングで行いますか。
1:54:38	ここで一生懸命休憩10分程度はヤマモトは考えているんですか。
1:54:46	はい、与儀西原でございます。
1:54:50	全体最後。
1:54:53	に、

1:54:54	あまり見返りは最後ということで、休憩、休憩はお願いしますはい時間は 10 分ぐらいで、
1:55:06	35 分再開めどで、
1:55:08	よろしくお願いします。
1:55:11	録音を停止いたします。
0:00:00	はい、どうぞお貸しました。
0:00:06	それでは最初の挨拶になった場合には、エッセイの整理のお話ですね。
0:00:11	日本の資料等について、予定と補足等あれば、説明をお願いいたします。
0:00:20	はい、与儀西原でございます。本年度、表の添付 1、添付 2 という構成になってまして、本部の方は前回
0:00:32	この資料の中で整理をする条文等を対象にしていない条文の整理と、前回例えば 1 ページ 32 条とか 33 条つけましたがこれ以上ここで整理してもねということもあったので、
0:00:46	具体的な共通要因の資料 2 の方でありますよと、それぞれDBSA の要求はその条文に書いてあって、業務の要求事項との展開が明確なので、
0:00:57	そこはそちらの方でやりましょうということで、対象から今回外してというのがアオキで書いてます。
0:01:03	あとは、前回いろんなやりとりの中で、例えば森林外部火災が 29 みたいなものがどういう関係で人為事象自然現象の中に関係するのか。
0:01:15	といったようなことをであったり、内部は水産物共用の話等を整理しているかという話前回のやりとりで議論に上ったものを、本文の中で考え方を追加をさせていただいたと。
0:01:30	ということ。
0:01:32	あとは本文の 4 ページのところから、また書きがありますが表の中で※ 1 をつけてるものを、これが表と本文の関係でいくと添付 1 では要求事項た関係で網羅的に、
0:01:46	五名気になりそうなものをピックアップしていくと。
0:01:49	本文にはそのサマリーを書いていくということで、そのマーク体系に整理をし直したということでございます。
0:01:56	そのために、4 ページで括弧Bのところ括弧①とあったりですね次の数字の(2)のところ0203 種あったり、これどういう要求、設計との関係があるかっていうの番号で付番をして整理をしています。この付番が結局生きてくるのは、

0:02:16	別添で具体例として添付1で※の1としたものを抜粋してありますがそれぞれに対してどういう関係性になるかと言うところの整理をさせていただいたということでございます。
0:02:28	あと、添付1の方ですが、ページ等は前回他のAとDでも話がありました冒頭宣言のやりとりであったりというところの整理をしたというところ。
0:02:39	ですかね。はい。あとは、
0:02:44	ページのところが、単独ウーバー前回ちょっと文章が長くてそれぞれDだとか確か分けて、分解して書いているところをSAは合体するところまだケアがうまくできてませんが
0:02:59	それぞれ振らなきゃいけない設計が何かというところまでは対応として真ん中のところにですねしっかりかけ合わせてますが分割の方まではまだ手が届いてませんので、
0:03:10	次のバージョンではそういうことも手当をしたいと思います。
0:03:15	倍すっごく。
0:03:17	うん。
0:03:19	は、
0:03:22	添付1で直した具体としては、3、
0:03:25	14ページで36条の73のところの、
0:03:29	設計条件としての展開のところ、
0:03:33	抜けているところがあったので整理をし直したいということはしてます。
0:03:38	がこれもまだ373からの飛ばしでですね今、
0:03:44	地震のところ、
0:03:47	83116、185という番号を振ってますが、これだと1.2Ssまでカバーができてないので実際はこれ280789990と。
0:03:59	いう番号を飛ばし側で鉄筋工ハラないといけないところまだ若干抜けてますのでこれも精査を続けたいと思います。
0:04:08	はい。
0:04:10	はいといった整理をしてます。実際、添付2の方はどちらかというところの整理をするために、我々が社内ではどういう紐づけで併設計方針が並んでいるのかということの、整理をさせていただいたものを、
0:04:26	実際つけてますが資料としては参考程度の扱いかと思ってます。はい。
0:04:32	説明以上です。
0:04:34	はい、ありがとうございます。規制庁から、この資料について事実確認と質疑があればお願いします。
0:04:40	規制庁の藤原です。まずは文章の方から確認していこうかなと思うんですけれども、
0:04:46	1ページ目今日の説明にありましたが、

0:04:51	井清ジャンプがあるものの扱いについてなお書きで、32 条から 35 ニツタさ、15 条とあと 37 条ですかね。
0:05:00	書かれてるんですけどここでは使わないっていうことなんですけど。
0:05:06	これなしで、
0:05:08	D米との差分っていうのはきちんと語れるもんですか。
0:05:17	はい、井上瀬谷でございます。はい。というよりも差分が要求事項にもともと入ってるんじゃないかというふうに思ってまして、その差分が、要求事項からそのまま直接読み取れないような差分が特にあるわけではないかなと思ってたところでしたが、
0:05:34	規制庁の藤丸であればむしろこの中でも表せてますになるのかなと思ったんですけど。
0:05:41	例えば、地盤だったら地盤のところで、32 条なり、SAで考えているプラスのことは全部表してるんですけど、
0:05:51	はい、二本木西田でございますがそうですねおっしゃる通りですねはい。はい。
0:05:55	なので今回この文章だと、共通 12 の資料 2 として整理するってなってるんですけど。
0:06:02	共通 10 人の資料になった時にこれ単品で全部立たせるつもりなのかっていったところは考え方どうですか。
0:06:11	はい。イナミネ社でございますそういう意味で言っておっしゃる通りだ。32 条 33 条と、それだけで条文のシートを作るつもりがないのでもともと 5 条と 3026 条と 33 条のセットで、資料 2 は作るつもりでした。はい。
0:06:26	規制庁の藤丸です。はい。そうかなと思っているので、こういうふうな文書として整理された時にちょっと認識がずれてるのが心配になったんですけど、ということ
0:06:36	今回店舗 1 で示されているものっていうのはこういった条文を含めて、例えば 37 条であれば十七条のところで、末広べきものは抽出されるし、
0:06:47	言ったところかなと思うので、それがわかるような考え方をここに記載していただく方がいいのかなと思いますけど、認識いかがですか。
0:06:55	はい、柳下でございますはい。
0:06:57	はい。作業としてどうするかに大分着目過ぎて、前提の考え方が抜けた気がしますのではい。整理します。はい。
0:07:07	はい。規制庁の藤原ですよろしく申し上げます。続けて、
0:07:13	2 ページ目のところで、今回悪影響防止なんかについては、前回のヒアリングでも確認して、どこに何が入ってるのかっていうのをもう少し明確にしてくれという話があり、

0:07:24	その中で外部火災の二次影響だったりとか、そういったところはこういうふう整理していきますという考え方が記されていて、その中に悪影響防止も書かれてるんですけど、
0:07:35	今回その竜巻とか内部発生飛散物。
0:07:39	共用のところ括弧書きでウエキ防止の観点を含めて書かれていて、16条アンリュウの悪影響防止日は何が残ってるのっていうのは特に書かれてないんですけど、それは書かなくていいと思う。
0:07:54	での整理なんですかね今。
0:07:57	はい、イノウエね舎でございます16条側系統構成上とか系統的な悪影響防止になるんだと思うんですけど、そういった観点も、
0:08:08	連携がないように、示すという観点からは記載を整理をしていければと思いますはい。
0:08:15	規制庁の藤原です。はい系統の部分がどこに入ったんだろうというのはここだろうと思いつつ、プラスSAだと、当方施工の話なんかもこの悪影響防止に入ってきたりということで、結局防止のところ、
0:08:29	単純に悪影響防止と書かれているところで何を拾うのかなっていったところが、少し不透明感があつたので確認した次第です。その辺もわかるように文章で整理していただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。
0:08:43	続いて、はい。
0:08:46	続けてなんですけど。はい。
0:08:48	はいどうぞ。はい。
0:08:51	塀の2ページ目の下から、操作性の話があつて、
0:08:56	D棟地震火山溢水とあとは環境条件に紐づけて整理されていると書かれてるんですけど、衛藤。
0:09:06	全体的にその整理にこの添付1ってなってる。
0:09:09	うんですかね。
0:09:11	ていうのが気になったのは、すいませんちょっとフジイの話になっちゃいますけど、ナンバーの138番とか139番。
0:09:19	で、
0:09:23	操作性の話、操作に関係するような設計の話が書かれている基本設計方針のところなんですけど、
0:09:31	ここについては、
0:09:35	文章の中身として、
0:09:37	他の事象が何か引っかかってやってきてない。
0:09:41	ようなんですけど、
0:09:42	むしろ材料構造の方の17条とかの方が、

0:09:46	一緒に整理されていてってということで、今書かれている整理になっているのかちょっとわからなかったんで説明していただきたいんですけどいかがですか。
0:10:15	はい、弓削西原でございます。今ちょっと完全に 140 番からしたが操作性の対象だということで切り分けてしまっているところを、
0:10:26	もう少し全体的に見て、同じようなターゲットで設計を語らなきゃいけないものがないのかという視点では、整理が要るかなと思いますはい。ちょっと今完全に 140 番から上か下かで、
0:10:39	切り離しているところがありますので、そういった整理をし、できればと思います。
0:10:44	はい、規制庁の時は、そのときに、138 番とか 139 番で、わざわざ十七条入れたっていう視点があったかと思うんですけど、それはむしろ、
0:10:55	その後ろの操作性のところに必要ないっていう整理で大丈夫なんですか。
0:11:02	はい、日本ネシアでございますそういう意味でいくと、遠隔での操作可能な、
0:11:08	と言ったり、遮へい材の話であったり線量が高くないようにという場所をユリでいくと。
0:11:18	そうですね操作性悪影響防止ちゃうやろ、操作性か操作性の中で語らないと。
0:11:26	抜けるかはどちらかという設計要求で語ってるところが大分あるので、もともとそういう設計になってて、
0:11:35	変わりませんよって言いたかったんだろうな。
0:11:38	環境を考慮してしまったそうです。違う。いや、いやそれだからあれで 138 万から 139 番が、
0:11:46	実際 100 円でもリンクしてればいいんだけど、
0:11:50	枠としてそういう場を設けなさいっていう、何て言う所設備オオキようなイメージだったんですけども、実際の作業は 141 の方で、
0:12:01	いや、そうなると、操作可能な、
0:12:06	設計っていうのに、場の雰囲気が入らないと。
0:12:12	重大事故における条件というのであったんですけど、これの写真は入れない。
0:12:21	はい。はい。はい。ね。ただそれが 140 番から下のところで放射線の影響も含めて語ってるから、そうで稟議していると、141 の重大事故等における条件というのに、温度圧力放射線が入って、
0:12:35	別にそれ等 138 番 141 番に飛ばせばいいんだよ。
0:12:40	それも、それも一つです。

0:12:45	井上西原でございますちょっと 138 とか 141 の関係をもうちよつと整理をして、必要な要素が語られているかという点で整理を進めたいと思いますはい。
0:12:57	はい。規制庁の藤原です。
0:12:59	はい。ですのと、ここのパーツに書かれてるからっていうよりはきちんと基本設計方針の中の内容を、
0:13:06	考えた上で、どういうふうにマーキングしていくのか、どういうふうに整理を進めるのかっていったところを検討していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
0:13:16	あと、続けて、
0:13:19	3 ページの、これはちょっと言葉の話なんですけど、両括弧 3-1 表の整理のところ、DB設備の 1 ポツ目が一つ目のレ点の 1 ポツ目のところに、DB設計
0:13:31	スペンの設計に関連するものにもあるっていうなんかざっくり感のある言葉が前から使われてるんですけど、これってこの表現でいくんですか。
0:13:40	はい。ひろぎん西原でございます。
0:13:45	もうちょっと精査をしますあまり議論にならなかったなと、このまま残してたんですけど、とはいえ、0 を示す方の考え方として、これですべてをやらせるかというところではない気もするので、はい。
0:13:59	4 を考えますはい。
0:14:01	はい、規制庁の上司で、本日のメニューはに入ってる、他の説明グループの整理とかの資料とかでも、このマルについてどう整理していくんだっていうような話が展開されていて、そこでは違う言葉を多分使われていると思うんです。
0:14:16	DBの設計と同じものになるみたいな話をきちんと書かれてたりとかするんですね。なので、そういったところともちゃんと合うように、この辺の数、表現を使っていたらと思いますがいかがですか。
0:14:34	はい。同じ人間が来て粒子というのに合っていないのはもう駄目です。はい。合わせますはい。
0:14:43	はい規制庁の藤原ですよろしくお願いします今、タスクいろいろと並行して走らせていって、最後に多分ジョイントしたりとかするので、いろんなところで同じような話を多分されていたり、
0:14:55	と紐づけたりしてると思うので、その点全体、
0:14:58	こっちではこういう言葉使ったよねっていうのは少し頭に置いていただいて整理を進めていただく方が、別の言葉になると他のことを表現したい



	のかっていうふうな話にもなりますので、整理をいただきたいと思いま す。
0:15:12	藤。
0:15:14	続けてなんですが、
0:15:18	4 ページ目の、今回、徹底を付けられて別添が違う添付の 2 の方は、社 内の整理だったので参考情報ということだったんであまり今回、
0:15:29	ヒアリングで取り扱おうとは思ってないんですけど、江藤、この別添とい うのは、結局、
0:15:35	何をしたかったのかというと、米印のところに書いているような視点って いうのを、
0:15:44	ピックアップしてきて、
0:15:47	そのあとSAの設備とかで考慮しているような事項と紐づけてる。
0:15:53	その次、①から④ですかね。
0:15:56	それをしたんだってことなんですかね。
0:16:00	あ、すみませんちょっと見づらいので。はい。はい。はい。まず、別添の 方は、
0:16:08	添付 1 で、0※1 と書いてるものを、もう抜けなく全部持ってきましょうと いうのがまずやりたかったことでこれを全体をカバーした考え方に、
0:16:20	4 ページから 5 ページにかけてのアノサンポスになっていることというの が整理し、従ったゴールです。加えて、
0:16:29	特集なことSA特有のことを考えているのが※1 なので、その特有なこと っていうのもある種、累計できるんじゃないかという意味で、①から④の 付番を振っていますこれが、いろんな条文、
0:16:48	の条文というか事象のところに跨って出てきても、結局この分類の中に 何か収まっていくような形、形態というか整理になってますよというこ をやりたかったということでございます。
0:17:02	規制庁のフジワラですアノやりたかったことはわかりました。
0:17:05	今回絶対見ている等、紐付け方のせいなのもかもしれないんですけど、こ の①から④に振られて、その米印のところにそれを振られているんです が、
0:17:19	その中でも特殊な例とかっていうものがいくつか出てきたり、あと本当に その丸番号と、今書かれているその米印のこと、言葉というか、内容が 合っているのかがよくわからない部分が結構あったんですけど。
0:17:35	例えば、八丈火山積雪の 1 ポツ目。
0:17:41	は、何か特殊な例になっているのは、てかそもそもなんか常設衛星設 備が屋内の配備って書かれてしてるんでちょっとよくわからなかったん ですけど、この辺の整理ってどうなってます。

0:18:02	はい。与儀西田でございます。まずすいません。後、誤記がありますね。城先生はわかってるんですけど、設計を超えるか座に対して、
0:18:12	フルタコウか清掃上階までですね、及びの後は、すいません1コピーの水がついてますけど、及びの手前までが対象になります。はい。
0:18:22	はい。規制庁野島です。はいそれはそうかなと思ったんですけど、これを特殊な例っていうのは、同じようなものをまとめたっていう話なんですけど、次の部分、次のポツの方が、可搬型だから、
0:18:35	②になってるんですけど、
0:18:38	この辺って何か、弊社でございます。そういう意味でいくと、まずすいませんもうちょっとちゃんと頭の整理します。36条の108番が、そもそもこれがSA特有かという、
0:18:51	設計日を超える火山って意味ではSA特有なんだと思うんですけど、フィルター交換とか清掃とか除灰をするって意味でいくと、これもDDと何ら変わらないのでやる行為は、
0:19:03	一緒と条件が違うだけという気はしてますので、これを特殊な例というのはちょっとやり過ぎな感じがしますのでそういったところの整理をさらに進めていきたいと思えますはい。
0:19:16	136条の123134と書いているかはSEの方も、特殊なのはどちらかという屋内の配備をするということが、特殊なSA特有の
0:19:28	話であってこれが②番との関係になるというところ、ちょっとまだ整理として十分じゃないところは整理を進めます。はい。
0:19:38	はい。規制庁の藤原です。この米印自体が、政独委を取り出してきているので、その上でまた特殊なるっていう時点でちょっと混乱してきていますので、
0:19:50	その点、先ほど一つ一つ聞いていくとおそらくこの整理がまずかったとか、もう少し精査をしないとっていったところが見えてこられていると思いますので、
0:19:59	どう整理して、目的を達成するのかを検討していただきたいと思えますのでよろしくお願いします。
0:20:06	はい。猪野美怜社でございますか、長期いたしました。はい。ここでさらに累計の話を持ち込む、この分類額として同じような類型ってかグループになるよねって言った時に、
0:20:21	実際このグルーピングすることによって資料3とかの世界の中で、説明がかからないように工夫ができますとか、そういうターゲット間部があるんだったら頑張ろうかなと思いますそこも含めて、

0:20:35	これをやることによってどういう効果があるかっていうところをもうちょっとちゃんと見据えて、ゴールとの関係で整理を進められればと思いますはい。
0:20:44	規制庁の藤岡コサクです。すいません。今言われて累計なんですけど、①②③④って言っているのが、
0:20:56	ある意味累計の入口になっているんだと思うんですけど、
0:21:03	にもかかわらず、この別添ではただライズしてるだけっていうのが、
0:21:10	もったいないんじゃないかなと思う。
0:21:13	まずは思います。その上で、①②③④って何でこうなってんのっていうのが、
0:21:22	条文との関係っていうことかもしれませんが、可搬ちゅ常設可搬というわけだったりしているわけですね。
0:21:32	なんですけど見ていく等、
0:21:36	あまり、
0:21:41	違いがないという感じです。
0:21:44	て言ってない特に内的S営農その措置によって対応すると。
0:21:52	いうことと①の、
0:21:57	要因にならない外部衝撃についてということは、
0:22:03	基本都庁も似たような措置でってことになってるんですけど、これって何か違い、説明上、何か違いあります。
0:22:12	はい、日本インダでございます。まず、おっしゃっていただいたように①と④やる行為自体は変わらないと思ってますもとの発生元で多分分けてしまってるところがあるので対象になるものです。
0:22:25	そういったことも、多分累計できるものは合わせていこうとすると、頭の項目で、番号分けるよりは全体に渡して、整理をしてそれが条文との関係だったり要求事項との説明の関係だったりと、
0:22:40	いうのも含めた、グルーピングということをどう整理していくかと。
0:22:44	それが最終的にどう繋がって、合理的な説明に繋がるかというところまでうまく導いていければというふうに思います入儀間は、あくまで数字の一番2番。
0:22:57	かっこいいですかねこの頭の項目で分けちゃっているところは、駄目なところかなと思います。はい。
0:23:04	はい、そうですこれ自体はもうこれでもいいんですけど、①④の説明するにあたって、どういうふうに行っていくかっていう時には、
0:23:15	同様な形で書きつつ、支店が
0:23:19	容易にならないものを、要因、
0:23:23	オオバ全般にわたって

0:23:27	適用料を累計として説明いただければいいと思いますし、
0:23:33	でもあれか。
0:23:34	いいのか。
0:23:35	アズアノあれですね、この措置に逃げるものって対象って何ってそ、それでってちゃんと逃げられてるっていう確認をする抜けられてる表までですね。
0:23:47	機能が復旧できるっていうことの説明をしていただければいいし、内的衛星の場合だと、
0:23:54	用意
0:23:57	外部衝撃で要因になる外的営性の要因の部分に対して、
0:24:04	どうかというような話になるんですか。これな、プラスその措置っていうのは何を説明するんですしたっけ。
0:24:16	はい。日本イシダでございます。これも結局は、
0:24:21	MARICO。
0:24:22	コウて提出っていうことぐらいしか追加の要素はないんですね。復旧をするということ、最終的にやることは変わらないので、
0:24:31	プラスがあんまりない気もするのでちょっと整理をしていきたいと思えますはい。
0:24:37	はい、細田ですわかりました。そうしましたらアノアノ量 0104 を束ねてみて、
0:24:46	パターン化して
0:24:48	差分をそれぞれ説明できるようにということと考えていただいたらいいんじゃないかなというふうには思います。
0:24:57	そうすると一後②③と、
0:25:01	いうことで、
0:25:03	それを 7 ページのところ、
0:25:07	見てみると、
0:25:11	ということですけど。
0:25:15	2
0:25:19	ウワー。
0:25:23	津波は、
0:25:25	こう書かれると何のことだかわからなくなってくる。
0:25:29	その次②が先ほどのかざ算で、これもそのフィルター交換云々っていうとあれ①④みたいな感じになるんですけど言いたいのは最後の屋内配備だっけ。
0:25:43	いうのがこれでは、
0:25:44	②の意図がわからないけど、

0:25:47	ということなので、そこら辺をですね、
0:25:51	何がポイントかっていうのがわかるように
0:25:55	この別添っていうのをちゃんと累計をし、ポイントは何ということを明確にして、資料三、四にどうつなげていくのか。
0:26:05	いうイメージを持って対応いただけると繋がるんじゃないかなと思います。以上です。
0:26:13	はい、宮城西田でございますはい。ありがとうございます正直そうですね。ただナベタだけなのでちょっと整理をして、最終的にどう持っていきたいかということも考えた上での整理ということをしていただきたいして、させていただきたいと思います。はい。
0:26:30	規制庁の藤村です。
0:26:33	私の確認で本文の部署の方の確認私からは以上なんですけども、その他本部の方で何か確認事項ある方、いらっしゃいますでしょうか。
0:26:45	成長がですね、2 ページ目のところで、今回ウェブ化剤のことを少し展開いただいたと前回のコメントから、
0:26:52	展開いただいたところなんですけど、ここ外部火災の二次的影響バイヤーしか書いてないんですが言う6月の方がちゃんと考慮されてますでしょうか。
0:27:03	はい。与儀の伊勢谷でございますはい。
0:27:07	認識はしてるんですが、考慮しているかという若干不安が残るのはい。抜けてないかの確認をさせていただきます。必要な要素であることは認識をしてます。はい。
0:27:18	はい。規制庁角です。あと、近隣工場等火災の中に、今石油備蓄基地火災と、敷地内貯蔵施設等の敷地内危険物貯蔵施設等の、
0:27:28	火災が今含まれた状態なんですけど、
0:27:31	この防火体の外側と内側の話で、
0:27:34	石油備蓄基地火災は線源火災と同じように、
0:27:37	対処できるというのは理解するんですが、敷地内の方、大丈夫ですかこれ。
0:27:58	はい。宮城石田でございますちょっと確認をしておきます。7だと僕はタニグチワダからそもそも切り離しますもんです。
0:28:07	麻生。
0:28:10	対応が変わってくる。
0:28:14	もともとDBで全部挙げてんだよ。
0:28:19	はい、日本イシハラでございますちょっと整理しますはい。はい。伊勢帖佐です。ちょっとやっぱり思うのが、この資料をDBの方がどれだけ当レビューしてるのかっていう、

0:28:31	観点で、今のところ何か外部火災担当すれば、
0:28:36	オクとぜひ思いつくようなコメントだと思うんですが、
0:28:40	この辺で、例えば先ほど八条の方で対応いただいた皆さんが、レビューとかされてるんですか。
0:29:00	はい。二本木根井社でございます。正直見きれてないというか何て言うんでしょうね。
0:29:09	難しいな。
0:29:10	体制をちょっと考えないと。
0:29:16	はい、規制統括先日から申し上げてる通りそのSAの方での整理を進めるにあたってやっぱり選択と集中みたいなのが必要で、日々の意見も必要ですよっていうのがこういうところだったので、
0:29:30	やっぱり次の次の資料でもう少し話すと思いますが、配慮いただくのは、まさしくこういうところだと思いますのでよろしくお願いします。
0:29:44	はい。二本木西浦でございますはい。それも見させても多分、
0:29:49	チェックがうまくできない気もするので、はい。どういうふうなやり方をするか、ちょっと考えます。はい。
0:30:02	規制庁の藤原です。その他、規制庁側からこの本文に関して何かある方いらっしゃいますか。
0:30:08	せっかくなので、
0:30:10	規制庁のアライですけど、ちょっとこれまでの部分と重複するかもしれないですけど、
0:30:16	2 ページ目の、
0:30:18	下から二つ目のレ点なんですけど、
0:30:23	なお書きのところで、SA設備固有の設計条件としてDBより厳しい条件で要因となる事象は、
0:30:33	それぞれ地震とか火山とか、それに含めて整理するってなってる、
0:30:38	こういった事象、似てる事象をベースにして類型化してるっていうだけで、その先の対策のところまで踏み込んでないっていう理解でいいんですよね。
0:30:52	はい。乳井ニシダでございます。対策まで踏み込んでないと言うつもりもなくでですねその事象によって起こる影響後それに対する防護設計対策、
0:31:03	ていうところも当然、こういう部分に帰着するよねということも考えてどこどうジョイントするかは考えてると思ってます。はい。はい。了解です。そういう意味だと、他の上のレ点とかっていろいろ理由が書いてあったりとかしたので、そういう視点も書いてあればいいかなって思ったっただけです。

0:31:22	はい。日本原燃石田でございます。はい。承知いたしましたそうですねいきなり一対一で、火山ぐらいしか一対一で合わないところもあるので。はい。その配管の全周破断とか気水の影響っていうのをなぜ被水等、
0:31:35	環境条件とかに絡めているかっていうのが、どういうことを考えてそうなったのかを整理して、整理がわかるようにですね、文書、拡充していきますはい。
0:31:48	はい、規制庁RISお願いします。以上です。
0:31:52	はい。規制庁の藤村です。
0:31:56	そうですね他大丈夫そうなので次添付1の方の整理、
0:32:01	ご確認していきたいんですけども、これまで竜巻とか、衛藤その他の外部のところでもありました通り、
0:32:09	冒頭宣言でどこどこに展開するとされているときに、受け側でちゃんと受け取れてるかっていうのはこちらでもやはりできていない部分が散見されてると思っています。
0:32:21	実際に、
0:32:25	全然書いてない。
0:32:27	ていう部分もあれば例えば10ページ目の、
0:32:31	22番ですかね。
0:32:34	これは、
0:32:37	15パン、
0:32:40	から、
0:32:43	うん。そうですか。違いますすいません。衛藤22番は、
0:32:48	ここから来ていると思ってるんですけど。
0:32:52	そうですね。その上の二つとか三つ下ぐらいは、
0:32:57	192021とか、そういったところから飛んできているのでこの辺もきちんと書いていただくということと、あと一部書かれているのに、一部の、
0:33:07	番号は書かれてないといったものもあって、
0:33:11	13ページ目の、
0:33:14	57番なんかは、その上の51番から、
0:33:19	57番と68番に展開するという話があるのはあるんですけども、その直上の53番の部分から抜けしか書いてないと。
0:33:29	そういったこともあるので、書かれていない。今、一切書かれてないところだけを手当するのではなくて、今書いている部分についても、本当にちゃんと番号を全部受けてる、受け取れているのかっていったところを、
0:33:41	きちんと整理していただきたいと思っていますがいかがでしょうか。

0:33:47	はい、与儀西原でございますまず先ほどの竜巻からの時の議論でまずベースのやり方は共通でやってます。
0:33:58	親子供孫を、ひ孫までいるやつもいますけど、親、子、子供から孫に受け継ぐべきは、子供は親の番号は書かずに、
0:34:10	渡す先の孫の番号を書いて、そこに展開するみたいなやり方をしてるので、今おっしゃったように、真ん中にたちが、上のものを書いてないってのはそういうルールでやったので今現状そうになってまして、
0:34:23	先ほど竜巻みたいに、オオモトの一番頭にくる基本設計方針を受けて当然のように受けてるんですけど、それが見えないのは、全体のスキームがよくわからなくなってしまうところは、
0:34:34	先ほどの2番、一番から2番のやつをちゃんと受けてますってところが、子供の段階でもわかるように、オオモトのところは整理をしようと思ってましたが全部をそうしようということではないと。
0:34:46	認識をしていたので、同じような展開になるところは直しますし、そうでないところは今のルールのやり方と合わせていければなと思ってますちょっと重大事故の場合、
0:34:57	親子の親の部分をごとまでするかちょっと面倒くさい整理ですけど同じような整理をしようと思ってましたということでございますはい。
0:35:07	はい。規制庁の藤原です。SAのこの部分の整理って結構、確かにややこしくて、番号が入り乱れてたりとか、
0:35:17	幾つかの視点が、
0:35:19	あるような、基本設計方針については、番号が様々だったりとかするので、
0:35:25	ていうところもあるんですけども、全体のルールに従って整理していただけたらと思います。
0:35:31	で、
0:35:33	ルールを確認したいんですけど、
0:35:36	例えば9ページの7番、
0:35:39	妥当。
0:35:42	この
0:35:43	基本設計方針を受けるものが、
0:35:46	試験検査と悪影響防止と環境条件、十七条の材料構造、
0:35:52	あるんですけど、これって同じ番号が入っている。
0:35:56	ですね、下へ展開していくものとかが全部一緒なんですけど、ちょっと全部一緒で、



0:36:02	展開していくものもあれば、あと別のところの事象なんかでいくと、下に行くと、全部がそういうわけではないものもあるかと思うんですが、これって基本的に横に並んだものは全部入れるっていう方向性ではなくて、
0:36:16	関係していくその展開していく先をちゃんと整理していくっていう整理の理解でいいですか。
0:36:22	はい。日本原燃石田でございますはい。まずは、氏原さんが言われたように、中身に応じた整理をしないといけないというのが前提です。ただ、重大事故他もそうですけど、頭の方にくる冒頭宣言の人たちっていうのが、
0:36:37	ある程度範囲をカバーした全体的な方針を書いて、後ろに来ればくるほど、ターゲットを絞った設計で、さらにそこからまた冒頭宣言に振られる場合があるので、
0:36:48	上流と下流に応じて範囲を適切に、要求事項との関係で見て、フジサキを決めていくということだと認識をしています。
0:36:58	規制庁の藤原です。わかりました。今、とりあえず、7番のところを見るので、ここでもう1点確認したいんですけど、
0:37:09	45番に振ってる部分で、核物質防護等保障措置関係の相互影響の話があるんですけど、これって45番に振ってるっていう理解でいいんですかね。
0:37:42	はい。与儀の市田でございます。俺は間違っ、違うなあ。わかりましたこれ多分。すいません。現状からいくと、
0:37:52	MOXで整理したものがうまく今反映できてないので、ここはすいません私の方で、酢スクリーニングがどういうふうにするかを、
0:38:02	言わないといけないのでそれがチェックがなかったんでうまく亀井ところがなくて、
0:38:08	45番にただ振った形になっていると思ってます実際は
0:38:13	何がSDP、あと安全設計、SA設備ですねの間で考えなきゃいけないかというところの、考慮してそれが悪影響防止と、それ以外は今、
0:38:26	調査正確試験検査成果に売ってるこの二つのパーツで本当にいいよねっていうところの整理をまずやった上で、切り札に決めないといけないんで、
0:38:37	そこの入口をちょっとちゃんと議論して整理していきたいと思いますはい。
0:38:42	はい。
0:38:43	規制庁の藤原です。
0:38:45	そうですね、この整理がちょっとよくわからないなと思っていたので後で、その展開されてた先でもどう拾っているのかもわからないし、あと今

	この四つの項目で拾っているところもよくわからなかったので、整理を踏まえてこちらも、
0:38:59	綺麗にしていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
0:39:07	続けて、9番のところなんですけど、ここに、
0:39:11	No.の冒頭宣言という、
0:39:15	整理か。
0:39:16	環境条件等、在庫のところにあるんですけど、
0:39:22	15番。
0:39:24	ごめんなさい。はい。
0:39:27	藤原さん申し訳ない。コサクです。先ほどのPPSGの関係は、
0:39:33	どこで振るってということなのかとかっていうのもありますけどやっぱり横軸どこ。
0:39:39	になるかっていう。
0:39:42	運動もあって、こう分けるとする等、オオモトのこの部分からこの枠で降りますよってというようなことも整理しなきゃいけないなっちゃうような気がするんですけど。
0:39:53	一番最初の、横軸どこでどう書きますかっていうこ等にも、
0:40:00	なって、ちょっとそこら辺の整理の仕方だけ、現状の認識を教えてくださいませんか。
0:40:10	はい。与儀西原でございますはい。
0:40:15	そうですねちょっとここ私、私も頭の整理をちゃんとしないといけないと思っていて、SGP特にSDの機器なんか安全設計の、一方と言う重大事故対設備との関係が、
0:40:28	どうなっているかという、ことを認識した上で何とかからめなきゃいけないかっていうところだと思うんですけど、現状は、いわゆる両方の試験検査、試験検査保守点検ですね。
0:40:46	そういったものに対してスペースの確保だったり、
0:40:51	お互いが変に干渉してないよねということを見ないといけないという視点と、
0:40:56	あとは、実際のもこれ自身、
0:41:02	最新じゃない。
0:41:03	勉強コサクです。いずれにしても、DBとの関係っていう意味では案いうのところに行くわけで。そうですね。はい。案いうのをどこっていうのが、
0:41:17	今どこにしてるんですか悪影響はイシイカワせてるんですか。
0:41:21	はい。試験検査と悪影響防止に絡めて、僚店方、両方ですね。
0:41:29	じゃすま少なくともそっぽ。
0:41:31	繋がるように、個々の業務を変えてっていいんですかね。

0:41:37	はい。日本イシダでございます。はい。そうですね実際だから、
0:41:44	45人しか売ってないような形になってるので、45。
0:41:50	あとは悪影響防止のところだけなので試験検査も含めて全体、SGP地域との関係という意味では展開先になりますということがわかるようにしないといけないと思ってます。
0:42:04	はい。わかりました振り先は漏れないようにっていうこともあってまずはそこを抽出した上で、
0:42:14	最初の
0:42:16	入口となるエース設計方針がどう展開されるかっていうところもどういふふうに書き込んでそこに振っていくかと。
0:42:23	いうことをまとめるということで理解をしました。よろしくお願いします。
0:42:31	規制庁の藤村です。すいませんさっき9番って言ってたんですけど、9番はいいです。10番についてちょっと確認したいんですけど。
0:42:38	今回ふた2種類のポート宣言というふうに来記載があって、
0:42:44	一つは、位置的分散に関する内容とされていて、もう一つが共通要因に対する耐性に感
0:42:52	ずる内容。
0:42:53	ていうふうに書かれてるんですけど。
0:42:55	この共通要因に対する体制に関する内容の方を確認すると、位置的分散の話とかも書かれてるんですけどその辺の整理ってどうなってますか。
0:43:06	例えば27番とか、あと30分、31番32番とかその辺もですかね。
0:43:12	辺りを見ると、その位置的分散の話。
0:43:16	が書かれていたかと思います。
0:43:19	例えば27番であれば、保管場所の位置的分散することにより、機能が損なわれる恐れがないように保管する設計とするという話が書かれていて、
0:43:31	こちらが、この体制という話になる。
0:43:34	整理って、
0:43:36	今どこまでできている状態なのか聞きたいんですけど。
0:43:39	はい、与儀西田でございますはい。まず単純に位置的分散によってその考慮ををを考慮するものと、
0:43:49	それ、共通要因に対する防護という意味でその手段の一つに位置的分散が入るものっていうのを、上と下で分けているので、
0:44:02	そこはまず整理が、まず、基本、個人的には本当にそれを分ける必要があるかってところと、仕分けをするのであれば、ちゃんとその番号との整理で

0:44:12	類型がないとか、変にテレコになってないかつっていうところは見なきゃいけないかなと思ってます現状は、
0:44:19	ウエキ室田onlyか、池辺さんを含む、防護の設計の考え方かということで昇給してました。
0:44:28	規制庁の藤原。
0:44:31	藤。
0:44:33	その場合、14番って、今うちの分散、単純に位置的分散でっておっしゃられたんですけど、多様性独立性とかはあるんですが、
0:44:44	とりあえずその中の1時分散だけを、
0:44:47	再処理を考えてる。
0:44:53	あれですか、健全性の確保がないってことですか。
0:44:56	ていう項目がなければ1時分散の方で、そうですね、はい。
0:45:00	多分分ける必要がなくなるなさそうな気がしたくて。はい。整理します。はい、規制庁の藤間です。はい。その分けることにきちんと意味があって、後の展開、
0:45:11	どうしてもそれをちゃんと拾っていけるっていうのであれば、きちんと整理をしていただきたいと思いますし、逆にそれをすることによって混乱するのであれば、一旦は整理せずに通してみるっていうのも言いかもしれませんので
0:45:24	衛藤必要であればきちんとやっぱりやっていただきたいとは思いますが、で検討していただけたらと思います。
0:45:37	で、規制庁の藤原です。
0:45:39	次に、
0:45:42	例えば、先ほどその一つ野瀬基本設計方針で横並びで、いろいろと書いて、同じような番号でみたいなどころと近いような話なんですけど、
0:45:55	中、9ページの10番11番を受ける。
0:45:59	コウノ。
0:46:02	整理で、
0:46:05	31番、
0:46:07	のところで、
0:46:09	一律2、
0:46:10	No.8011っていうふうを受けてるんですけど、
0:46:15	10番11番見ると10番の方は、自然現象だし、11番の方だと、人事象なんですね。
0:46:21	その辺の書き分けってしないんですか。

0:46:34	はい。弓削イシダでございます。これでいきますと、タテが必要ですので整理させていただきます。はい。基本設計方針の内容との対になりますんで、
0:46:47	自然現象は、言ったところは自然現象のカラム取りをする人上というところは、理事者だところだと。航空機墜落火災とかですかね、あとは爆発。
0:46:59	有毒ガスとかその辺とリンクをすると、ということかと思います。はい。整理します。
0:47:05	はい。規制庁の藤原です。そういったところが多少見受けられるかなと思いますので、今一例ですので、他のところもやはりそういった書き分けが必要なところがいくつか、
0:47:16	散見していますので、全体的に整理をしてください。
0:47:22	よろしくお願いします。
0:47:26	続けて、
0:47:28	14 ページ。
0:47:30	これ、前回のヒアリング
0:47:34	で具体的に確認していった際に少しお聞きしたかと思うんですけど 74 番の、
0:47:40	最初人事者の話で、
0:47:42	書き始めているけどなお書きのところでは自然現象の話も入ってるけどどう整理するんですかみたいな話を聞いたかと思っていて、何かこの辺で整理されたんですけど、青色にはなってるんですけど。
0:47:59	はい、日本イシダでございますここ直しているのは単純にですね、航空機の話の前の方でバーになってリンクがなかったのをここに持ち込んだだけですので、特段、後ろのなお書きを元に書き直したわけではないです。
0:48:18	で、なお書きをどうしたんだというところは
0:48:24	これはどちらかというと、
0:48:27	どうしようかな、これが残るとでも、後の設計がきつくなるのか。
0:48:34	どっかで飛ばしてあげないといけないね、これ、ここから飛ばしてるわけでも何でもなくてどこかを受けてるってところなので、これをどうひもづけるかだな。
0:48:44	ちょっと今まだケアできてないので、やり方を考えます。どこが紐づく。
0:48:53	安孫子。
0:48:57	江森オノ。
0:49:00	73 番とリンクしてるんだな。
0:49:03	73 分の 1 に飛ばせばいいんだよ、これ。

0:49:10	はい、日本イシハラですちょっとやり方を考えますアノ73番で言ってる自然現象とかの条件が、
0:49:17	3.3の外部衝撃で言ってる条件と同じですということなので、これと組み合わせを飛ばせにいくというやり方だと思いますので整理します。
0:49:30	はい。規制庁の藤村ですよろしくお願いします。
0:49:43	あ、規制庁のフジワラです。
0:49:49	26ページとかのところで、
0:49:52	180、
0:49:55	一番、180番ぐらいからですかね。
0:49:59	下の番号を
0:50:03	逆流でもなくて少し何かあれですかね工夫した。
0:50:07	結果なんですかね180番であれば183から190192から195から展開される。
0:50:17	設計条件を考慮して書かれているのって、
0:50:21	これ、こちら辺の何か整理の説明していただいていいですか。
0:50:34	はい、日本イシダでございます。はい。ちょっとそこも、
0:50:40	薬理をするんだと言ったこれもあれだな。
0:50:43	はい。これもちょっと整理をさせていただきますが現状考えているのは確かに基本設計方針ですね、大枠の形を設計方針を、180番から、
0:50:55	182番対象物金融系対応の常設対応の過半と。
0:51:02	言ってそのあとに、荷重の組み合わせとかも含めた設計の考え方みたいなを展開しているの、
0:51:10	その上のABCが達成する設計のために必要な条件が下にあるということでリンクを貼ってるんですが、
0:51:21	が通常はこれテレコになって上側に設計条件がきて、通常下の設計の部隊が後ろに来るので、他の竜巻とかではこんなパターンないんですけど、
0:51:32	相手に衛星するところはオオバ区からの展開をしてっていうところになってますが、
0:51:37	どちらかというと設計条件は何番からナンバーに示すというのを、180番に対して、
0:51:46	キタニを飛ばすと。
0:51:48	いう形のやり方もあると思うのでちょっとやり方を、
0:51:53	ルールをまずちゃんと決めたいと思いますはい。
0:51:57	はい。規制庁の内村ですよろしくお願いします。多分この耐震のところはそういった、もしかしたら限界があって、工夫をしなきゃいけないのかもしれないので、工夫した上でちょっと、

0:52:08	どういうふうに整理をするかのルールを作っただいて、全体的に整理を、耐震の部分だけだと思いますけど、その辺り整理してください。
0:52:19	と。
0:52:19	すいませんコサクです。
0:52:23	工夫する必要がありそうなことを最初言われつつ、なんか上から下についていう形で書けますよねっていうことで言われたりして、
0:52:35	実情がいまいちよくわからないんですけど私も普通に書けるんじゃないのって思ったんですけど、何か違うんですかね。
0:52:45	はい。与儀黎士でございますまず単純に
0:52:50	開き方ですね、
0:52:53	183 番から 195I-129192 番から 195 番に受験を示すと言ってくれば、よかったところを、そこで使ってる条件をこの設計に当てはめますよみたいな呼び方ができる。
0:53:08	日本語を作ってしまったのが失敗だったかなと。なので普通に、上から下に流れにより変えていけばいいのかなと思ってたところでした。はい。
0:53:18	はい、細田です。他の、ここまでやってた外部衝撃の各事項も同じように最小大枠を述べた上でその部分の条件を具体化したり対象具体化したりと、
0:53:32	しているので、基本は同じように変えていってどうしてもっていうのがあれば相談ってことで対応いただいたらいいかと思います。以上です。
0:53:45	規制庁の藤原です。
0:53:47	はい、ではそういう整理をお願いします。あと 29 ページのところなんですけど、これは江藤葛西の部分の、
0:53:57	11 条とかで整理されてるものなんですけど、この中の 201 番とかっていうのは、201 番とか 200。
0:54:06	衛藤、その 1 個前が 200 番とかですかね。
0:54:09	この辺って、他の事象、
0:54:13	についての話がされてて、200 万なんかは特に自然現象から、
0:54:20	防護せ、防護する設計とすることで、火災の発生を防止するとなってるんですけどここは浅井のところまで 0 っていうので、
0:54:28	いいんですかね。それって竜巻とかの整理と一緒にですか。
0:54:50	はい、日本インダでございますちょっと 35 条のこれを前にどうしたかを私もすっかり忘れてしまったのはい。
0:54:58	すいませんコサクです。石原さんごめんなさい。はい。今、今この話して、この部分というよりは全体的な作業方針かなと思うんですけど、条文跨いでる時ってどうするっていうことに繋がると思うんですよ。

0:55:15	これだとアノフジサキの火災防護のところはさらに、自然現象側に飛ばさなきゃいけないくて、
0:55:23	自然現象側で、要はあれですね壊れないってしてるから、火災発生の要因がそもそもないですよっていう。
0:55:32	古藤なんですけど、そういう説明がちゃんと繋がってますっていうのをどう抑えるかっていうと、DB側でも同じ状況になってるんですけど、それともうすでに配慮されてるんですか。
0:55:45	はい。与儀ニシダでございます今やってる条文でいくと、とかMOXの整理でいくと飛ばし合いに行くと。
0:55:54	どこかの設計で説明をしますっていう飛ばし合いは、竜巻等、
0:56:00	AII、竜巻とフクダいうシバ芳賀さんです。
0:56:07	浅香さんの粒子とかあの辺で、どちらかに預けていくということで整理をしているのもありますタダノを、さらにここは
0:56:17	3段ロケットみたいになっているところがあるので、そこも整理を、同じようにしていけばいいのかなと思いますけどただ、先ほどの竜巻で冒頭制限の一番頭みたいに、親子、この時に子供が親を呼ばなくなっちゃうと、
0:56:34	どこから何が北川もうけわかんなくなるので多分出先も含めて、連結を全部見せていくと、いうことなのかなと思います。はい。
0:56:48	はい、長田です。ちょっと私自身は完成形のイメージが湧かないんですけど、問題点をわかっていただいたようなねあの次整理された。
0:56:59	なるほどねと思えるのかというふうに思いました。よろしく願います。
0:57:08	はい規制庁のフジムラです。整理のほどよろしく願います。
0:57:13	添付1の方で確認したところは基本的に、
0:57:19	細かい点同じような話は割愛してますので、一色ウタの他に、規制庁側から確認したい方いらっしゃれば、願います。
0:57:32	規制庁大橋ですけれども、よろしいですか。
0:57:36	どうぞ。
0:57:37	は。はい。19 ページ目ですけれども、
0:57:41	今ちょっとルールの話になってくるかと思うんですけども、この45番、
0:57:47	ですねこれ右の方の方で悪影響防止と共用のところ、一応40、46番、ナンバー46に展開というふうになっていて、
0:57:58	供用後は46人
0:58:01	ここに書いてなくて、受ける箇所も特にないんですけども、冒頭宣言しか書いてないという感じなんですけれどもこれ、どういう整理なのか。
0:58:09	教えてもらえますでしょうか。



0:58:27	はい。日本原燃者でございます先ほど来出てる今、ちょっと共用が抜けてる部分はちょっとどうでどうしてこうなったかもう一度確認をします。
0:58:36	基本アノ 45 番で 40 億に展開する、46 に行くと 47 から 52 展開する。
0:58:44	ということで多分これ、45 が親、46 が合うことも、47 以降が 5 になっている関係で、子供になってる 46 は、下に降り飛ばすとササキだけを書いています。
0:58:57	えさ代は 45 から受けます。受けたオノ 40 ナカ 52 振り回すんですが、ちょっとなるべく記載を複雑にしないように、子供真ん中にいる人は、
0:59:09	不エザキだけを書くように今してますんで実際 47 から 50 にそれが振られて、47 を見ると、46 からもらっている設計を書きますよと。
0:59:19	いう形に整理をさせていただいてます。ただ悪影響防止と共用に 45 番で、帯なんて書いて 46 に振ると言ってるのに、
0:59:30	46 側に共用がない。さらに下にいっても、共用が出てこないっていうところが、
0:59:35	間違いな気もしないでもないですけども 51 が受けてるのか。
0:59:41	コサクです。
0:59:44	コサクですさっきの含めてですけど、横軸なりなんなり、めちゃくちゃに今なっていて、呼び込んでいるのに、呼び込んだ先のところには何も書いてないっていうのは、他にもあるので、はい。はい。
0:59:57	そういったときにはどこの何についていうふうに、竜巻で整理をされていたはずで、これ横軸ちょっと趣旨は違いますが、同じようにちゃんと横軸も含めて、
1:00:08	整理をいただくっていう必要があるんじゃないかとは思いますが。
1:00:18	背弧はい、お願いします。お願いしますはい。
1:00:24	はい、日本ヨシダでございます。はい。ありがとうございますちょっと横の関係であったり、横と上下の関係ダテの精査をした上であとは、
1:00:35	どこに飛んでいっていったというのが、確かにわからないところもリンクもあるのでそこもわかるように、明示をしていくということで考えたいと思いますはい。
1:00:49	慶長オオハシですよろしく申し上げます。続いて 16 ページですけども、
1:00:59	ここでちょっと書くまず確認ですけども、ナンバーの 8、80、87 番ですかね。
1:01:07	87 番で、こちらの、
1:01:10	一切化学薬品に、の漏えいに関して

1:01:15	いうふうなことが書いてあってで、溢水等化学薬品のところで対応が書いてあるんですけども、一方でその有毒ガスも書いてあるということでこれ有毒ガスが書いてあるのは化学品に書く薬品の漏えいに関係しているということですかね。
1:01:31	はい。ヤギニシダでございますはい。化学薬品の漏えいの影響の範囲としてA薬品による腐食と、それによって発生する有毒ガスの話も、
1:01:44	カバーする範囲として、丸をつけてました。
1:01:48	はい。規制庁大橋です。であればその辺のことはその前の本文の方に一度関連性は書いておいた方がいいかなと思います。
1:01:57	あと、アノぱ関連して 24 ページの 158 番とかも、
1:02:04	こちらも、
1:02:08	そうですね要求に対して有毒ガスとか書いてないんですけども一応化学薬品が漏えいして甲斐アノユリオオバサカイてるって言うかと思うのでこういったこともあるので、
1:02:20	本部の方でその関係性はちょっと示した方がいいと思いますけどいかがでしょうか。
1:02:26	はい、イノウエニシダでございます。はい。展開の今回の整理の方法としての中での留意事項として、記載を拡充していきたいと思ひますはい。ありがとうございます。
1:02:42	規制庁大橋ですよろしくお願いします。
1:02:45	続いて 21 ページ目ですけども、
1:02:59	えっと、まず確認ですけども 26 か。
1:03:02	21 ページ目の 129 番のところで、これ運用要求というふうに、
1:03:20	規制庁のフジワラですちょっと大橋さんの音声は今途切れてるんですけども、
1:03:24	大橋さん碓井聞こえますか。
1:03:35	社長の石橋ちょっと音声途切れてしまったので、
1:03:43	日本
1:03:44	しますよね。
1:03:46	そうですね。ミュートにはなっていないので、
1:03:49	写真の状況かと。
1:03:58	あとこちらでアノオオハシさんの状況を確認しますので少々お待ちください。
1:04:06	現場側から、
1:04:10	室長。
1:04:15	市長に入ってくる。
1:04:22	その間にすいません規制庁の藤丸です。言って、

1:04:27	13 ページ目のところで、個数よるような話を、
1:04:31	他の条文に振っている部分については、本当は
1:04:36	ガイドとかルールで言うと、南條の設計方針の何番というふうに書かれる。
1:04:43	何かルールかと思うんですけどこって、いろんな証拠があるから番号までは書けないという状況なんですか。
1:04:50	米田でございます。現状もですね今オダしてる他のところも、ちょっと私のルール作る時なかなか難しくて、今この基本設計方針のいわゆる資料 2 を作って、
1:05:02	説明グループ 1 で作り上げる。
1:05:05	条文は、番号が具体的に認識できているので、そのどこに飛ばすかを書きなさいと、例えばグループさんとかに出てくる人みたいなものがいれば、
1:05:16	まだシートができて上がってない部分もあったりするので番号は書かずに、条文も市の坂、名前を書きなさいとかですね。
1:05:26	あと設計の振る名称がわかるようにしなさいとかっていうところは今ルール上決めているところでした。
1:05:32	規制庁の藤原です。それでは 38 から 50 市田等グルートさんがメインになってくるってことでまだ番号が振れない状況ってことですかね。はい。はい。他でも多分内部火災とかにフルヤツが、
1:05:45	内部火災と条文番号しか書いてない人がいたような気がします。はい。
1:05:51	はい。規制庁の藤原です。ルールに則って書ける部分を書いていただくということでよろしくお願いします。
1:06:01	支店長のちょっと私の方 UEXの方がヨシダ泉入り直すということです。
1:06:07	処置が
1:06:10	規制庁のフジワラですそれと添付資料、添付 1 でほか、オオハシとの通信は、尾松間で何かあればお願いします。
1:06:20	清町オカです。21 ページ目、先ほど大橋がちょっと言いかけた 36 条 129 の、
1:06:27	森林火災のところで、FARSITE の出力値の扱い方っていうのが、
1:06:33	書いてあって、これってな事実確認なんですけど何を想定していますか、どういうことを想定して記載されていますか。
1:06:50	はい。日本原燃瀬谷でございますこれ自体はですね確か、FARSITE のアノ会合、
1:06:58	火災元がある場所に関係なくし、防火隊のラインに沿って確か笠井元をコウ

1:07:08	火災のかを置いていくということを、実際重大事項との関係からいくと、そこまで保守的なやり方をしなくても、例えば
1:07:22	〇型へと近隣工場の火災森林火災の火災下、発火点ですかね、との位置関係を見て、そちら側の防火隊の位置に例えばFARSITEという出力値を並べるとかですね。
1:07:34	というようなことで整理ができないかみたいなことを考えてたところでした。
1:07:39	はい、社長がです。それは、
1:07:43	厳しすぎるからということですか。はい、柳下でございますはい実際かなり厳しいやり方をしてしまったところが、聞いてるところがあります。それは
1:07:54	散水の方のアクセスルートも似たようなもんですね。はい。
1:07:59	はい、規制庁河津 わかりました。はい。はい。とはいえDBと扱いを変えることが本当に適切なのかっていうところも含めて整理が必要だと思ってます。はい。実際は、
1:08:12	規制庁ですか。石油備蓄基地火災みたいなものはいいいんですけど、白井浅井は防火隊の直近にないと何か話が。
1:08:21	できない気が伝えました。はい。実際は今考えてるのは近隣工場っていわゆる石油備蓄基地だけです。対象は、
1:08:32	はい、規制庁がわかりました。
1:08:35	とりあえず、はい。
1:08:36	把握しました。以上です。
1:08:45	規制庁の藤原です。ちょっとオオハシがまだ繋がっていない状況ですが、その他、
1:08:53	この添付 1、もしくは全体ですかね。すいません規制庁の打田です。今回添付には参考とされていて、社内での整理をっていうことだったんですけど、
1:09:05	この整理は、
1:09:10	な流れというかその親子関係を確認するために、今整理されたっていうことなんですか。はい。井上瀬谷でございます。あとはいいですねうまくまだ整理できてないところもあって飛んでるところもあるんですよっていうのもあって、
1:09:25	基本これdも今設計項目出してますけど、基本、こういうことをやって、親子関係が間違っていないか、本当に受けてる、飛ばしてるっていう関係が基本設計書の内容からも問題ないよねっていう確認を、
1:09:40	作業してましたので、それとのSA場だったということで認識をしています。

1:09:45	ただSAの方が、DBに比べて、階層だったり、ある階層での冒頭宣言が多かったりですね、非常に複雑なところもあるんで、まさしくこういう整理をちゃんとしていかないといけないと。
1:10:00	ということでやってました。ただ整理がですね今例えば添付2も31ページ横向きになって32ページの縦向きになりますけどこれ本当はずっと横に、
1:10:10	並ぶパターンが最初で、いやそうじゃないだろうって言ってこう入れ替えて、順番をどうするとかってやって、最終形になるみたいな作業でやりました。はい。
1:10:20	はい規制庁の藤原です。今ちょっと、
1:10:24	石原さんあったように、抜けがあるとかそういった状況なので参考につけられてもその状況でっていうのもちょっといいのかなっていう気がしますので、実際にどういうことを示したいのかっていった、
1:10:36	目的を達成するためにやはり、資料って構成していただきたいので、
1:10:43	もちろんこれをやると、抜け漏れがありませんとかちゃんと親子関係がわかりますっていうのであれば、また示していただけたらいいと思います。その際には、どこまでの今作成状況なのかみたいなのも含めて説明いただけたらと思います。
1:11:00	はい。稲毛インダでございます。失礼いたしましたはい。おっしゃっていただいている通りだと思うので、露資料についてはその状況であったり、完成してるのか何を見せたいのかといったところの趣旨がわかるように整理をしてお出しをしたいと思っておりますはい。
1:11:15	規制庁の藤村です。
1:11:17	補足です。まず、今の点は、
1:11:23	やはりこの整理は必要だよなとは思っていたので、作業してますということ自体は説明いただいて、
1:11:31	いただいてよかったんだと思います。一方で
1:11:35	そもそも上の表の段階からうまく振り分けられてないとかって話はあったので、
1:11:42	そういったところをこの整理でみずから考えて
1:11:48	場合によってはどうしようかというようなこととかお話をする際に、
1:11:55	これは少し格上げしてこうまとめた方がいいかとかってというような議論ができるような状態にしてもらえるといいかなというふうに思います。今日はまず入口ってことだと思っておりますので、次回そういったところで、
1:12:09	収束に向けてですね、議論ができればということだと思ふ。
1:12:15	でますが、そんな認識でいいですか。

1:12:18	はい。稲毛ニシダでございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていただいた通りかと思えますはい。これ全体を整理してって、
1:12:27	整理をし直さなきゃいけないポイント等が出てくれば当然、はい。お話をさせていただかなきゃいけないと思えますそれが片づかないと、フィニッシュできないのでということで認識をしてました。はい。
1:12:38	はい。コサクですわかりました。それでこれは 36 条の中カノウアノ関係性ってということですけど、最終的にはDB。
1:12:48	等統合してくためにちゃんと統合できるかという関係が必要だと、いうことで、先ほどのアノオオオカの方から森林火災関係、
1:12:59	話とかがありましたけど、途中でそのDBの担当シャーが見る。
1:13:08	やり方とかですね体制っていう話で悩まれていたようなんですけど、
1:13:13	もう結局くわーアノん。
1:13:17	ここのええっと添付でしたわね。
1:13:22	添付 1 の表で
1:13:25	DBの担当シャー、まず、事象の担当者つつた方がいいですかね。
1:13:31	自分は何を期待、SA側から期待されてるのかっていうのは、この表を見れば基本わかるようになるはずで、
1:13:41	て、
1:13:42	何これって思ったときにはSA担当者に聞けばいいだけですから、
1:13:47	あまり現状振られてもとかっていうのって、何を懸念されてるのかわかんなかったんですけど、コミュニケーション取れないんですかね。
1:14:04	はい。与儀ニシダでございます私の心配がすぎるのかもしれませんが。
1:14:11	ちょっと担当者の条文ごとのレベルだったりいろんなことを考えると、ちょっとやりとりにも工夫が要るかなと思ったところで、おっしゃっていただいたように自分たちのところの事象が、
1:14:22	何を考えなきゃいけないかは、見てわかるようにしないといけないってのはアベセガワの作業ですし、見て、何かやりとりをしないといけないっていう認識で、それぞれやってくれば、ゴールに行けると思うので。はい。掴ませ方は、あまりそこで悩んで時間を使ってもあまり意味がないので、
1:14:42	はい。体制組んで、それぞれの条文をかませながらやっていきたいと思えます。はい。
1:14:49	はい。そこですよろしくお願ひしますでソウノときにですね、やはり今日もペ資料の一番最初の話とかに戻りますけど、別添で書いてる内容っていうのは、添付 1 の文言を持ってきてるってことのはずなんですけど。

1:15:05	やっぱりこれ見て何のことってわからないっていうことが、やっぱりDBの人とかにも言ってもそれはわかんないよねになっちゃうっていうことかと思うので、
1:15:16	※1 の話っていうのはなるべく分かるように具体を示していくということがやはり大事なかなと思いますので検討よろしくをお願いします。
1:15:28	はい。日本原燃石田でございますはい。ありがとうございますそういった視点での検討を進めていきたいと思っておりますはい。
1:15:37	規制庁の藤村です。
1:15:40	大橋さん、音声聞こえますか。
1:15:42	音声聞こえてます。よろしいですか。はい。お願いします。
1:15:46	すいません 129 番のところ聞いたところでちょっと音声、石原さんの回答待ってる時に表が私切れてしまったんですけれども、回答ありましたでしょうか。施設の中です。大橋さんの発言の途中からはこちらで示しました。
1:16:04	はい。はい。失礼しました
1:16:06	21 ページ目の 129 番のところで、こちらの、
1:16:11	3、基本設計方針で三行書いてありますけれども、この辺、運用要求というふうに書いてあって、まず、どこが運用なのかというあたりをちょっと説明いただきたいんですけれども。
1:16:27	はい、日本インダでございます。一つは、森林火災ですかね。
1:16:36	影響の及ばない位置への移動をとか、あとは、
1:16:42	100 メートルは設計だし、ファン、あとは散水か散水による影響の緩和。
1:16:49	そっち。
1:16:50	こっちって書いてないね違くないな。
1:16:53	切りが抜けた場合、こういったものが、要求だと言いました。はい。
1:16:59	はい。それで、例えば同じページの 135 番とかだと、何か括弧運用要求とかも書いてある箇所もあって、
1:17:09	何が上の要求かっていうのが示してあるんですけれども、何か運用要件の立場、そこが運用みたいな、135 番のように示すことはできないんでしょうか。
1:17:20	はい。与儀西原でございます約 30%はい。全体をです、おっしゃっていただるところにいろんな要求種別が混合してるところ、一番特に瓜生結城はどこがわかりづらいところがあると思うのでははい。
1:17:38	そういった工夫をできればと思います。あとすいません先ほど私、大川さんの質問に対して近隣工場だと言いましたけどこれどうも森林火災側でやっていますね。

1:17:48	※2 が、なのでFARSITEの、入力値出力値の扱いを工夫したいのは、森林火災だと思います。理由は近隣工場等の火災は1点から来るってのが、
1:18:02	一方向でわかっているのを、
1:18:05	確かdの時は発火点が三つぐらいあってそれを考えてもチャンピオンになる火災をO型へのところに全部並べて、確か。
1:18:16	防火ダイトウ距離だけであとは変え火災との関係で評価をしていると、要は発火点の一位がわかっているそれぞれ来る場所も、
1:18:26	ある程度想定できるのに、防火体全面に最大の笠野火災を並べているところがかかなり保守的なところがあったりしたのでそれをいじりたいと。
1:18:36	いうことだったと記憶をしてみましたすみませんでした。はい。規制庁岡です。森林火災のところに書いてあって、確かにおっしゃる通りだなと思ったんですが、その時の発火点をずっと後に、
1:18:49	寄せていったりする、すると、その場合、逆に説明相当厳しくなるような気がしていて、その辺野瀬、論理武装はできてるんでしょうか。
1:19:01	はい、日本インダでございますそれも含めて今整理を進めているところで説明グループ1の段階ではそれもあわせて説明はさせていただけるように準備をしていきたいと思ってました。はい。はい、規制庁からとりあえず理解しましたので、はい。あとは説明を待ちたいと思います。以上です。
1:19:22	規制庁の藤村です。このSA関係の整理の資料について、規制庁側から特に、
1:19:27	ありませんでしょうか。
1:19:29	規制庁は施設ちょっと誤字とか抜けのたぐいでちょっと
1:19:34	コメントしておきたいんですけども、本文で言っとけばよかったかもしれないですけどこの7ページ目の添付ですけども、
1:19:43	これ8条のところの、36条の108のところ、
1:19:48	実際除雪IIのことも書いてあるのでジョセツも、これは追記して欲しいというのと、あと、
1:20:01	13ページ目。
1:20:03	ですね。はい。
1:20:04	13ページ目で、
1:20:14	すみません14ページ目、13ページ目カーで、その
1:20:19	61番とかですけども61番からちょっと下丸井ですけども、
1:20:26	青字でその炉ナンバー60から展開される設計条件括弧常設重大事、常設重大事故等何とかが書いてありますけれどもこれ可搬型だと思いますけれども、



1:20:36	いかがでしょうか。
1:20:39	はい、稲毛西田でございますはい。ありがとうございます完全な動きで ございますはい。修正しますはい。他もすいません先ほど字が抜けてた りしましたので、全体的にチェックをさせていただきますすいませんでした。
1:20:52	はいよろしく申し上げます。以上です。
1:20:56	はい。規制庁の藤村です。他なければ次の資料に移りたいと思います。 次はあれですかね作成ガイドの方かと思しますので、何か要点、ポイント あれば説明してください。
1:21:12	はい。与儀明者でございます作成がイトウでございますが 15 日に出さ せていただきました。こちらについては、まず、前回のDBの設計項目の 資料の時に、別紙でつけていたもの。
1:21:28	冒頭千賀先ほど来お話のあった冒頭宣言だったり定義だったりのリンク のあり方というところの記載のす、拡充をさせていただいたということ。
1:21:40	ですかね。はい。あとは
1:21:46	イノウエオオキ 1 の段差の項目が 9 ページ入ってなかったのをこれを 展開してきたということでございます。これはどちらかという共通に 本文で扱ってる要求種別と、
1:21:59	ガイドで扱ってる要求別々に差があったのでそこを見に行ったと。
1:22:04	いうことでございます。
1:22:07	はい。あとは、拡充しているのは資料 3 の展開のところどちらかとい うと、14 ページの下線のところは、10 京辻野本部にあった。
1:22:20	本文ニシカワ細かいなと思ってたところの展開を追加をこちらに移した という部分ですかね。はい。
1:22:29	あとは、今MOXでやっていた整備の中での複数の設計説明分類間の 取り合いといったところであったり、最初の話でいくと、
1:22:46	説明の留意点っていうのを、15 ページの(5)番、これもまだ具体的な記 載まで展開できてないので、もうちょっと、作成者の困りごと等を受けな がら、
1:23:00	どういうところを具体として例示をつけると作業がしやすいのかという ところの整備をしていかないといけないというふうには思っているところ でございました。はい。以上です。
1:23:12	規制庁の新井です。ガイドは各審査、ヒアリングの中の横目として、そ れに追従する形で拡充していくって位置付けだと思っています。
1:23:27	それで今
1:23:28	拡充した部分として 15 ページ目とかですかね。
1:23:37	15 ページ目の(4)っていうのがおそらく審査会合にかける。

1:23:43	ものと、今回の審査会合にけるものと整合してる部分なのかなと思うんですけども、ここの例ってもうつけれるような気がしたんですけど、間に合ってなかったってことなんですかね、(4)の。
1:23:57	はい。表現ニシダでございます。私が間に合わなかっただけです。はい。そうですねつけますはい。政令(5)っていうのは、今やってるんでしょうけど。
1:24:09	このエッセンスっていうのはもう社内に伝わってるんですかね。
1:24:15	はい。日本原燃者でございますはい。お伝えさせていただいて伝わっているところでございますが、こういう考え方で代表を選んでいくという選んで今日の午前中の話でもお話しましたが、
1:24:32	選んだ結果的には今、突然登場する形にまだなっているところはどこまでケアできるかなというところで、工夫の余地がまだ十分あるのかと思ってました。はい。はい。
1:24:42	多分最初に、おそらく重要んってくるのは、最後のポツ、代表についてはっていうところだと思うんですけども、
1:24:51	ここら辺の事例っていうのがどこまで抽出できるのかっていうところですかね。
1:24:58	ここの文章だけで見ると、ただこういう観点で確か示されてなくて、この観点をどう生かすのかっていうのが、今後重要になってくるのかなあと思っていますけど、同じような認識でいいですかね。
1:25:12	はい。表現ニシダでございますはい。おっしゃっていただいている通り、ごめんなさい。
1:25:17	はい。
1:25:20	それで、
1:25:22	ちょっと
1:25:24	最初の方に戻ってしまうんですけど、
1:25:28	1 ページ、3 ページ目ですかね全体の
1:25:32	ガイドの目的とか、
1:25:36	あと 2 ポツのところ、資料 23 における展開の話で、最初の黒丸のポチ、
1:25:43	D、
1:25:46	設計説明分類の代表の選定を行う代表となる設計説明分類。
1:25:52	の選定を行うかというところで、
1:25:55	最後、次の文書でまた書きで類似性が低く、代表を選定することが適切ではない場合っていうところで、ここの、
1:26:04	ちょっと具体例がどこなのかっていうのを教えていただきたくて、

1:26:08	どういう観点だかっていうと、類似性が高いか低いかっていうのはどうい う判断してるのかっていうのと、
1:26:15	代表性を選定することに適してる場合と適してない場合、どういうケース なんですかっていうの、
1:26:21	があると、結構、作業。
1:26:25	者が迷わないのかなと思ってたんですけど、
1:26:33	はい、宮城西田でございます。正直MOXの場合も、要求事項を見て、 構造設計なり、語ることを見て、議論をして、
1:26:46	具体的には資料2の段階で、一つの既要求事項に対して複数の設計 説明分類が来て、
1:26:54	複数の設計説明分類2、1個だけ、下線が引いてあるものとパターン と、
1:27:01	全部に線が引いてるパターンがあります。
1:27:04	それは、その要求事項を見ながら、これは個別で具体的話も展開する となると、どれかを選ぶというよりは、全部説明する必要があるかなみ たいな話で全部選んでたり、
1:27:17	ていうのもありますけど、それを、今のは具体的に何か例示を挙げて考 え方を書くってことだと思うんですけど。はい。トライしてみます。はい。と りあえず、はい。はい。
1:27:30	ちょっとMOXだともう品物がある程度決まってて、そういうところがあん まりなかったと思ってて、
1:27:37	最初にやっぱり、
1:27:39	ボックスでもこれは苦労しましたよなので、それを例にどう考えたかって いう施工を語って行って且つ再処理の場合だと、
1:27:49	こういうのが一つ目のパターン、二つ目のパターンはこういうのがはまり ますよみたいなことまで書いていくのかなと思いますけど、ちょっと考え ます。はい。
1:28:05	そうですね。
1:28:09	はいちょっと聞きたかったのはそこぐらいです。
1:28:12	荒井からは以上ですけど、ほか。
1:28:17	規制庁岡です。じゃあ、あとちょっと12ページ目、11ページ目の下から のところ、
1:28:23	ここは前回の共通12の方でも、
1:28:26	お伝えしたんですが、
1:28:28	(5)の1、1ポツ目から展開しているところここ、
1:28:34	何かD条文の基本設計方針の中で、

1:28:37	重大事故等対処設備が主語になっていて、こういうことをしていいんだって思ってしまうような何か誤解を与えそうなことがいろいろ書いてあって、
1:28:49	前回横着したみたいな説明があったんですが、こういうところをちょっと配慮した方がよくないです。
1:28:59	はい。二本木ニシウラでございますはい。そんな会をした記憶を思い出しました。はい。はい。横着し過ぎたところは適正化しますはい。はい、規制庁からです。ちょっと記載の方はそういったところであと、
1:29:13	先ほどアライ等もありましたけど最初ニワ側で今DB、
1:29:18	関係とか溢水関係とかやっていると、苦情、八条とか溢水とかやってるところ、
1:29:25	2、このガイドってどのぐらいこう使われたのかっていうことって、いかがですか。
1:29:34	はい。常銀西原でございます。説明会なんかをやったり、展開もしてますんで、
1:29:45	読んでいただいているところではあるんですけど、最大の問題やっぱり、もう一つでも大分苦労した、資料3の、
1:29:56	13ページのところですかね、全体の要求事項が順番にブレークしてって、要求事項と達成するために必要な階層までBriggsという部分が、
1:30:08	なかなか、
1:30:10	読んでも難しいというところかと思えますはい。
1:30:14	はい。それとオカです。資料2の要求事項。
1:30:19	の部分、容器分類とか、その辺はある程度皆さんもうこれ読むと、できる感じになってきてるんでしょうか。
1:30:38	はい。米澤でございます。先ほど来ていただいている、設計項目の整理をやってるチームが実際は、資料2なんかを作ってるチームであるので、
1:30:55	できると思ってますけど、
1:30:58	何かできないことあるのかな、俺が聞いちゃ駄目だ。
1:31:01	あと、
1:31:04	はい。補足です。私も同じ質問をしたかったところで、前回のところからその再処理のグループ1の人たちが作業を始めるんですよと。
1:31:15	ということで、読み解けないもノーがあったら要望を聞いて、
1:31:21	わかるようにしていきましょっていうところの様を見せてくれというのがこの資料のポイントだったと。
1:31:28	思ってます。で、

1:31:32	なので一方通行ではなくて、まずはわかってもらえるように書き込むという作業がありその次に、要望を踏まえてということがあるので要望ってどんな感じですかと。
1:31:45	ということなんですけど、
1:31:49	これもですね、作業、これの資料をブラッシュアップする作業っていうのを1人に集約してしまっても、手が負えないので、
1:32:00	それぞれ、結構、視点として幾つか分かれていくわけですから、分担をして、ブラッシュアップしていけばいいと思いますし、要望事項いう人たちが、
1:32:12	ここってこういうことっていうようなことで、修文案を考えてみて、
1:32:18	そういうこと米それ、確かにその通りだからそれでいいよっていう風でブラッシュアップしていく方法も、方法もあると思うんですね。
1:32:28	なのでそういったところで等やっていきます。やっていこうとされてますかやってますか。
1:32:34	どこまで進んでますかっていうようなことを確認できたらいいかなと。
1:32:39	いうふうに思うんですけど、おそらく今はあれですよ。1人で書き上げていて、フォローも十分しきれなくてっていう感じのような気もするんですけど。
1:32:50	といっても最低限、再処理の人とやりとりしますとは言っておられたので、
1:32:56	その先ほどもちょっと聞いてたかと思うんですけど、
1:33:00	ちょっとどんな感じなんでしょうか。
1:33:04	はい、柳下でございますまず答弁ガイドをつくって作りっ放しというよりは実際読んでもらって理解できるかという、いうところで多分、
1:33:15	1人で作り上げているところはもうちょっと人を拡充して、いろんな視点で作り上げていくと。
1:33:23	いうことも必要かと思うところもありますんでちょっと中で議論をしたいと思えますで、実際は私が怖いんでしょうね。ないのかな。
1:33:33	何かあるかと聞いてもなかなか言いに来ない人達なのでちょっと本当にわかってるのかわかってないのかも含めて、話を、
1:33:44	したいとは思いますがアノコサクです。そうだとしたら、何となく合意してしまいうんですけど、人のこと言えないんですが、
1:33:55	谷口さんなりどなたかに1回ゆだねてだけ意見集約をしてタニグチさんなり何なりから石原さんにも間違っていないですよっていうようなチェックをすとか、
1:34:08	ちょっとやり方をそういうふうにしてるのかもしれないなと思いましたので、私より易しいような人にちょっと、

1:34:16	見た目の雰囲気はやさしい人にちょっと預けてみて、ちょっとはい、はいありがとうございますはい。
1:34:34	すいませんコサクです。大岡さん、今ので話ずれてなかったでしたっけ。要は、確認したかったのは今のような雰囲気とか聞きやすさとか、
1:34:44	作業者がここに反映していくようなプロセスが十分にできているのかとか、背景は今すごくよくできていると思うんですが、
1:34:55	それぞれの作業者がここにフィードバックできるような、
1:35:01	状況になってるのか、っていうところと、あと石原さんがこれから、
1:35:08	それと次の資料のあたりでもやっぱりSteeringチーム、
1:35:12	として働くとなると、今、田井再処理側グループ1グループに準備中で、MOX側はこれグループ1の評価でグループには、
1:35:24	始まるっていうところで、
1:35:26	Steeringチームの担当者がほとんど
1:35:31	その辺に注力することになったときに、このガイドが本当に主導的に資料3市とかあとそのあとに続くものまで、
1:35:41	一部作業者たちが使い、使いながらこう育てていけるのかっていうところに、
1:35:48	繋がるのかなっていうところを伺いたかった、最終的に伺いたかったところでしたがいかがです。
1:35:55	はい、弓削ニシダでございますはい。先ほどいただいた話も含めて、ちょっと体制を考えてちょっと私もおっしゃっていただいているように、MOX抱えて、最初にもう、説明グループ1大井ながらSA等、その他外傷の竜巻以外のやつを抱えつつ、
1:36:13	グループ3になるとぜSAが本丸が出てきたりと、いうこともありますんで、ちょっと全体として、それ以外にもやってることがあるところもあるので
1:36:25	谷口さんと高橋さんうまく使い使いたいと思いますはい。その2人をうまく使ってコントロールしながらやっていければと思いますんでちょっと人の手を借りることも考えます。はい。
1:36:36	はい。規制庁岡です一番気にしているのは、やっぱり体制、結局は体制の話で、おっしゃっていただいているようなことをよく考えていただきたいなど。
1:36:46	思った次第でした。私以上です。
1:36:50	おそらくですありがとうございます。
1:36:53	今言われたところを少し、
1:36:56	プラスでお話しする等

1:36:59	もともとSteeringチームを作った際に、人を育てていくんだっていうこともセットだったはずで、
1:37:07	ゼロックスについてはグループ1である程度までできてきてっていうところそこまではSteeringチームがやってみせていうことで、
1:37:18	きましたけど、次は行って聞かして等、一定のものがこのガイドになっているわけで、
1:37:29	その上でやってみ、yearアノやらせてみたいなことになるわけですから、サポーターと言われてるような方々なり医事事務というところで、
1:37:41	動きを出していくと。
1:37:43	いうことの中で力量を上げていってもらってという必要があって、その点ではボックスの方はタニグチさんなり、
1:37:54	タカハシさんなりといったところ、高橋さんは、MOXでしたっけ最初でしたっけ、今、最初に、はい。
1:38:03	特にMOX側第2弾ということになってくるので、谷口さんを主体にしな がら、徐々に展開していくというフェーズに変わっていいんじゃないかな というふうに思います。
1:38:18	再処理側についても先ほど高橋さんについていう話がありましたけど再処 理の方は、展開できるものは、高橋さんにゆだねていいと思うんですけ ど、なかなかまだ整理しきれてない部分があると思う。
1:38:34	で、そういった点をさ、Steeringチームがしっかりと
1:38:40	やってみると、
1:38:42	いうことで形を作っていたいただいてそれを順々に
1:38:48	同じようにまた展開をして、ゆだねていくという流れを作っていただけ ばなというふうに思います。よろしくお願いします。
1:38:59	はい、宮城西田でございますはい。ありがとうございます。対応させてい ただきますはい。
1:39:09	規制庁の荒井です。作成ガイドについて他、何かあれば。
1:39:17	ちなみになんですけどこの作成ガイドを、こういう何か、
1:39:22	マージというか編集するタイミングってどういうときやろう、やるとかっ て決まったりしてるんですか。
1:39:31	その都度っていうのが多分答えなんでしょうけど。
1:39:35	やっぱりその都度にしかなってないんでそれもちよっと考えなきゃいけ ないですねとはいえ、何らかある程度軌道に乗らないと、なかなかそこま ではあるベッショの頻度で、一定の頻度で直していかなくちゃいけないの かなと。
1:39:49	そこがまさしく先ほど言ったように、書いてみて、やらせてみてのタイミ ングっていうのが、最初は期間のベッショが細かい、だんだんだんだん習

	熟してくると、それが定着してきてスパンが伸びてくって話だと思うので、まだ今、この
1:40:05	習熟する前の段階だと思いますんである程度のメッシュが必要かなと思ってました。はい。
1:40:11	了解です。
1:40:13	コサクです。それ、それもちよっと前のヒアリングでも話しましたが、ガイド自体は、適宜構成していかないと回らないんだと思うので、しっかりと、
1:40:25	いや、まずは社内ブラッシュアップしてい。
1:40:29	ていただいて、
1:40:33	混乱しないようにっていう配慮からするとそれはフィードバックかける時期っていうことだと思うので、やみくもにそのフィードバックフィールドワークってやっちゃうとそれに
1:40:46	囚われて大事なオオモトの作業ができなくなるっていうようなことがありますから、フィードバックはどっかのタイミングでまとめてやるというところの時期をしっかりと指示されると、それまでは
1:41:00	そこでやればいいということなので何月何日時点のもので作業をまずやっていくと。
1:41:07	いう、その種仕分けだけしっかりしていただければというふうに思ってますがそういったところの、鳥居。
1:41:17	区民状況っていうのを、
1:41:19	どこかで、こちらにも示していただければなと思うんですが、
1:41:24	それをどこでどう聞けばいいですかね。
1:41:33	はい、与儀西原でございます。一つは、例えば、
1:41:39	共通 12 のヒアリングのタイミングか今後の進め方空き家をうまく使っていか。
1:41:48	そんな時に化学共通であればこれはいつ時点のガイドを使って、どういうやりとりをして例えばガイド直したのであればどういう取り組みをして直してフィードバックかけたのかみたいな議論が、頭で、
1:42:00	多分出てくると思うんで、共通と絡めるか、
1:42:05	今の共通中にはやってるスケジュール感であったり、作業の取り組みであったり話を今後の進め方の中で取り上げていくか、ということが、どちらかと思ってました。
1:42:16	はい、そうです共通中に明示的にしていただけるのが一番真っ当な形だと思うので、それを主体にしつつ、



1:42:27	そこも含めた取り組み状況って意味ではパルク進めかた日ヤノ時にも触れていただければいいかなというふうに思います。よろしくお願ひします。
1:42:41	はい。規制庁の荒井です。
1:42:44	ガイドはその都度っていうところですので、またそれらに合わせてですね状況の報告等も兼ねてですね、今後も対応いただければと思っております。
1:42:54	が、よろしいでしょうか。
1:42:57	はい。
1:42:58	じゃあ、最後の項目ですね最初に説明グループの今後の整理方針について、資料を使ってポイントを説明をお願いします。
1:43:09	はい、日本イシハラでございます。この資料、資料というか全体の説明グループの設定に至る前の流れをどうしていこうかということで、全体の考えとしては一番最後のページ、
1:43:24	18 ページですかね、この流れで、それぞれ今、並行して進んでいるものとのジョイントということも含めて考えていきたいなと思っております。
1:43:39	真ん中の青になってるところは、今日の最初よりもあったDBの設計項目の整理ですし、右側のオレンジで書いてあるところのSAの要求事項の整理も今日お話をした。
1:43:51	話です。それぞれの話から、設計すべき項目を抽出していくということなんですが、Dの方は前々からある通り、DBの設計項目の整理で扱っている条文とそれ以外の条文があるので、それを
1:44:07	それぞれどうしていくかという話、あとSAの方はSAの要求事項の整理って一番上のボックスが今やってることなんですが、説明すべき項目に行くまでに、まだやらなきゃいけないことがありますんでそれをどういふふうにステップを区切りながらやって、
1:44:25	説明すべき項目、説明グループ全部隅括弧ですね、この整理まで行って、説明グループの設定のところは落とし込んでいくかという流れを全体的には今 18 ページに書いてるような流れで考えているということでございます。
1:44:41	実際、真ん中のDBA設計項目の整理の方についてはどういうやり方をしようかとしているのは、ベース今日竜巻とかでも説明した添付 1 がベースです。
1:44:55	5 ページの下の表を見ていただくと、添付 1 で言っているもののところに、それぞれの要求事項を踏まえて説明すべき項目として挙げるべきものが何かというのをそれぞれピックアップしていくと。

1:45:09	ということです。具体的には構造設計システム設計が書いてあるところをターゲットにして、説明すべき項目というのをどういうフラグを立てていくかということ整理しつつ、
1:45:20	それをどの説明グループでやるんだというところで、その中で設計としてリンクがあるもの先ほどあったような括弧書きでどこ、この部分はこっちに飛ばしますみたいな紐づけがあるところはそれもちゃんと考えた上で説明。
1:45:35	すべき項目とか説明グループの設定に生かしていくということをやっているのがまずベースで、先ほどの 18 ページでいう真ん中の単位はこれをやろうと思ってます。
1:45:47	もう一つ前回あったそれ以外のやつは、同じことをやるのかっていうところについて、ゴールを目指すために、
1:45:56	考えていたのは、その一番左側のチームはですね、
1:46:02	16 ページからのオオクボラインやってることは、ベースは変わりません基本設計方針の要求事項を見て、そこから必要な項目だとしていくんですが、設計項目の中身、
1:46:15	ニコニコむつよりちょっと手前ですね。
1:46:19	基本設計もし、方針の項目単位でクラベタテをしていくという作業を、
1:46:26	やはりやってこうかなと。これで軽重をつけて、ゴールを目指していればなと思ってたところでした。16 ページの火災なんかは、実際どうやってやっていくか 17 ページみたいな、
1:46:38	結局同じ説明グループになるので、まずこの隅括弧に大きく抜けがないことっていうのを達成できれば、いいかなという、そんな調子でいいのかっていう感じがあるかもしれませんが、
1:46:50	考え方で整理をしていきたいというのが、先ほどの 18 ページでいう一番右左側さ。
1:46:57	左側のラインになります。
1:47:00	ていうのをやっていくというのが左側の内容、推定の要求事項の整理先ほど説明しましたが、これを浅井。
1:47:09	その説明すべき項目に結びつけるためには、
1:47:12	まだやらなくちゃいけないことがあると思ってましたそれが、
1:47:16	どっかいないとこあって、先ほどあった要求事項、DBの基本設計方針と、DBの設計基本設計方針が一对一になるわけでは多分ないので、
1:47:28	ADDいう基本設計方針が、SAの要求事項、基本方針がどういう関係で紐づくのかということの整理をしたいというのが、
1:47:39	18 ページで言うDBTを設計方針とのひもづけ整理ということです。大体これ先ほどあった。

1:47:45	自然現象から防護するとかっていうやつに対して、竜巻の何番から何番の基本設計方針がこれに該当しますみたいな紐づけをやろうとしておりました。
1:47:58	これ何か、
1:48:00	SA特有だけの、明日一応それで、基本設計方針同士の要求事項の紐づけまでいくと、先ほどのSd-Dと同じように隅括弧の整理が多分でき上がるのでそれをするために
1:48:18	添付2が一緒なんだよな。
1:48:20	説明すべき項目の整理36条版というのを作っていくということで、この左側の来院み真ん中のない右側のラインのそれぞれの項目の、
1:48:31	コウにある説明すべき項目の整備、添付123、これを合体すると、説明グループの設定の見直し版を作りに行けると。
1:48:41	ということで、今考えていたところでございます。
1:48:45	スケジュール感は今書いてある通り、伊井でございました。はい。ということをやりたいというのが今本文に書いてあるところでございます。
1:48:54	はい。以上です。
1:48:58	はい。規制庁の荒井です。説明どうもありがとうございました。
1:49:02	今回のこの点についてほぼ、最後のページが大きな流れなのかなと思うんですけども、
1:49:17	まずはですね、
1:49:25	今回の
1:49:26	内容っていうのは説明すべき項目っていうのを、多分1ページ目の2ポツのところ、隅括弧の書き方ですね。あそこの記載をどうするかっていうところで、
1:49:40	その整理手順を書いているのが2ページ目だと。
1:49:44	思っていて、
1:49:46	2ページ目の、
1:49:49	整理手順(1)っていうところで、010203
1:49:54	それで最終的に0。
1:49:56	5、⑥か⑥まで。
1:49:59	あるというところで、
1:50:02	例えば、
1:50:07	④の中の、
1:50:14	ポツで言うんですけどね3ポツ目の設計の前提となる。
1:50:19	条件設定にDBと差があるものっていうところで、
1:50:23	これについては他のポツと違って、例示が特になんないって言うんですけども、ここって書かなかった理由とかってあるんですけど。

1:50:51	はい。先ほど上西生理由丸が書いてあって※になってるやつかと思うんですけど例示を書けないわけではないので、
1:51:01	条件が違ってやること一緒っていうことを言いたかったということだけなんですけど例示も含めて記載を拡充していければと思いました。はい。
1:51:10	あとは、この次のマル5の中で、
1:51:15	説明グループの、
1:51:20	違います。申し訳ないです。説明すべき項目の記載方法を、この(1)で説明しているんですけども、
1:51:28	①から④っていうのは、こういう流れになってるんだっけ並行して行う作業なんでしたっけ。
1:51:38	はい。与儀ニシダでございます。そういう意味でちょっと①番から順番に書いてしまいましたがほぼ平行で話が進む八尾へ縦軸に流れちゃったので、
1:51:47	先ほど18ページで言っている流れとの関係で、メッシを、
1:51:53	行っていければと思いますはい。はい。
1:51:57	特に何か②から④で、①のサマリーみたいなことを、①の要素みたいなことを書いていると思っているので、何か流れではなければ、そういった形で、
1:52:09	書いたほうがわかりやすいかなというふうには思っただけです。
1:52:23	あとは具体的に添付1の中で、
1:52:29	現状版と見直し版っていうのが、
1:52:33	あるんですけど、
1:52:35	見直しは、
1:52:37	必要かどうか。
1:52:40	っていうのはあれなんですけど、さっきの本文に書いてある(1)の整理をもう1回、
1:52:47	した後にわかるっていうそういうイメージなんですよね。
1:52:52	はい、弓削石田でございますはい。その通りです。はい。
1:52:56	それっていうのがいつ終わるのか。
1:52:59	ていうと、
1:53:02	最後のページに、
1:53:08	書いてあり、12月1日までには、
1:53:12	終わる。
1:53:17	はい、与儀西原でございます。11月1日までに終わらせたいと思って、作業はしてます。終わるべきか検討会終わらせようと頑張っております

	す。はい。見直しが一応、原因としては終わるっていうそういうイメージですね。
1:53:31	はい。はい。あとは
1:53:34	今書いてある説明すべき項目。
1:53:39	例えば
1:53:40	6 ページ目の、
1:53:42	最初の、
1:53:43	行の火山 11 でもいいんですけど、
1:53:50	ここで、例えば第 8 条 36 条で、36 条と重大事故のところ赤字にしていますっていうところへSAの固有の設計条件がありますっていうところなんですけど。
1:54:04	2 行。
1:54:07	だけで、
1:54:09	SAの固有の、
1:54:12	交流事項っていうのは、どうやってわかるのかっていうと、
1:54:27	イノウエシダでございませますまず現状の設定すべき項目を当てはめるときに、現状説明グループの設定に書いてあるとそのまま割り当ててしまってるので、
1:54:37	衛星も含めて考えなきゃいけないっていう不安なってますけど、ここ何回ドイフナダDBの話を左側やってるのでDBの話が出てきません。先ほどの 36 条の整理をして、DBとSAの紐づけをして、最終的に例えば
1:54:53	11 火山 11 番で、SA特有のものがあつたりも含めて、屋内機器配管の配置設計のマルって書いてあるDの下に赤字でSAとする設計が出てきて、それをジョイントして、最終形になるんですけど、
1:55:07	あくまで左側まだDBの話しかしてませんので、それとのコラボは、その次の段階だということですのでそれまで含めて、計画までに終わらせるってことなんですがこの資料上はそこまで出てこないというふうに思ってますそういうことですね、ちょっと交流事項がどうやって左の文章からわかるのかなっていうんです。
1:55:39	規制庁のフジワラです。
1:55:42	今この隅括弧の書き方のところで 2 ページ目に、
1:55:47	下から 3 ページ目にかけてですかね、構造共同構造強度設計で括弧建物ってあって、それが説明分類だったら催事の建物構築物ですってことなんですけど、その次に、
1:56:03	(キ)というものがあるんですけど、
1:56:06	ここの括弧書きの中を、この建物とか機器にした理由。

1:56:13	ていうのは何が言いたいかっていうと、機器と言われた時に屋内屋外ってどうやって判別するんだろうと思ったんですけどその辺の整理ってどうなってますか。
1:56:36	はい、日本インダでございます。はい。まずは、
1:56:43	構造強度設計括弧機器とか建物っていうのは、要求レポートの関係でフラグをどうつけるかという、いうところだと思い、思いながらもおっしゃっていただいたように、それを見て、
1:56:54	再2の屋外機器配管に割りつけられますかと言われるとそれは先ほど話で表のを見たら、不具合機器配管のところグラフがタテて言えば、
1:57:06	必然的にそこは対象物が明らかになり、展開をしていくもんだというふうには認識してます。はい。ただそういうことも含めて、
1:57:15	書いてないから、繋がりはわかりづらいかと思いますがはい。
1:57:19	規制庁の藤村です。はい、えっと、あれですね横野小はありで、その上で、今度こういうふうを示されるから、一応わかるんですけどっていうことで今整理されてるってことですね。わかりました。はい。
1:57:37	すいません。コサクです。
1:57:43	添付1は、
1:57:45	まだ何となくわかるんですけど、
1:57:50	藤麻生投手。
1:57:53	県ぶ一。
1:57:58	2とかになる。
1:58:02	藤。
1:58:03	添付2-2。
1:58:06	がアウトプットになると思うんですが、
1:58:10	これてみて、
1:58:13	何でっていうのがよくは、
1:58:16	変わらないんじゃないかなと思うのは、
1:58:19	一番最後のページ作業の流れをお話をされたときに、
1:58:27	等、
1:58:29	SAの要求事項の整理があつてDBとの紐づけがあつた上で、
1:58:37	左下に落ちる形で添付2、
1:58:42	まとめます。
1:58:44	一定ルーそのDBとの関係っていうのを踏まえてまとめるはずのものが、DBの情報が入ってないっていうのは、
1:58:53	何かおかしいなって気がするんですけど、どうなっています。

1:58:57	はい。日本原燃石原でございます。私もおかしいなと思ってたところですね、やろうとしてることとアウトプットのイメージが合っていないと思っていて、
1:59:13	これでもさ、
1:59:15	これでも駄目なんだよ、これ。
1:59:19	うん。そうだよ。だから、いきなりここに来ないんだよね。
1:59:24	コサクです。なので、ここの説明すべき項目の書き方なのか、一井で追加するのかわかんないんですけど、
1:59:35	DBの説明項目って何なの、説明すべき項目って何なのっていうのを書き込まなきゃいけないんじゃないかなと思うんですけども。はい、日本イシハラでございますおっしゃっていただいている
1:59:46	DBとの紐づけ、コラボの形を示して、かつDB側の設計項目ってこんなものがありますということ、見た上で、SAとしての何らか、それに、
2:00:00	ニッタプラスアルファのなく言葉をタテ谷ナリタせ示すべき項目隅角を起こすかどうかとところまで考えないといけないので、おっしゃっている情報が並ばないと整理ができないかなと思ってますはい。
2:00:16	はい。補足です。私がオオモトイメージしてたのは今日の資料だと、この資料だと添付 2-2 の、0 としてるところ 2、
2:00:28	A、Dだと、こういう説明すべき項目ですってっていうのがあって、
2:00:35	確かにそっちでそういうところになってますねって確かにそれであればこの
2:00:42	方針等合致しますねっていうふうに見れるようになる。
2:00:47	繋がっていくのかなと思ってたんですけど、どのタイミングでどう表現するのかは構わなくて、今の一番右の欄に、DBの言葉とあわせるように書く。それが
2:01:02	南條のところとかってわかるようになるってもいいん。
2:01:09	フローで書かれたそのDBとの紐づけっていうのがここのアウトプットで入るようにということで対応いただければと思います。
2:01:19	それを 11 月 22 日提出ってもうあれですよ。台数なので、作業はされてるんだと思うんですけど。
2:01:27	繋がるようになればなと思うんですけどこれってどんな作業、ちょっと資料のイメージなんでしょうか。
2:01:41	はい、日本イシハラでございます資料を出したタイミングと私があればと思ったタイミングが悪くて恐縮でございます
2:01:50	今コサクさん言っていただいたような軌道修正を、
2:01:55	移動の夜、

2:01:57	来てました。すいませんでした。はい。なので作業としてはこの形と違う形で進んでしまっているのが現状でございます。はい。
2:02:09	コサクです
2:02:11	現状なり何なりはいいんですけど、その軌道修正したところで 20 日提出は、どういう形での紐づけ。
2:02:22	が見えるような形での提示になり、それが添付 2 の方にどうなってるかっていうのを説明いただけますか。
2:02:49	はい。でもそこだと基本設計方針番号だけで、あとだから、是正するということか。日本原燃車でございます。軌道修正してたのはこの右側に欄に足すんじゃなくて今の、
2:03:03	藤丸とかを書いている場所に、
2:03:06	一応ランク欄をつけ足してですね事象ごとに
2:03:12	基本設計方針のどこと結びついているかをリンクを貼るということ。
2:03:17	さらにDBの設計項目の整理ができれば、それをここにも割りつけるということで、採用をしていこうと思ってたところでした。はい。
2:03:28	はい、細田です。それで言うとあれですかね私のイメージ通りのような気もしますけど。はい。マトリックスの中にDBの方針の番号大会かナンバーと、
2:03:39	そういうのが書かれて、階下の方で、
2:03:44	説明すべき項目の隅括弧の言葉が整理されると。
2:03:47	次の添付 2 の状態の時には右側で同じことが書かれるようになるということですかね。はい。
2:03:55	はい。コサクです。大分イメージを聞きました。作業進めていただいてっということだと思います。
2:04:02	はい。ありがとうございます。
2:04:05	規制庁岡です。
2:04:07	トーンちょっとカスクとかはいろいろわかってきたんですが全体の流れとして、18 ページ目使いながらなんですが、
2:04:15	添付 4 使いながらなんですが、まず 12 月の会合で、設計説明グループ設定説明分類は、摂津目グループ 1 の、
2:04:26	フィードバックしないよう、後戻りしないように、ちゃんと説明すべき項目を抽出して、それが適切に配置されるところまでを目指しているっていうふうに、まずはその認識でよろしいですね。
2:04:40	はい。弓削ニシダでございますはい。その通りでございます。はい、規制庁かですその上で、まず 12 条 13 条の扱いは、ここで、かなりきつき次入れてきていますが、どういう扱いになってますか。



2:05:01	はい、乳井根井者でございます。大枠含めて、大きな抜け落ちがないというところまで目指そうと思ってかなりきつく今 12 条生産量も入れてました。
2:05:11	というところもあって、どこまでをハードルにするかによって、この辺のスケジュール感は変えられると今、かなり、全体をカバーしようと思ってい形が現状の作業スケジュールになります。
2:05:25	はい、清町オカです。その辺のリアリティー。
2:05:29	を知りたくて、
2:05:33	この資料を求めたところ、全部 12 月 1 日提出 12 月 5 日日やのにも全部寄せてられてしまっていて、
2:05:43	例えば 13 条なんかは、24 日に提出されて、30 条、30 日冷やをやった上で、12 月 1 日に、もうその
2:05:53	DB設計項目との関係整理がされたものが出てくるっていうような整理になっていて、
2:05:59	どれだけこう優先度を検討したのかっていうところが気になったんですが、その辺いかがですか。
2:06:13	ネシアでございますはい。優先度という設計説明グループの整理を、一定のレベルで終わらせると。
2:06:24	ということからの逆算に今スケジュールになってるところは否めないのも、
2:06:29	12 条 13 条、溢水のところではまだ、設計項目の整理でも宿題残ってますし、そこも含めたときのステータスを考えてどうしていくのかと。
2:06:42	SE部関係が説明グループ 2 から 5 管理グループに移ることはまずないので、説明グループ 2 の中でやることは、大枠が抜けなくなればいいたろうというところからすると、小野瀬
2:06:54	系項目の整理とリンクづけることがあまり必要ないかと思うのもう一度整理をして、優先順位付けたスケジュールに整理をしていければと思いますはい。
2:07:04	はい。規制庁岡です。あと例えば町をヒアリングやったような項目っていうのは、次、この打ち替えCはどんなイメージをされてますか。
2:07:17	レビットです。
2:07:21	イシイイシイ来週。
2:07:26	知久宗です。
2:07:32	はい、日本インダでございます載つけるとすると、来週の提出、その次の週の日やでもうあれだよ。
2:07:41	11 月 30 日がたって、全部で 12 月 1 日が全然間に合わないんじゃないんだよ。
2:07:45	逆算したらもう、

2:07:48	社員はい規制庁笠野成立しそうだからこそ、もっとちゃんと検討してくださいって言ったところ、基本イシダでございます。おっしゃってることは理解しました。
2:08:01	とはいえベースになるものの確度が高くなると駄目なところもあるので、そこ等とのバスターかとは思ってますので、整理します
2:08:14	うん。
2:08:19	はい。後戻りがないっていうのと説明グループ全体的話をしようと思うと、一定の角度がどうしても欲しいという部分、跨るところですね特に説明グループを跨る可能性がある部分の、
2:08:32	であったり、他の条文での要求とコラボしていかなきゃいけないところのを、説明すべき項目の示し方っていうところの、
2:08:43	レベル合わせも含めてやりたいと思うと、ある程度の整理はしておかないといけないというふうに思っているんで、どこまでかの線引きも含めてちょっと考えます。はい。
2:08:55	はい正常化です。結局そういうすそところの検討も皆さんSteeringチーム内で議論されてということで、この
2:09:05	その見直してっていうのをいつぐらいにされるのかっていうところだと思うんですが聞いたと思うんですが、その辺は、振り返りでもいいですけど、
2:09:15	その辺を明確にしていきたいなと思うんですがいかがですか。
2:09:22	はい。宮城西原でございます。当然ながら作業してもらう人間に、指示をしなきゃいけないところもあるので、
2:09:31	はい。週末、考えて、週明けには提示をできるような形で何か考えないといけないかなと思ってます。はい。
2:09:42	すいませんコサクです。やはり一番のネックは、
2:09:48	溢水、
2:09:50	薬品っていう古藤なん。
2:09:53	じゃないかなと今の話の中では思うんですけど。
2:09:57	今書かれている椅子医薬品のスケジュールは、説明すべき項目。
2:10:05	というかすみ括弧というか、能整理に必須な作業を見積もつ。
2:10:13	てのお話ではなくて、現状やっている
2:10:18	資料3に繋がるような、
2:10:22	内容、どこまでをその設計とし、どこを評価とし、どうまとめていくかっていう
2:10:30	構成の考えみたいなことに、
2:10:35	間をかけていて、ある意味文言の適正化まで含まれちゃってるような気がするんですよね。そうするとこれだけの時間がかかるっていうことなんですけど。

2:10:47	ツツミ括弧だけであれば、溢水役員ってそんなに悩むことはないんじゃないかなと思うんですよ。そうだとすると、もう少しステップを刻んで、そのレベルやることと、
2:11:00	だから関係性なり構成ということだけに、にして、隅括弧ある程度確定させる、その上で、
2:11:10	内容というのをしっかりと詰めていくというフェーズをもう少し聞ければですね、
2:11:17	24日提出なんて言わずに、
2:11:22	来週前半部分にだして、24日にはヒアリングして、
2:11:27	ていうふうにもつなげられてそうすると添付1はつくれるようになっていきと。
2:11:34	で、あわせて現状やってるような、プラスシャポー。
2:11:38	24日提出なのかなのかということややるっていうふうにはマンパワーの関係もあるんだと思うんですけど、少し拡充されて、
2:11:51	整理をしていくってことはできるんじゃないかなというふうに思いますけど、どうなってんすかマンパワー足なくて、どうしてもこの人でやんなきゃいけないからそんな分岐してなり、
2:12:02	は無理ですってことなんですかね。
2:12:06	はい、日本エリアでございませすまっおっしゃっていただいたように、外部設計項目の整理のアウトプットを期待をしているスケジュールにはなっているのはご正直おっしゃる通りです。ただ、
2:12:19	隅括弧を決めるのにそれが必須かと言われたら必須ではないというのもおっしゃる通りだと思います。そこも含めて何をアウトプットで引き継いでいかないといけないのか最終合意に向けてどういうものが必要なのかと。
2:12:33	いうことの整理と、そのスケジュール感というのを、作業者の、
2:12:40	何でしょう、作業量っていうのも含めて、考えていきます正直おっしゃっていただいたように角確保の項目が怖く抜けがないということであれば、
2:12:53	そんなに時間はかからないって私がやっても時間力ネナリ気がするんですけど、
2:12:58	あれ。
2:12:59	違う。
2:13:00	いいです。できるよね。はい。
2:13:04	浅井ところでもだってできると、1日もいらなかったよね、あれできるんです。
2:13:10	来週前半で出せるよねそして、

2:13:14	あれ、上こういうのが怖いって言われると、
2:13:18	それが良くない。
2:13:21	古作です。いや、すみません。私も同じようなことを求めた形なのであれなんですけど、いやそうなんですよ。
2:13:30	竜巻キーとかはすでに進んでいるから、真ん中のラインでこういうふうな成果が来ますけど、イセはそこまで行ってなくて、
2:13:40	でもいい作業しなきゃいけないレベルは左の下のやつなんですよね。
2:13:45	はい。だとすると、サポートの精度まで求める必要はなくてということ、だけど一方でいた溢水は、すでに真ん中のラインの作業始めちゃってるので、左の方に行きづらいことがあってということなわけですよ。はい。
2:14:02	なのであれば許す限りで左のレベル感をとりあえず、真ん中のラインの資料フォーマットの中でやって、
2:14:11	マイクっていう古藤でのやり方っていうのを刻むばですね、実現可能性のあるスケジュールを組めるんじゃないかなと思いますし、
2:14:21	場合によっては一旦やるっていうのを左のラインに載せるような形にしておいて、それに合うようにゆっくりとゆっくりとでもないですけど、真ん中のラインの作業もしていくと。
2:14:32	はい。ということで少しどう刻むのかっていうのを相談いただいたらいいんじゃないかなと思います。はい、米田でございます。ありがとうございます。はい。
2:14:48	コサクです、合わせてですけど 12 月 1 日が混雑しているところで、一番右のSAの設計項目の整理というところ。
2:15:02	さらにその下にDビーコン等の関係整理っていうのがあるんですけど、
2:15:08	これも先ほど説明があったように、上の紐付けがあった上でそのより具体を整理をしていくと。
2:15:18	いう古藤なんですけど。
2:15:21	それはそれでやったらいいとは思いつつ、添付 2 には関係ないっていう形に、
2:15:29	なってて、その詳細やらなくてもある程度ツツミ括弧整理できますよということだとすると、
2:15:37	12 月 1 日にこう詰め込んでここをやらなきゃいけないのかなっていうような気もするん。
2:15:44	ですよ。間に合えば、どんどんやってもらえばいいんですけど、マンパワーとの関係でどうかっていうのがちょっと気になっていてですね、どの程度のものなんですかね。
2:16:00	いいですか。

2:16:02	はい、与儀です。でございます。ここで 1000 日貸していただいて添付 2 飛ばしてるように上二つの項目ができれば、
2:16:11	添付 2、あと隅括弧への展開っていうのができると思ってます。あとは、
2:16:18	SA側の整理をさらにブラッシュアップしていくと、中身の詳細を詰めていくということがその下の話だと思ってますんで、
2:16:29	そういう時この 12 月 1 日二つ並んでる項目がかなりきついのは、正直そうなんです。無理やり線を引く必要もないところもあるので、志望費用的なものもやりたかったというのはもともとあったんですけど、
2:16:44	目的と達成すべきゴールと、作業の内容との関係で、
2:16:50	整理をもう 1 回して、先ほどのSEとの関係も含めて全体の整理をさせていただければと思います。はい。
2:16:58	はい、小阪です。
2:17:01	これも、なのでその上のdの紐づけのところですね、どれだけ明確にできるかによるんだと思うんですよ。
2:17:11	そこで少し課題が残ってるようなやつは、その下の具体を少しブラッシュアップしないとまとまらないと、いうことだと思うので、そこはやっていただいてどちらかという矢印は、添付 2 に反映というような、
2:17:26	か立入が必要な部分なんだと思うんですね。一方でええ。
2:17:33	その下に落とさなきゃいけないっていうのは、
2:17:38	と再処理のグループ 1 に入れ込まなきゃいけないものと、
2:17:43	いうことであって、
2:17:46	それは確かに具体的にしていかないと、資料 3、資料 4、特に資料 3 ですね、資料 3 に、何を入れなきゃいけないのかという具体になるんで、それは当然やんなきゃいけないと。
2:18:00	ということですから、これ一本で入れるんじゃなくてグループ 1 のもの。
2:18:06	っていうのは、この時期までにですけど、それ以外のものは追ってっていうことになるんだと思うので、
2:18:14	その点で必要なもの、範囲っていうのを整理をして進めていただければいいかなと思います。
2:18:22	はい、イデシハラでございますはい。ありがとうございます。全体の枠組みと範囲の中に入っているものとターゲットにしたいものとの関係で、
2:18:32	採用ステップスケジュール化を整理していきます。はい。
2:18:51	規制庁大野ですすみません。今の資料を少し、1 点だけ細かい点かもしれないですが確認させていただきたいことがありまして、3 ページのところ、
2:19:02	四十日を 3 ページの

2:19:05	④の中で、42条プールのスロッシングに対する設計の話が、36条の整理の中で入ってくるんですが、何か前回の共通12か何かのヒアリングの際に、
2:19:16	36条以外の重大事故の個別条文について、この角加古部分、
2:19:22	もうちょっと作業を上げるみたいな話があったと思うんでそこら辺の作業っていうのも、
2:19:27	どこかでやられると思っていいんです。
2:19:31	はい、柳下でございますはい。この中でやりますはい。
2:19:35	この中でというと、どこら辺の作業、
2:19:39	後は18、18ページとそこら辺の作業にあたって、
2:19:51	はい。現状は一番左のラインですね、80ニジュウサン36条以外って言っても全部、はい。入れて、整理をしようとしてもおっしゃいました。はい。わかりました。
2:20:05	この資料の際にそこら辺も勝手にできると。
2:20:08	わかりました。ありがとう。
2:20:21	はい。
2:20:22	規制庁その時トガシ量について規制庁が、何かございますか。
2:20:31	ふうに。そうです。これで確か本日の議題としては以上だったと思います。途中で確認しましたが振り返りをなく最後にまとめてというお話でしたが、
2:20:41	タケナカ4はいかがですか。
2:20:52	そうです。
2:21:02	米屋でございます。
2:21:06	委員会の内容を、こちらで確認する時間をいただきたいので十分ほどお時間いただけますでしょうか。
2:21:15	はい。
2:21:15	いいました40分という、
2:21:21	6分めど。
2:21:23	サカタよろしいですか。
2:21:24	はい。
2:21:26	はい。
2:21:29	では一旦録音を停止いたします。
0:00:01	それは録音再開いたしましたスズキては、
0:00:03	振り替えの方をお願いいたします。
0:00:10	40名もジンプでございませう。まず発案関係等、
0:00:15	個別事項を

0:00:18	おっしゃっていただいているところの紹介させていただきたいと思いません。
0:00:25	18番で基本的方針四、五これ
0:00:30	4番からの前回の話なんですけれども、こちら、屋内機器配管についてもしっかり18番に記載してですね、言うとなりの繋がりについては、ちょっとリセットして考え直したいと思っております。
0:00:43	ですね20番、これ単独であったようなものは、
0:00:48	今回見つかってますけれども、その上流に抜けるようなものをしっかりと
0:00:53	記載してですね、ちゃんと親からコウからナゴに、受け渡しができるような記載にする。
0:01:00	いうのはわかりました。
0:01:02	ソックス21番の建物構築物のところなんですけれども、変形だけじゃなくて今日のビルフードみたいに強度を見るといったところもありましたので、
0:01:13	その強度についての記載もいうところ。
0:01:17	あと31番ですが、
0:01:21	上限と側面を設計としてるところ、こちら、下面について守る必要がないというような誤解を生じるのでちょっとキタニ見直させていただきます。
0:01:31	あと34号と35のところ共通設計とした箇所について、ちょっと設計内容について本当に共通的な期待ができるかと改めて確認するとともにですね。
0:01:42	共通するとしたものについては34と35-1にて、共通であるということがしっかりわかるような記載にさせていただきたいと思えます。
0:01:51	35番の防護ネットを構成する部材こちらをもう少し具体化するということでネットやIRとかタンクとかありますけどその辺ちょっと地域させていただきます。
0:02:01	そうです。
0:02:02	あと、同じ30から34番ですが、技師側の記載を踏まえて協議を合わせるということ、
0:02:10	こちら竜巻としてへの影響に関する考え方について、ちょっと記載することを検討したいと。
0:02:18	最後ですが、34番荒戸部隊が十分な厚みを有する設計というような記載がございますが、ちょっと渥美というところで、素人っぽいということもあっていますね。
0:02:30	プロサポに関しては断念制度にちょっとこう貫通防止に関しては、一元化処理場のさっさと行ってきて記載を適正化したいというふうに考えます。ちょっと、
0:02:41	オザキに関しては未定です。

0:03:01	是正の要求事項のステージですが、まず
0:03:07	本文のところはいろいろ前回に取り踏まえて記載を拡充はしたものの、
0:03:17	整理方針がまだ明確になっていないような文章、悪影響防止があつた範囲がどこなのかが明確とかですね、操作性の関係のところをどう受けているかといったことも含めた本文上での記載の足りないところは整理をしていくということと、
0:03:33	そのあとの本文の別添のところでも丸野米値というのを添付して書いてるところをまとめて、グルーピングしていきこうと将来的に最終的には共通要因の中での
0:03:45	説明の重複だったり類似性だったりということを整理をしていかないといけないので、
0:03:50	そういう意味でコミュニティをまとめて記載はしているものの、書いてあることが中身がようわからんような記載になっているところはDBの人間にこれを見せて理解できるようにということも念頭にしながらかつグルーピングが必要だのことができるような、
0:04:06	記載ということも含めて、整理をしていくということと、今、ただ単に、上から順番に並べてますけど、類型グルーピングということ意識して整理をしていくということです。
0:04:19	はい。あと添付1の方は、冒頭宣言の受け取りのところだったり毛皮国家像、鳥羽氏が受け側ですねと関係で、
0:04:30	抜け漏れがあつたりしてるところが全体的に整理をしていきます。
0:04:35	はい。ここの、
0:04:40	はい。ということでございます何何個かというか10個以上あつたと思うんでそれだけではなくて他も含めて整理をしていきます。
0:04:50	はい。2番目のガイドの話については、代表の選定んところの記載であつたりということ、あと今後ガイドをちゃんと作る人間とのコミュニケーションで、
0:05:05	ブラッシュアップしていくと。
0:05:07	いうことをしていくとそのために必要な体制を整備していくということの話だつたと認識をしています。またガイド、今後社内でバックアップしながらフィードバックをしていく。ブラッシュアップは定期的にやって適宜というかある頻度でやりながらも、
0:05:24	協定のフィードバック自体は、何回もやっているとな作業の負担負荷になりますんで、一定のタイミングをとってやっていくということだと思つてます。そういったな作業の様がですねわかるように共通上位のヒアリングの際などに、
0:05:41	お話をさせていただくということで認識をしました。



0:05:46	はい。あとDBの設計項目はこれ順番逆フジイの設計項目が先だったね。ササキ以外のやつは竜巻で出た議論と同じようなところは、
0:05:57	SA展開、直しに行きます。
0:06:00	やはり外部火災等で、自分の情報のところの記載がですねまだ統一的にうまく整理できてないところは修正をしていきたい。
0:06:11	方針を買ったとこちらから語った上で、色彩の整理をさせて、していくということかと思ってます。
0:06:19	はい。
0:06:21	あとは、
0:06:23	落雷のところはまだカセに入っていることの担保も含めた全体の設計としての項目の種類があるのでその整理をさせていただくと。
0:06:34	ということだと思ってますはい。
0:06:37	あとはその他のところでですね、ちょっと全体の設計をどうかかるかという整理が必要な部分があるので、その整理をしていかないといけないというのと、評価の線引きのところ、資料4で今MOX側でやっている資料の整理というのも含めて、
0:06:52	踏まえた上でどういったものを評価するのかと、いうことは展開をしていきたいと思ってます。はい。
0:07:02	最後は説明物の徹底ですが、このあと全体的にやろうと思ってることとスケジュール感が合っていないんじゃないかと、というようなことだと思っ
0:07:14	てますので、延滞、整理をして、隅括弧、ある程度確定させると大枠確定させていくということ。
0:07:24	さらには、説明グループ1を最優先に整理をしていくと、いうことを考えた上でどういうことを優先順位をつけて作業していきなさいいけないのかと。
0:07:35	ということかと思ってます。はい。その中で、
0:07:39	あったのが一斉化学薬品の漏えいですね。これは今の設計項目の整理を持っているというところかなり時間的にも合わないところがあるので、
0:07:50	先ほど18ページで見せた左側のグループと同じように、作業をまずしていくと、隅括弧を決めていくという意味での作業を優先的にやっていこうかなと思います。
0:08:00	その辺の作業のす。
0:08:04	スケジュール感を示していかないといけない。あとSAの方も同じく、
0:08:11	明確を決めるためにやらなさいいけないことの、レベル感というか作業のボリューム感ということとスケジュール間のマッチングができてないところを整備をしていくと。
0:08:21	ということだと思ってます。

0:08:23	実際
0:08:27	来週火曜日に資料提出水曜日に
0:08:33	今後の進め方の後にやろうと思っていたグループ設定の整理の考え方と(8)場ってもともと書いてたんですけど、8の時取引でやるという今日の
0:08:44	作業でやんなきゃいけないことのスケジュール感であったり、あとはそれぞれの特に一番左側のアウトプットどんなイメージでどういうものかというのは、
0:08:54	そんなに時間もかけずにでき座できそうな気もするので、そういったもののアウトプットをつけるものをつけて、火曜日提出日午前、水曜日午前中費用の中に載せていければなというふうに思っていました。はい。以上です。
0:09:10	はい規制庁のです。今の振り替えに対して規制庁側から何かございますか。
0:09:17	規制庁の藤原です。SAの整理の部分は、SA条文があるものの整理の考え方も整理し、ちゃんと整理しましょうねって話があったのと、
0:09:27	あと、SAにとどまらずっていうところですかね。
0:09:31	PPとSGの相互影響の部分の整理であったり、あと条文を跨ぐときの整理みたいなのところも、検討することになっていたと思うのでよろしく願います。
0:09:44	はい。中橋ガス飛ばしてしまったところなのではい。承知しました。はい。
0:09:52	議長ですその他何かございますか。
0:09:58	フクイワサそうですね全体として何かございますか。
0:10:03	火曜日。
0:10:07	元イシハラさんは何か発言されました。
0:10:11	大丈夫です。すいません。はい。
0:10:13	東海林なさそうですね、よろしければ本日のヒアリングをこれで終了したいと思います。お疲れ様でした。録音を停止いたします。